

地域の明日を医療で支える

平成30年度

長野県立病院機構

NAGANO PREFECTURAL HOSPITAL ORGANIZATION

# 年報

第4号

信州医療センター

こころの医療センター駒ヶ根

阿南病院

阿南介護老人保健施設

木曾病院

木曾介護老人保健施設

こども病院

信州木曾看護専門学校

本部研修センター

## 目次

4	基本理念
5	理事長挨拶
6	代表者メッセージ
8	長野県立病院機構 概要・役員の状況・組織図
9	法人が運営する病院及び介護老人保健施設等の概要
10	長野県立病院機構 沿革
	●県立病院・看護専門学校・研修センター
12	信州医療センター
16	こころの医療センター駒ヶ根
20	阿南病院
24	木曾病院
28	こども病院
32	信州木曾看護専門学校
34	本部研修センター
36	阿南介護老人保健施設
36	木曾介護老人保健施設
37	<b>患者の状況</b>
38	1 患者の状況
38	①入院・外来患者数（病院別患者延べ数）
38	②月別 1 日平均患者数
39	③診療科別延患者数
41	④老人医療の状況
43	⑤診療圏の状況
46	⑥救急及び緊急診療の状況
47	2 病床利用等の状況
47	①病床利用率
47	3 訪問医療の状況
49	<b>診療の状況</b>
50	1 治療の状況
50	①診療科別の手術件数
50	②分娩件数
51	③調剤の状況
52	④放射線の利用状況
54	⑤検査の状況
56	⑥人工透析患者の状況

56	⑦診療科別内視鏡の状況（検査のみ）
57	⑧公衆衛生活動の状況
57	⑨医療社会事業相談の状況
57	⑩理学・言語・作業・精神科専門療法の状況
58	⑪心理及び言語検査の状況
58	⑫栄養管理の状況

## 59 職員の状況

60	1 職種別職員構成
----	-----------

## 61 経理の状況

62	1 収益・費用の構成
74	2 貸借対照表
76	3 資本的収入及び支出
81	4 損益の推移
85	5 運営費負担金の推移
92	6 未収金の推移

## 93 介護老人保健施設の状況

94	1 利用者の状況
94	①入所・通所の状況
94	②性別・年齢階級別の状況
94	③退所者の入所期間状況
95	④退所者の入退所の経路

## 99 看護師養成所の状況

100	1 学生の状況
-----	---------

## 103 研修・研究の状況

104	1 県立病院等合同研究会の状況
105	2 職員提案の状況
105	3 公開講座の開催状況
106	4 出前講座の状況
110	5 学会等における研究発表状況
133	6 研究論文について
140	7 本部研修センターによる研修会開催状況
143	8 医療の質の評価指標



## 地域の明日を医療で支える

### 基本理念

県民の皆様により安心して質の高い医療サービスを安定的に提供していきます。

### 目標

- 1 基幹病院として地域の医療を支えるとともに、人口減少や少子・高齢化を見据えた医療を提供します。
- 2 医療・保健・福祉との連携を深め、地域全体の医療機能を向上します。
- 3 医療従事者の確保・育成機能の充実と看護人材の安定的かつ継続的な育成を図ります。
- 4 安全・安心な医療を提供し、患者サービスを一層向上します。
- 5 地方独立行政法人の強みを活かした確実な病院経営を継続します。

### シンボルマーク



5枚のハートは5つの県立病院を表し、5つの県立病院が一体となって、地域の医療を支えていくことを表しています。マークのグリーンの色は、生まれ変わった県立病院の清新なイメージと自然豊かな長野県の地域を表しています。



## ご挨拶

地方独立行政法人 長野県立病院機構

理事長 久保 恵嗣

長野県、関係市町村、信州大学をはじめとする関係医療機関及び県立5病院や信州木曽看護専門学校が立地する地域の皆様には、長野県立病院機構（本機構）に対しまして多大なるご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。

当該年度の各病院及び信州木曽看護専門学校の主な業績は以下の通りです。

信州医療センターは、平成29年度から再開した産科診療が着実に進展し、対策型胃内視鏡検診を開始しました。本部研修センターと連携し初期研修医の確保に努め着実に実績をあげ定員が1名から2名に増えました。

こころの医療センター駒ヶ根は、院長に信州大学医学部保健学科埴原秋児教授を迎えました。児童精神科医療の充実に努めるとともに思春期精神科医療や認知症診療にも着手しました。また、DPAT（災害派遣精神医療チーム）を整備しました。

阿南病院は、整形外科診療の充実や小児科日曜診療の実施など診療機能の充実や在宅診療の推進に努めました。

木曽病院は、救急医療体制を維持するとともに、

地域包括ケア病棟の開設や退院時支援の強化など、診療機能の充実を図りました。

こども病院は、中村友彦副院長が院長に昇任しました。信州大学等と連携し小児がんや白血病診療機能の向上に努めました。常勤の精神科医を確保し母子メンタルヘルスケア外来を開設しました。

信州木曽看護専門学校は開校6年目を迎えました。既に1期生から3期生まで73名の卒業生を送り出しました。卒業生全員が看護師国家試験に合格し、多くは長野県内の病院で活躍しています。

一方、2年間続いた収支の悪化は、各病院全職員が経営の厳しさを実感し経営改善に努めた結果、大幅に改善し4億1,600万円余の黒字が確保できました。

良質な医療の提供と健全な病院経営を両輪として、県民の皆様により一層信頼され、「地域の明日を医療で支える」という本機構の理念を達成できるよう今後も取り組んでいきたいと存じます。

県民の皆様方におかれましては、これまで以上に長野県立病院機構に対し、格段のご理解とご支援をお願い申し上げます。



# 地域の明日を

## 信州医療センター

### ●メッセージ



病院長  
寺田 克

当院は「患者中心のチーム医療を実践し、信頼される病院を目指す」を基本理念とし、医療の質の向上や安全な医療の提供、地域の健康増進への寄与、医療人の育成、政策医療としての感染症医療の充実に努めています。

平成30年度は、前年度末に策定した「平成30年度アクションプラン」に則って事業を展開しました。前年度増築した東棟では、内視鏡センター、外来化学療法、健康管理センター、地域医療福祉連携室の機能強化・拡充を行い、近隣の病院・診療所や行政及び福祉施設との連携強化を図る中で、一定の成果が出ています。特に内視鏡センターでは、須高地域の「市町村対策型胃内視鏡検診」の受け入れや、須高医師会共催による、大腸がんの啓発を目的とした「市民公開講座」の開催等により、内視鏡件数の増加が図られました。また外来化学療法の実施件数も大きく増加しました。産科医療では、個室の増室及

び内装のリニューアルを含むアメニティ向上やSNS等を活用した広報活動などにより、分娩件数も増えてきました。

平成31年度は地域包括ケア病棟の設備環境を整備し、地域の「在宅医療安心ネット」の後方支援病棟としての充実に図ります。また須高地域で実施している「産後ケア事業」の継続や小児リハビリの充実に努めます。「感染症センター」では、県内医療機関からの感染症に関する相談、感染症専門医の育成、医療職者や介護従事者に対する教育研修、社会的に重要な感染症に関する情報発信など感染症拠点病院としての積極的な活動を行います。当院は疾病予防や健康増進ならびに急性期から回復期医療において、地域の要望に沿った医療の提供と政策医療の展開・発展に努めてまいります。

## こころの医療センター駒ヶ根



病院長  
埴原 秋児

当院は、多職種チームによる質の高い精神医療の提供と「地域に開かれた病院」を目指しています。精神科スーパー救急病棟を有し、公的病院の責務として24時間365日体制で精神科救急および急性期の患者の受け入れを行うと同時に依存症医療、児童精神科医療、司法精神医療などの専門性の高い精神科医療を提供しています。

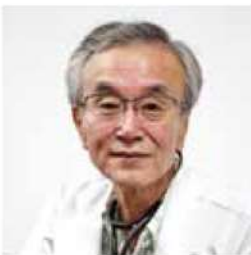
当院には独立した児童精神科病棟があり、多職種チーム（児童精神科専門医、看護師、医療スタッフ）による診療や支援を行っています。平成30年度は、思春期外来の開設や思春期デイケアプログラムでSST（ソーシャル・スキルトレーニング）を開始するなど、専門医療の強化を行いました。また、依存症治療では独自のプログ

ラムによって、アルコールや薬物等の使用障害の入院医療を行っています。

人材育成においては、精神科研修・研究センターを開設し、信州大学との連携大学院協定による大学院教育を行っています。これにより専攻医は当院で研鑽しながら、精神保健指定医・精神科専門医と共に博士号の取得が可能になりました。

長野県の精神科医療をリードする人材育成にもより力を入れるとともに、地域精神科医療と県域全体の精神科医療を高めるべく努力してまいりますのでご支援をお願いします。

## 阿南病院



病院長  
田中 雅人

～地域住民の暮らしと絆を支え続け  
地域に寄り添う医療の実現へ～

阿南病院は、下伊那南部唯一の中核病院として、地域の医療・保健・福祉機関との連携のもと、患者様中心に優しさと思いやりのある医療を提供しており、また、へき地医療拠点病院として無医地区への巡回診療、診療所への医師派遣などを行っています。

当院の診療圏である下伊那南部地域は、老年人口割合が44%を超え、県下2番目の高齢化先進地域となっています。このような状況下で当院は、高齢者医療を中心に小児医療・精神医療など地域医療を推進しており、在宅医療や老人保健施設運営などにも力を入れています。さらに「地域医療総合支援センター」を設置し、健診活動・認知症対応またへき地医療に携わる医療技術者の育成にも力を注いでおります。

当地域は東南海地震強化地域にあることから、耐震化改築工事により、本館棟はヘリポート付の免震構造で災害時においても医療機能を継続できる病院となり、どんな時でも地域で安心して暮らせる医療を提供してまいります。

超高齢化の下伊那南部地域において、地域医療構想に基づき当院の役割を明確にして、行政、医療、福祉との連携をする中で、中核病院として地域医療を推進するとともに、後方支援病院として地域包括ケアシステムの構築を進め在宅医療についても充実に図り、また、今後の医療における課題である認知症への対応（相談、診療）にも力をいれてまいります。今後も引き続き、地域の医療・保健・福祉機関との連携のもと、患者様中心の優しさと思いやりのある医療を推進してまいります。

## 木曽病院



病院長  
井上 敦

当院は、「木曽2次医療圏唯一の病院として、患者さんの立場に立って、信頼と満足が得られて、心のふれ合いのある医療サービスを実践します」ということを基本理念におき、地域に根差した質の高い医療サービスを提供しております。救急疾患では24時間365日全診療科オンコール体制で2.5次までの救急対応をしております。慢性期におきましても入院患者さんの365日リハビリテーションを行うとともに、地域包括ケア病棟、医療病棟、介護老人保健施設（アイライフ）、さらに訪問診療も充実させております。

訪問診療におきましては、訪問先の患者さんの容態変化に対応できるように24時間365日対応しています。さらに平成28年4月から地域がん診療病院の認定を受け、がん相談支援センターを充実させるとともに、緩和ケア外来

を設置するなどしてがん診療の充実も図っています。

へき地医療拠点病院として、無医地区の巡回診療、地域巡回リハビリテーションを行い、地域にででの医療サービスも行っていきます。特に県南部の病院機能縮小に伴う地域の方の不安を軽減させるために、県南部での講演会、施設訪問などを行っています。個々の職員は木曽の医療を守っていこうという意識も高く、またそれぞれの分野で専門資格の取得を得るよう努力するなど向上意欲も強くもっています。

木曽病院は約300人の地域の方々の雇用をになうという点でも木曽では大きな施設です。地域の明日を医療で支えるという面からも今後頑張っていきたいと思っておりますので何卒よろしくご厚意申し上げます。

# 医療で支える

## こども病院



病院長  
中村 友彦

平成30年度は、母子メンタルヘルス外来を開設し、病気のこども達とその家族の心のケア・支援を開始しました。平成31年度から精神科は「こころの診療科」に改称し、心理士・リエゾン精神看護専門看護師のスタッフは「こころの支援科」として、さらに充実した支援をおこなっていきます。患者さんから要望の多い食物アレルギーの検査・治療をおこなう診療科としてアレルギー科が独立しました。子どもの感染症は、もっとも「ありふれた」

子どもの病気ですが、予防と適切な治療の時期を逃すと重篤になります。近年国際的に子どもへの適切な抗菌薬（抗生剤）の投与が求められています。4月より感染症科を新設して「子どもの感染症の予防と治療」に対する体制を充実させました。医療的ケアを必要なまま在宅医療を継続する子ども達への診療・支援は益々重要になってきています。10月に「訪問診療センター」「訪問ケア科」を開設し、訪問診療、訪問リハビリを開始します。

## 本部研修センター



センター長  
齋藤 依子

本部研修センターは「機構職員の知識・スキルの向上」「優れた指導者育成」「医師確保、育成支援」「県内医療水準向上への貢献」を主な目的として事業に取り組み、全職員を対象とした課程別研修や選択研修、職種毎の専門研修の企画・運営を行いました。発足当時から重点的に取り組んでいるシミュレーション研修の実施や指導者の育成については、県内の医療機関からの参加があり、当センターは重要な役割を担っています。

また、当センターには「長野県立病院機構分室」が設置されています。医師の確保・育成に関与することも重要な業務であり、初期研修医や信州大学医学部生へ定期的な研修を実施するとともに、医学生を対象とした「第2回県立病院機構病院説明会」を開催しました。今後も、職員一丸となって、当センターの理念である「県民が求める安心で質の高い医療を提供できる医療人の育成」に努めてまいります。

## 信州木曾看護専門学校



学校長（理事長兼務）  
久保 恵嗣

2014年(平成26年)4月に開校した信州木曾看護専門学校は6年目を迎え、第3期生を卒業生として送り出しました。

外部講師・実習施設との連携及び地域との交流を図りながら、より良い学校創りを進めるとともに、教職員が一丸となって卒業生全員の看護師国家試験合格を目指しサポートする体制を充実させています。幸いにも、第1期生29名、第2期生21名および第3期生23名の全員が看護師国家試験に合格できました。卒業後の進路では、県内の病院に勤務した者が第1期生25名（内、木曾病院5名）、第2期生15名（内、木曾病院4名）、第3期生21名（内、木曾病院8名）であり、木曾地域や上伊那地区を中心とした看護師不足に対応するという本校の設立目的が果たされていると思います。

課題は、入試の志願者数が少しずつ伸びていますが、本校の認知度が未だ低く、広報活動を積極的に進めます。もう一点は教員の確保・育成と指導教員の養成です。県立5病院からの派遣や研修などに積極的に参加させることで解決を図っていきます。

ご支援を頂いている医療機関、行政や地域の皆様には心より感謝申し上げますとともに、引き続き地域医療を支える看護人材の育成に努めてまいります。





## ●機構の概要

名 称	地方独立行政法人長野県立病院機構
所 在 地	長野市大字南長野幅下 692 番地 2
法人の設立年月日	平成 22 年 4 月 1 日
設 立 団 体	長野県
資 本 金	305,621,763 円 (平成 31 年 3 月 31 日現在)
目 的	長野県の医療政策として必要な地域医療、高度医療及び専門医療を提供すること等により、県民の健康の維持及び増進並びに県内医療水準の向上に寄与する。

## ●役員の状況

理 事 長	く ぼ へい し 久 保 恵 嗣
副 理 事 長	きた はら まさ ひこ 北 原 政 彦
理 事	てら だ まさる 寺 田 克 (信州医療センター院長)
	はに はら とし 埴 原 秋 児 (こころの医療センター駒ヶ根院長)
	た なか まさ と 田 中 雅 人 (阿南病院長)
	いの うえ あつし 井 上 敦 (木曽病院長)
	なか むら とも ひこ 中 村 友 彦 (こども病院長)
	はら だ より かず 原 田 順 和 (改革統括医療監)
	しま しま けん じ 島 崎 謙 治 (政策研究大学院大学教授)
	こ ばやし みろ こ 小 林 美智子 (医師 (元伊那保健所長))
監 事	やなぎ さわ いさむ 柳 沢 勇 (損害保険ジャパン日本興亜株式会社 長野支店 顧問)
	やま なか たかし 山 中 崇 (公認会計士)

## ●組織図





# 法人が運営する病院及び介護老人保健施設等の概要

## こども病院 (小児専門)

安曇野市



- 開設許可年月日 平成4年3月31日
- 診療開始年月日 平成5年5月28日
- 診療科目等  
小児科 (総合小児科・血液腫瘍科・新生児科・小児集中治療科・遺伝科・臨床検査科)、  
神経小児科・循環器小児科・小児外科・心臓血管外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・放射線科・麻酔科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・リハビリテーション科・産科・こころの診療科・泌尿器科
- 病棟別許可病床数 一般200床 計200床
- 運用病床数 180床
- 職員数 医師53人 研修医26人 看護師282人  
その他87人 計448人

## 信州医療センター (一般)

須坂市



- 開設許可年月日 昭和23年6月1日
- 診療開始年月日 昭和23年6月1日
- 診療科目等  
内科・脳神経内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・小児科・感染症内科・血液内科・外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・呼吸器外科・血管外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科・麻酔科・リハビリテーション科・精神科・病理診断科・救急科
- 病棟別許可病床数 一般292床 結核24床 感染症4床 計320床
- 運用病床数 288床
- 職員数 医師39人 研修医5人 看護師242人  
その他106人 計392人



## 信州木曽看護専門学校

木曽町

- 設置許可年月日 平成25年12月25日
- 開設年月日 平成26年4月1日
- 課程  
医療専門課程 看護学科3年課程
- 入学定員 30人 (総定員90人)



## 本部研修センター

須坂市

- 開設年月日 平成22年4月1日



## こころの医療センター 駒ヶ根 (精神)

駒ヶ根市

- 開設許可年月日 昭和31年7月16日
- 診療開始年月日 昭和31年9月15日
- 診療科目等  
精神科
- 病棟別許可病床数 精神129床 計129床
- 運用病床数 129床
- 職員数 医師13人 看護師95人  
その他43人 計151人



## 木曽病院 (一般)

木曽町

- 開設許可年月日 昭和38年9月12日
- 診療開始年月日 昭和39年4月20日
- 診療科目等  
内科・精神科・神経内科・消化器内科・循環器内科・小児科・外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科
- 病棟別許可病床数 一般191床 感染症4床 療養44床 計239床
- 運用病床数 159床
- 職員数 医師21人 看護師135人 その他82人 計238人



## 木曽介護老人保健施設

木曽町

- 診療開始年月日 平成7年5月15日
- 施設サービス (入所)、居宅サービス (短期入所療養介護・通所リハビリテーション・介護予防短期入所療養介護・介護予防通所リハビリテーション)
- 定員 入所50人 通所10人
- 職員数 看護師4人 その他14人 計18人

## 阿南病院 (一般)

阿南町



- 開設許可年月日 昭和23年6月1日
- 診療開始年月日 昭和23年6月1日
- 診療科目等  
内科・精神科・小児科・外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・婦人科・眼科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科
- 病棟別許可病床数 一般85床 計85床
- 運用病床数 77床
- 職員数 医師9人 看護師63人 その他46人 計118人 (派遣、代行員除く)









## 阿南介護老人保健施設

阿南町

- 診療開始年月日 平成6年5月30日
- 施設サービス (入所)、居宅サービス (短期入所療養介護・通所リハビリテーション・介護予防短期入所療養介護・介護予防通所リハビリテーション)
- 定員 入所50人 通所10人
- 職員数 看護師7人 その他19人 計26人



# 沿革

	昭和20年	昭和30年	昭和40年	昭和50年	昭和60年	平成元年	平成10年
機構			<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和37年4月地方公営企業法の財務規定についてのみ適用</li> <li>昭和41年4月衛生部医務課に病院管理室が付置</li> <li>昭和44年4月県立病院室に改称</li> <li>昭和49年4月医務課から独立</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>平成元年4月県立病院課に改称</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成11年4月医務課県立病院係に改称</li> </ul>
信州医療センター		<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和23年6月日本医療団解散に伴い県に移管され県立須坂病院となる</li> <li>昭和37年4月総合病院承認</li> <li>昭和39年8月救急告示病院</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和60年1月運動療法施設認定</li> <li>昭和62年5月夜間人工透析開始</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成7年1月エイズ治療の拠点病院に選定</li> <li>平成10年4月更生医療(免疫に関する医療)担当医療機関指定</li> <li>平成11年12月介護保険法の規定に基づく指定居宅サービス事業者の指定</li> <li>平成14年5月</li> <li>平</li> <li>平</li> </ul>
こころの医療センター 駒ヶ根		<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和31年7月長野県立駒ヶ根病院開設許可</li> <li>昭和31年9月診療開始</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和46年6月全病棟開放</li> <li>昭和49年2月作業療法承認実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成3年4月訪問看護開始</li> <li>平成6年10月デイケア承認実施</li> <li>平成9年4月精神科救急病棟の指定</li> <li>応急入院指定病棟の指定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成14年6月</li> <li>平成15</li> <li>平成11年4月病院群による臨床研修指定病院の指定</li> </ul>
阿南病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和20年6月千葉医科大学付属医学専門部旧大下條村へ戦時疎開</li> <li>昭和21年3月日本医療団阿南病院として、地元熊谷医院の建物を借り受け診療開始</li> <li>昭和21年9月下伊那阿南ブロック9か村病院組合が結成され、阿南9か村の組合立病院となる。</li> <li>昭和23年6月日本医療団から県立へ移管</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和34年9月総合病院指定</li> <li>昭和36年7月へき地巡回診療開始</li> <li>昭和39年8月救急告示医療施設承認(4床)</li> <li>昭和39年10月精神科病棟完成(平成22年3月休床、平成25年3月廃止)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和56年4月へき地中核病院に指定</li> <li>昭和58年1月結核病棟廃止</li> <li>昭和61年11月人工透析開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成3年4月訪問看護事業開始</li> <li>平成5年5月阿南介護老人保健施設開設</li> <li>平成9年2月訪問医療開始</li> <li>平成10年10月創立50周年記念祭開催</li> </ul>		
木曽病院			<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和38年9月病院開設許可</li> <li>昭和39年4月診療開始</li> <li>昭和40年6月総合病院認可救急告示医療機関承認</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和52年4月人工透析開始</li> <li>昭和54年8月第二次救急医療実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成11年4月第二種感染症指定医療機関</li> <li>平成12年4月木曽老人保健施設</li> <li>平成14年4月</li> <li>平成15病院機能</li> <li>平成15</li> </ul>
こども病院						<ul style="list-style-type: none"> <li>平成5年5月開院</li> <li>平成5年5月母子保健法に基づく医療機関の指定</li> <li>平成5年5月結核予防法に基づく医療機関の指定</li> <li>平成5年5月身体障害者指定厚生医療機関の指定</li> <li>平成7年4月院内保育所開設</li> <li>平成7年5月院内学級開校式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成14年3月</li> <li>平成15</li> <li>平成12年9月総合周産期母子医療センター指定</li> </ul>
信州木曽看護専門学校							
本部研修センター							

- 平成18年4月 県立病院チームに改称
- 平成18年11月 県立病院課に改称
- 平成20年4月 病院事業局を設置
- 平成25年4月2代理事長久保恵嗣就任
- 平成27年4月第二期中期計画開始

**平成22年4月1日地方独立行政法人長野県立病院機構発足**

- 平成22年4月第一期中期計画開始 初代理事長勝山努就任

- 平成17年1月(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価認定
- 平成19年1月第一種感染症指定医療機関に指定
- 平成19年7月エイズ治療の中核拠点病院に選定
- 平成21年7月DPC対象病院へ移行
- 平成22年2月(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価認定
- 平成22年4月内視鏡センターを設置
- 平成23年5月電子カルテシステム稼働
- 平成28年8月新棟(東棟)建設開始
- 平成28年12月MRI装置を更新、稼働開始
- 平成29年7月新棟(東棟)完成
- 平成29年7月病院名を「長野県立信州医療センター」に改称
- 平成29年10月感染症センター開設
- 平成26年8月地域包括ケア病棟を開設
- 平成27年1月(公財)日本医療機能評価機構による病院機能評価認定(3rdG:Ver1.1)
- 平成27年9月(公社)日本人間ドック学会による施設機能評価人間ドック健診施設機能評価認定(Ver3.0)
- 平成31年1月電子カルテシステムの更新



第二種感染症指定医療機関に指定  
成16年1月SARS対応の外來診察室を新設  
成16年3月臨床研修病院に指定

児童・思春期専門外来の開始  
年10月臨床研修病院(協力型)の指定

- 平成17年7月医療観察法による指定入院医療機関の指定
- 平成18年1月(社)日本精神神経学会精神科専門医制度による研修施設に認定

- 平成20年9月精神科救急情報センターの設置
- 平成22年3月医療観察法による指定入院医療機関の指定

- 平成23年1月病院名称を「長野県立こころの医療センター駒ヶ根」に改称
- 平成23年2月精神科救急病院(常時対応型施設)の指定
- 平成23年12月新デイケア棟オープン・電子カルテシステム稼働
- 平成24年2月体育館オープン

- 平成26年12月長野看護大学と看護連携型ユニフィケーション事業基本協定の締結
- 平成27年12月(公財)日本医療機能評価機構による病院機能評価認定(3rdG:Ver1.1)
- 平成28年4月(公財)日本老年精神医学会専門医制度認定施設に認定
- 平成28年9月児童多職種初診の開始
- 平成28年10月もの忘れ外来(認知症専門外来)の開始
- 平成28年10月信州大学と連携大学院教育に関する協定を締結
- 平成28年11月病院開設60周年記念式典の開催

- 平成29年4月精神科研修・研究センター開設
- 平成29年4月信州大学との連携大学院教育の開始
- 平成29年9月厚生労働省にDPAT先遣隊(災害派遣精神医療チーム)を組織できる病院として登録
- 平成30年10月電子カルテシステムをリプレイスし本稼働
- 平成30年11月第16回公共建築賞「公共建築賞・特別賞」受賞



- 平成17年4月療養病棟開設(平成20年3月廃止)
- 平成24年10月阿南病院の愛称「和み(なごみ)の医療センター」に決定

- 平成20年11月 創立60周年記念行事開催



- 平成25年9月電子カルテシステム稼働
- 平成26年4月耐震化改築工事全面竣工地域医療総合支援センター開設(健康管理センターへき地医療研修センター認知症なんでも相談室)
- 平成28年7月阿南町医療介護連携支援システム稼働
- 平成29年9月認知症専門医による診療の実施
- 平成29年10月へき地医療センター・信州型総合医療養成プログラムに基づき総合診療医養成開始
- 平成29年11月内視鏡的機能検査(VE)開始
- 平成30年4月小児科日曜診療開始

療養病棟指定  
から木曾介護老人保健施設に名称変更  
療養型病棟開設  
年6月(財)日本医療機能評価機構による評価認定(Ver4.0)

年10月 臨床研修病院に指定

- 平成18年4月上松町巡回診療開始
- 平成18年5月森林セラピー健康相談開始
- 平成19年4月へき地医療拠点病院指定
- 平成20年6月(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価認定
- 平成20年7月電子カルテシステム稼働

- 平成21年3月 長野県DMAT指定病院に指定
- 平成22年4月DPC対象病院へ移行
- 平成23年3月東日本大震災被災地へDMAT派遣
- 平成25年5月医師と歩く森林セラピー開始派遣
- 平成25年6月(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価認定
- 平成26年3月320列X線CT装置使用開始
- 平成26年11月開院50周年記念式典、記念講演会の開催木曾病院マスコット「きそっぴい」決定
- 平成27年11月木曾介護老人保健施設開設20周年式典開催
- 平成28年2月2地域がん診療病院に指定
- 平成28年4月熊本自信被災地へ医療救護班派遣



- 平成30年3月地域包括ケア病棟(48床)運用開始
- 平成30年4月患者サポートセンターを設置
- 平成30年4月在宅医療・介護連携支援センター設置(木曾広域連合より運営委託)

長期入院患者家族滞在施設(愛称「たんぼほのおうち」)開設  
年5月創立10周年記念事業

- 平成17年10月(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価(Ver5)認定
- 平成19年11月カリヨンいのちと平和の鐘設置初音式
- 平成22年9月電子カルテシステム稼働
- 平成23年7月エコセンター開設
- 平成24年2月3Dモデル造形センター開設
- 平成24年4月生命科学研究センター
- 平成24年10月予防接種センター
- 平成25年5月創立20周年記念事業
- 平成25年7月口唇口蓋裂センター開設
- 平成26年4月循環器センター開設
- 平成26年4月DPC対象病院へ移行
- 平成27年12月(公財)日本医療機能評価機構による病院機能評価認定(3rdG:Ver1.1)
- 平成28年4月小児股関節センター(～平成29年3月)
- 平成29年7月PICU病棟8床から12床に増床
- 平成30年2月地域医療支援病院の承認
- 平成30年4月検査麻酔センター開設
- 平成30年9月信州大学との連携大学院教育の協定を締結



- 平成29年3月1期卒業
- 平成29年3月第106回看護師国家試験 1期生 全員合格
- 平成24年4月看護学校準備室設置
- 平成30年3月第107回看護師国家試験 2期生 全員合格
- 平成25年4月長野県立病院機構で看護学校(3年課程)設立運営の指示(県知事)
- 平成25年5月学校名の公募・選考、決定
- 平成31年3月第108回看護師国家試験 3期生 全員合格
- 平成25年9月校舎改修工事竣工
- 平成25年12月看護専門学校開設認可(県知事)、看護者養成所指定(厚生労働省)
- 平成26年4月開校
- 平成26年4月第1期生入学
- 平成27年10月第1回学校祭「白凜祭」の開催



- 平成22年4月須坂病院内に開設
- 平成22年11月スキルスラボ開設
- 平成23年2月ハワイ大学医療者研修提携
- 平成24年11月～平成26年1月地域医療再生基金事業講演会
- 平成26年4月運搬車購入、移動シミュレーション研修開始
- 平成26年7月長野小児救急セミナー(NPEC)開催
- 平成27年8月国内2人目のCHSE取得医師が研修センター専任で着任
- 平成27年9月シミュレーション指導者研修開始
- 平成28年6～11月スキルアップシリーズ開始
- 平成29年9月信州医療センター南棟3階へ移転リニューアル



# 信州医療センター

〒382-8577 (住所記載不要)

長野県須坂市大字須坂 1332 TEL 026-245-1650 (代表) FAX 026-248-3240

## ●指定医療機関

- ・保険医療機関
- ・更生医療指定病院
- ・結核指定医療機関
- ・育成医療指定病院
- ・原爆被爆者指定病院
- ・養育医療指定病院
- ・母体保護法指定医
- ・労災保険指定病院
- ・生活保護法指定病院
- ・療育取扱機関
- ・公害医療指定病院
- ・エイズ治療中核拠点病院
- ・救急指定病院
- ・第一種感染症指定医療機関
- ・第二種感染症指定医療機関
- ・臨床研修病院指定病院



信州医療センターは、患者中心のチーム医療を理念に掲げ、須高地域の中核病院としての役割及び、県内唯一の第一種感染症指定医療機関、結核指定医療機関、エイズ治療中核拠点病院としての責務を担っています。

日々の診療では、25の診療科のほか、専門外来、在宅診療部、内視鏡センターや健康管理センター等を設け、地域の保健・医療・福祉関係機関との連携のもと、多面的な診療機能を発揮しています。

平成29年に竣工した東棟（新棟）の機能を活用し、平成30年度からは近隣市町村や医師会等と連携した対策型胃内視鏡検診を開始し、早期胃がん等の発見、治療に寄与しています。

また、当院は、自治医科大学卒業生を含めた初期臨床研修指定病院として、他の県立病院のほか、信州大学医学部附属病院や近隣病院とも連携し、豊富な選択肢による研修プログラムを組み、研修医の育成を行うとともに、呼吸器、感染症、消化器、総合診療などを中心に、各分野の専門医の養成に積極的に参画しています。

## 理念

私たちは患者中心のチーム医療を実践し、信頼される病院を目指します。

## 基本方針

- 1 人と人とのつながりを大切にし、心が満たされる医療を提供します。
- 2 医療の質の向上を図り安全な医療を行います。
- 3 医療・保健・福祉との結びつきを強化し、地域住民の健康増進に寄与します。
- 4 地域医療を担う優れた人材を育成します。
- 5 感染症医療の拠点病院として、先端医療を提供します。
- 6 病院機能の維持発展のため、健全な経営を行います。

## 倫理要綱

私たちは、人に対する深い愛と生命の尊厳に対する畏敬の念を持ち人類の幸福に寄与するため、下記に掲げる倫理要綱を遵守します。

- 1 全ての人の生命、自律、尊厳、権利を尊重し、公正公平に接します。
- 2 人に有益な行為だけを行い、人に危害を及ぼすあるいは不要な負担を強いる行為は一切行いません。
- 3 医療の専門家として常に必要な知識と、技術の習得に努め最善の医療を行います。
- 4 社会の一員として法規範を遵守し、地域の発展に寄与します。

## 教育施設等の指定

- ・日本内科学会認定医制度教育関連病院
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ・日本血液学会認定血液研修施設
- ・日本感染症学会認定研修施設
- ・日本環境感染学会認定教育施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本整形外科学会専門医制度研修施設
- ・呼吸器外科専門医制度基幹施設  
(がん・感染症センター 都立駒込病院)の  
関連施設
- ・日本産婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本麻酔科学会認定麻酔科認定病院
- ・日本プライマリ・ケア連合学会認定後期家庭医  
プログラム
- ・人間ドック健診専門医研修施設

## 主な医療機器設置状況

- 多項目自動血球分析装置システム
- 生化学自動分析装置
- 心臓超音波診断装置
- 全自動免疫染色装置
- 筋電図・誘発電位検査装置
- 臨床用ポリグラフ
- マルチスライスCT (64列)
- MRI (1.5テスラ)
- 核医学検査装置 (RI)
- 連続血管撮影装置 (DSA)
- 全自動錠剤分包機
- 自動注射液抽出システム
- 人工膝関節手術用ナビゲーションシステム
- 3D腹腔鏡下手術装置
- 人工関節手術装置 (股関節、膝関節)
- 関節鏡下装置
- 網膜硝子体手術装置
- 超音波白内障手術装置
- 眼科用内視鏡システム
- Cアーム X線テレビ装置
- 消化器内視鏡システム及び上部、下部、  
十二指腸ビデオスコープ
- 気管支超音波内視鏡システム
- 超音波内視鏡
- カプセル内視鏡
- 人工透析装置
- 高気圧酸素治療装置

# 施設基準

## 【入院基本料】

- 急性期一般入院料2
- 結核病棟入院基本料  
(10 対 1 入院基本料)

## 【入院基本料等加算】

- 臨床研修病院入院診療加算
- 救急医療管理加算
- 妊産婦緊急搬送入院加算
- 診療録管理体制加算 1
- 医師事務作業補助体制加算 1  
(30 対 1 補助体制加算)
- 急性期看護補助体制加算  
(25 対 1 急性期看護補助体制加算)
- 療養環境加算
- 重傷者等療養環境特別加算
- 栄養サポートチーム加算
- 医療安全対策加算
- 医療安全対策地域連携加算 1
- 感染防止対策加算 1
- 感染防止対策地域連携加算
- 無菌治療室管理加算 2
- 患者サポート体制充実加算

- 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- 入退院支援加算
- 認知症ケア加算
- 呼吸ケアチーム加算
- 病棟薬剤業務実施加算 1
- データ提出加算 2
- 提出データ評価加算

## 【特定入院料】

- 一類感染症患者入院医療管理料
- 地域包括ケア病棟入院料 1

## 【医学管理等・在宅医療】

- 小児科外来診療料
- 高度難聴指導管理料
- がん性疼痛緩和指導管理料
- 地域連携夜間・休日診療料
- ニコチン依存症管理料
- 開放型病院共同指導料 (II)
- ハイリスク妊産婦共同管理料 (I)
- 薬剤管理指導料
- 医療機器安全管理料 1
- 糖尿病透析予防指導管理料
- 院内トリアージ実施料

- 夜間休日救急搬送医学管理料
- 在宅療養後方支援病院
- がん治療連携指導料
- 造血管腫瘍遺伝子検査
- 持続血糖測定器加算

## 【検査・画像診断】

- HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出  
(簡易ジェノタイプ判定)
- 検体検査管理加算 (I) (IV)
- コンタクトレンズ検査料 1
- 時間内歩行試験
- CT 撮影及び MRI 撮影
- ヘッドアップフィルター試験
- 小児食物アレルギー負荷検査

## 【投薬・注射】

- 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- 外来化学療法加算 1
- 無菌製剤処理料

## 【リハビリテーション】

- 心大血管疾患リハビリテーション料 (I)
- 脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)

- 運動器リハビリテーション料 (I)
- 呼吸器リハビリテーション料 (I)
- がん患者リハビリテーション料

## 【処置・手術・麻酔・病理】

- 医科点数表第 2 章第 10 部手術の  
通則の 5 及び 6 に掲げる手術
- 輸血管理料 II
- 輸血適正使用加算
- 麻酔管理料 (I)
- 透析液水質確保加算 2
- 早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術
- 病理診断管理加算 1
- 胃瘻造設術
- 人工肛門・人工膀胱増設術前処置加算
- 経皮的冠動脈ステント留置術
- 経皮的冠動脈形成術
- ペースメーカー移植術及びペース  
メーカー交換術
- 大動脈バルーンパンピング法
- 【入院時食事療養】
- 入院時食事療養 (I)

# 特色

## ●感染症指定医療機関

感染症センターでは、感染症医療の県内拠点病院として、常勤の感染症専門医が適切な診療を行うとともに、県内の病院からのコンサルテーションに応じています。長野県内唯一の第一種感染症指定医療機関として患者受入訓練を毎月実施し、感染症発生時に適切な対応ができる体制を維持しているほか、エイズ治療中核拠点病院として各種研修等を実施し、人材の育成を図っています。

## ●内視鏡検査の積極的な実施

平成 29 年 7 月開設の新棟への移設に伴い、より充実した診療環境において、疾病の早期発見・早期治療のため、内視鏡検査を積極的に実施しています。

## ●地域包括ケア病棟

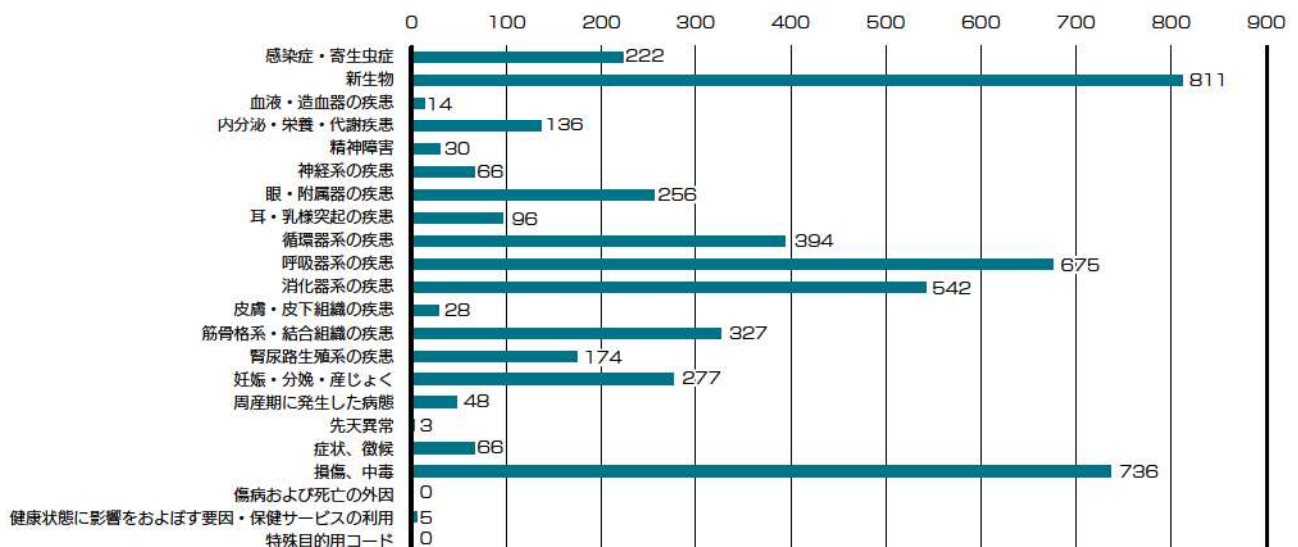
地域の病院、診療所、訪問看護ステーション及び行政でつくる「須高在宅ネットワーク」に参加し、「地域みんなで支える在宅医療」の実現に寄与しています。加えて、地域包括ケア病棟は、急性期病院との連携のほか、慢性期対応病院や介護施設及び訪問看護ステーションとの連携を図り地域包括ケアシステムの中核的役割を果たしています。

## ●人材育成

人材育成研修機能として、本部研修センターのスキルラボを活用したシミュレーション研修や総合診療専門医の育成などを有するほか、医師臨床研修病院としての機能と自治医科大学卒業医師の臨床研修病院としての機能も果たしています。

## ●疾病統計大分類 (30 年度)

(単位：人)



## 平成30年度の 信州医療センター

### 医療

#### ○ 産科医療の充実

- ・平成30年4月から産婦人科常勤医師を3名から4名(うち産科常勤医師3名)に増員し、地域の産科医療の充実に貢献しました。
- ・産科医師の負担軽減と地域の分娩体制の維持を目的とした院内助産の実施に向けて、助産師を「信州大学院内助産リーダー養成コース」に派遣し、体制の整備を図りました。
- ・かねてよりニーズが高かった個室及び2床室を増室するとともに応接家具を設置し、広い病室でお見舞いに来た家族ともゆっくり過ごせるようになりました。また、授乳室も広く明るいお部屋に移設リニューアルしました。



#### ○ 対策型胃内視鏡検診の受託開始

- ・平成30年7月から須高地区の市町村と須高医師会と連携した対策型胃内視鏡検診の受託を開始しました。疾病の早期発見・早期治療につながり地域住民の健康水準の向上に寄与しています。

#### ○ 地域包括ケア病棟の増床

- ・平成31年1月から地域包括ケア病棟(南7階病棟)を3床増床し、「在宅医療安心ネット」の後方支援病院として、亜急性期やレスパイト患者さんの積極的な受入れを継続するとともに、冬季の患者受入体制の整備を行いました。

#### ○ 電子カルテシステムの更新

- ・平成31年1月に電子カルテシステムを更新し、地域医療の拡充として、須高在宅ネットワーク(エイル)との診療情報を連携する仕組みを構築しました。

### 地域

#### ○ 市民公開講座の開催

平成30年9月9日(日)に、須坂市文化会館メセナホールにて、須高医師会との共催で、日本人に増えつつある「大腸がん」をテーマとした市民公開講座を開催しました。大腸がんの早期発見の重要性やその治療方法について、当院医師2名による講演が行われ、175名の皆さんに聴講いただきました。



#### ○ 出前講座

地域住民の健康増進に寄与するため、多種多様なテーマで53回開催し、須高地域をはじめ、近隣市町村の住民3,188人に参加いただきました。





## TOPICS

### 地域のボランティアの皆さんに支えられて

地域のボランティアの皆さんには、1年を通じて、花壇の手入れや草刈り、花植え作業、院内デイケアのお手伝い、ホスピタルコンサートへの出演などにより、当院を支えていただいています。地域の皆さんの温かなお気持ちとともに地域に愛される病院づくりを目指しています。



### 親子病院見学会

平成30年11月17日(土)に、須坂中央地域づくり推進委員会・須坂市中央公民館主催の親子見学会が開催されました。薬剤科での薬の分包体験、研修センターでの内視鏡手術トレーナー体験など、普段は見るできない病院の裏側を見学・体験していただきました。



### 第17回信州医療センター病院祭

(同時開催 第25回須坂健康まつり)

平成30年10月20日(土) 9:00~15:00

#### 医療講演会

「婦人科領域にまつわる健康長寿の話」

講師：信州医療センター婦人科部長 飯高雅夫

#### 内容

Su3(鈴木正)コンサート、須坂エクササイズ、スムージーコンテスト、ダンスチーム演技、犀川神社獅子舞、バザー、餅つき

内視鏡体験、薬剤師のお仕事体験、腹腔鏡体験、お医者さん・看護師さんに変身してみよう、動脈硬化測定など





# こころの医療センター駒ヶ根

〒399-4101  
長野県駒ヶ根市下平 2901 TEL 0265-83-3181 (代表) FAX 0265-83-4158

## 指定医療機関

- ・精神科救急病院（常時対応型施設）の指定
- ・精神保健福祉法に基づく応急入院指定病院
- ・医療観察法に基づく指定入院医療機関及び指定通院医療機関



こころの医療センター駒ヶ根は、質の高い専門医療、患者さんに信頼される医療の提供、思いやりのある病院づくりを基本理念に掲げ、長野県の精神科医療の中核として「ひらかれた病院」を目指し、病院のキャッチフレーズである「あなたの手の届くところに」のもと、治す医療に加え、癒す医療、そして寄り添って患者さんの人生を支える医療を推し進めています。

また、24時間365日体制による精神科救急への対応をはじめとして、児童精神科やアルコール・薬物依存症等に対しては質の高い専門医療を提供し、難治性患者さんにはm-ECT（修正型電気けいれん療法）やクロザピン治療等の治療効果の高い医療を提供しています。退院後も、患者さんの状態に合わせた多機能デイケアや在宅患者さんを支える訪問看護を行うとともに、利用しやすい医療福祉相談等により、早期治療と社会復帰に力をいれています。

多職種チームによる専門性を活かした取組として、児童精神科において専門チームによる初診診療と、行政や地域の医療機関等と連携した「もの忘れ外来」を行っています。

## 基本理念

- 1 私たちは、患者さんの人権を尊重し、信頼される医療サービスを提供します。
- 2 私たちは、長野県の精神科医療の中核病院として、質の高い専門医療を提供します。
- 3 私たちは、思いやりのある病院を目指します。

## 基本方針

- 1 患者さん一人ひとりと向き合い、権利の尊重と個別性への配慮に努めます。
- 2 救急・急性期を始めとする地域のニーズに応えるとともに、長野県の精神科医療の中核を担います。
- 3 良質で安全な精神科医療を提供すべく、専門知識の習得と医療技術の向上に努めます。
- 4 多職種チーム医療を実践します。
- 5 保険・医療・福祉・教育機関と連携して、患者さんの地域生活を支援します。
- 6 精神科医療を担う人材育成と医療の質の向上のための研究・研修に取り組みます。

## 患者さんの権利と責任について

私たちは、次に掲げる患者さんの権利を大切に考えています。また、安全かつ効果的な医療サービスを楽しむために、患者さんとご家族は、治療に参加・協力をしていただく責任があります。

- 1 必要な医療情報の提供とその説明を受ける権利
- 2 プライバシーを保護される権利
- 3 良質かつ適切な医療・福祉サービスを受ける権利
- 4 個人の尊厳が守られる権利
- 5 セカンドオピニオンを求める権利

## 職員倫理綱領

- 1 私たちは、公平・公正に最善の専門医療を提供します。
- 2 私たちは、日ごろから信頼関係の構築に努め、患者さん中心の医療を推進します。
- 3 私たちは、職務上知り得た秘密を守ります。
- 4 私たちは、精神障害に対する差別と偏見を解消するための啓発活動に取り組みます。

## 教育施設等の指定

- ・病院群による臨床研修指定病院
- ・新医師臨床研修制度による臨床研修病院（協力型）
- ・日本精神神経学会精神科専門医制度による研修施設
- ・日本老年精神医学会専門医制度認定施設



## 主な医療機器設置状況

- パルス波治療器サイマトロン（m-ECT（修正型電気けいれん療法））
- 治療抵抗性統合失調症治療薬「クロザピン」の使用承認（平成26年）など

## 施設基準

- |   |   |  |
|---|---|--|
| ●精神科病棟入院基本料（15対1）<br>看護配置加算<br>看護補助加算1  | ●精神科急性期治療病棟入院料1<br>●児童・思春期精神科入院医療管理料<br>●入院時食事療法<br>●薬剤管理指導料<br>●CT撮影およびMRI撮影<br>●通院・在宅精神療法<br>（児童思春期精神科専門管理加算）<br>●依存症集団療法<br>●精神科作業療法<br>●精神科ショート・ケア<br>（大規模なもの）<br>●精神科デイ・ケア（大規模なもの） | ●抗精神病特定薬剤治療指導管理料<br>（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る）<br>●医療保護入院等診療料<br>医療観察法に係わるもの<br>●入院対象者入院医学管理料<br>●退院対象者通院医学管理料 |
| ●療養環境加算<br>●精神科応急入院施設管理加算<br>●精神科病棟入院時医学管理加算<br>●精神科身体合併症管理加算<br>●重度アルコール依存症入院医療管理加算<br>●医療安全対策加算2<br>●精神科救急搬送患者地域連携紹介加算<br>●精神科急性期医師配置加算<br>●精神科救急入院料1 |   |  |

## 特色

### ●多彩な精神科専門医療

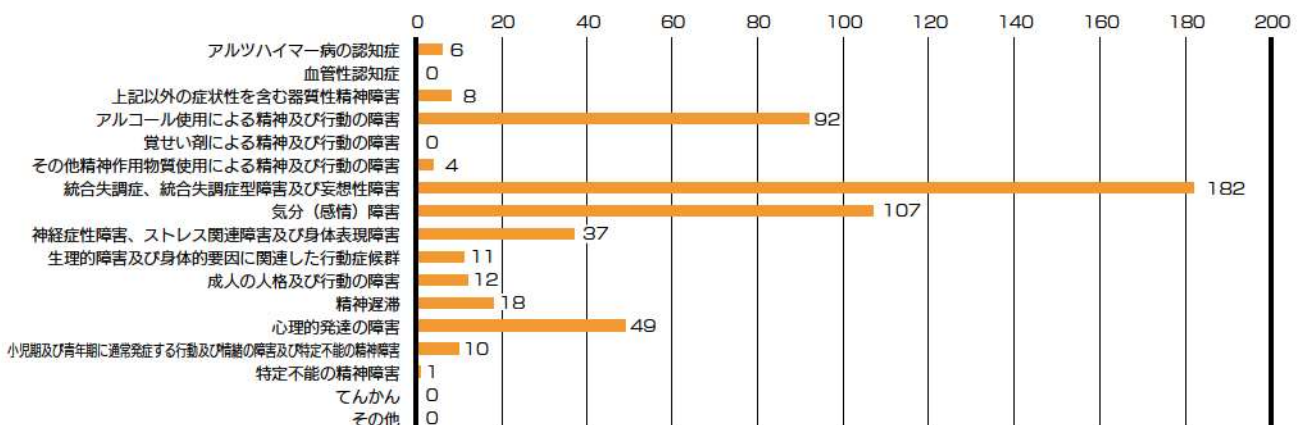
県内における精神科の公的中核病院として、365日24時間体制での「精神科救急・急性期医療」、独自の治療プログラムによる「依存症医療」、県内唯一の専門入院病棟を有する「児童精神科医療」、「医療観察法における専門治療」、地域の医療機関や市町村と連携した「認知症治療」など、県民ニーズに即した専門的な精神医療サービスを提供しています。

### ●豊富な知識・経験者による人材育成

精神科研修・研究センターでは、当院の幅広い患者層と専門医療を活かして、県内外の医療機関の医師、看護師、薬剤師、臨床心理士、精神保健福祉士等の精神医学・医療に係わる方の資質向上を図るとともに、臨床で活かせる研究を行っています。

### ●疾病統計大分類（30年度）

（単位：人）



## 平成30年度の こころの医療センター駒ヶ根

### 医療

#### ○ 児童精神科医療の充実

- ・ 6月に専門的な治療を提供している医療機関が少ない思春期年代(15～18歳)の患者さんを対象に「思春期外来」を開設しました。
- ・ 児童・思春期の患者さんを対象とした「思春期ケアプログラム」に多職種で行うSST(ソーシャルスキル・トレーニング)を取り入れ、1月より開始しました。
- ・ 県内の関係機関に対して医学的支援、人材育成等を行うことを目的に長野県が行っている「子どもの心診療ネットワーク事業」において、入院治療などの総合的対応や人材育成を担う拠点病院に指定されました。

#### ○ 人材育成の推進

- ・ 信州大学との協定により平成29年度に開始した連携大学院教育では医師1名が臨床業務に携わりながら研究活動を進め、学位の取得を目指しています。令和元年度も医師1名を採用予定です。
- ・ 発達障がい診療できる医師の養成を目的に設置された信州大学医学部子どものこころ発達医学教室に協力するため、医師の外来陪席実習を開始しました。



#### ○ 地域における連携とネットワークの構築

- ・ 総合病院における精神科リエゾンチームのコンサルティングを行うため、南信地域の救急救命センターを持つ総合病院へ精神科医を派遣しています。

#### ○ 電子カルテの更新

- ・ 10月に電子カルテシステムを更新し、診療情報データベースを統合したことにより業務効率化を図り、より質の高い医療を提供する体制を整えました。
- ・ 災害時でも継続した医療の提供が可能になるよう、遠隔地バックアップ機能を構築しました。



## 地域

### 公開講座

- ・ 2月2日に児童精神医療、教育、福祉に従事する方を対象に公開講座を当院で開催し、100人を超える参加者がありました。

講師：駒木野病院副院長 笠原麻里先生



### 出前講座

- ・ 依存症やうつストレスケア、精神疾患など4つのメニューを開設し、17回、延べ842人が参加しました。



## TOPICS

### 建築賞受賞

当院の建物が第16回公共建築賞「公共建築賞・特別賞」受賞しました。当院の受賞とともに東京スカイツリーも特別賞を受賞しています。



### 院外広報誌「ここ駒通信」リニューアル

院外広報誌を大幅リニューアルしました。新しいここ駒通信は、患者さんを対象とし、「わかりやすさ」に重点をおきました。配布は駒ヶ根市の隣組回覧を実施したほか、県庁や合同庁舎への配置も行いました。





# 阿南病院 (地域医療総合支援センター)

〒399-1501

長野県下伊那郡阿南町北條 2009-1 TEL 0260-22-2121 (代表) FAX 0260-31-1014

● 指定医療機関

- ・ 救急告示病院
- ・ へき地医療拠点病院



阿南病院は、下伊那南部地域唯一の中核病院として、地域の医療・保健・福祉機関との連携のもと、地域住民の暮らしと絆を支え続け、地域に寄り添う医療を提供し、さらに地域医療に携わる人材を育成する病院を目指しています。

当地域は、全国的に見ても高齢化（率 44.0%）が進み、さらに少子化による人口減少地域であることから、無医地区への巡回診療や、訪問診療・看護・リハビリ、服薬指導等の在宅医療を推進するとともに、介護老人保健施設も併設して運営しており、さまざまな活動を通じて高齢者への手厚い医療支援の推進に努めています。

これからの地域の医療ニーズに適切に対応するために、町村や医師会と連携して「下伊那南部の包括ケアシステム」の構築を進めるなかで、「地域医療総合支援センター」において住宅医療、地域の健康管理事業、認知症への対応、さらに町村の小児健診などへの支援にも取り組んでいきます。

## 基本理念

- 1 私たちは、地域の中核病院として質の高い医療を提供します。
- 2 私たちは、患者さんの人権を尊重し、明るくやさしさと思いやりのある医療を提供します。
- 3 私たちは、地域の保健・医療・福祉の連携のもと地域に根ざした医療を提供します。

## 患者さんの権利に関する宣言

私達、阿南病院職員一同は、患者さんとの信頼関係に基づき、患者さんを中心の医療を行っていきます。

全ての患者さんには、次のような権利があります。

- 1 人間として尊重される権利  
患者さんは、どんな場合でもひとりの人間として大切に扱われる権利があります。
- 2 平等に良質な医療を受ける権利  
患者さんは、誰でも、どのような病気にかかった場合でも、平等に良質な医療を受ける権利があります。
- 3 インフォームドコンセント（説明と同意）  
患者さんは、自分の病気のことや自分が受けている治療方法について、わかりやすい言葉で、理解できるまで、説明を受ける権利があります。
- 4 医療行為を選択する権利  
患者さんは、治療、検査の方法等を決めるときは、自分の意見を述べ自ら決定する権利があります。また、別の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞く権利があります。
- 5 プライバシーが守られる権利  
患者さんの個人情報の秘密の保持やプライバシーが保護される権利があります。

○ 本院は、患者さんの基本的な権利を明確にし、患者さん主体の医療を地域に根付かせる目的でこの権利宣言をしました。

なお、患者さんには、当院のルールを守り、当院職員の診療や他の患者さんの治療の妨げとならないよう協力する責任があります。

## 倫理要綱

### 使命

地域住民によってつくられた自治体病院である県立阿南病院は、下伊那南部地域に不足している医療に積極的に取り組むとともに、地域の医療機関や行政機関等との連携を図りながら、公平・公正な医療を提供し、地域住民の健康の維持・増進を図り、地域の発展に貢献することを使命とする。

### 行動指針

- 1 地域医療の確保  
阿南病院は、地域住民のニーズに対応した適正な医療を提供する。
- 2 医療水準の向上  
阿南病院は、総合的医療機能を基盤に、へき地医療、高度・特殊医療、先駆的医療及び介護老人保健施設等を担い、さらに医療従事者の研修の場としての役割を果たし、地域の医療水準の向上に努める。
- 3 患者中心の医療の確立  
阿南病院は、患者に対し十分な説明と同意のもとに医療を提供し、かつ、診療情報を積極的に公開し、患者の権利を遵守する患者中心の全人的医療を確立する。
- 4 安全管理の徹底  
阿南病院は、安心して医療を受けられる環境を整備し、職員の安全教育を推進する。
- 5 健全経営の確保  
阿南病院は、公共性を確保するとともに、合理的かつ効率的な病院経営に努めることにより、健全で自立した経営基盤を確立する。

## 主な医療機器設置状況

- 生化学自動分析装置
- 光干渉断層計
- マルチカラーレーザー光凝固装置
- 個人用透析装置
- 全身麻酔器
- 上部消化管ビデオスコープ（経鼻用）
- ポータブル超音波診断装置
- 携帯用エックス線撮影装置（訪問診療用）
- 人工呼吸器（Vera、他）
- 磁気共鳴断層診断装置（MRI）
- 超音波診断装置（一般用・心臓用）
- BO列マルチスライスCT装置
- 乳房（エックス線）撮影装置
- 特殊浴槽
- 全自動血液凝固測定装置

## 施設基準

- 急性期一般病棟入院基本料 6
- 救急医療管理加算
- 診療録管理体制加算 2
- 医師事務作業補助体制加算 1
- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算
- 医療安全対策加算 1
- 感染防止対策加算 2
- 患者サポート体制充実加算
- 後発医薬品使用体制加算 1
- 病棟薬剤業務実施加算 1
- がん性疼痛緩和指導管理料
- 小児科外来診療料
- 外来リハビリテーション診療料
- ニコチン依存症管理料
- がん治療連携指導料
- 薬剤管理指導料
- 検査画像情報提供加算
- 電子的診療情報評価料
- 医療機器安全管理料 1
- 検体検査管理加算 (1)
- 小児食物アレルギー負荷検査
- CT撮影及びMRI撮影  
16列以上のマルチスライスCT  
MRI (1.5 テスラ以上)
- 無菌製剤処理料
- 脳血管疾患リハビリテーション料 (II)
- 運動器リハビリテーション料 (1)
- 呼吸器リハビリテーション料 (1)
- がん患者リハビリテーション料
- 透析液水質確保加算 1
- 胃瘻造設術
- 輸血管理料 (II)
- 総合評価加算
- データ提出加算
- 人工腎臓・導入期加算 1
- 輸血適正使用加算
- 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- 保険医療機関の連携による病理診断
- 入院時食事療養 (1)
- 特別食加算
- 食堂加算
- 認知症ケア加算 2

## 特色

### ●へき地巡回診療

昭和36年7月から無医地区解消のためへき地巡回診療が開始されました。当時は木曾郡開田村、新開村、日吉村、楢川村の各無医地区と飯田市松川入り、大平地区を3泊4日かけてジープで医師、看護師、運転手兼事務職員で巡回診療を行っていましたが、昭和38年に木曾病院の発足により木曾地区への役割を終え、阿南町3地区と下條村の1地区となり、昭和45年からは薬剤師を加え、現在は阿南町日吉、鈴が沢の2地区を隔週で行っています。平成26年から、モバイル端末を用いて電子カルテシステムによる処方オーダーや画像データ等のやりとりを開始し、また、携帯型X線装置や超音波診断装置を活用して、検査体制も充実させています。

### ●地域医療総合支援センター

#### ①健康管理センター

人間ドックや各種健診を中心に健康管理事業に取り組んでいます。また、町村と連携し小児健診を受託し、専門スタッフによるフォローアップなどにより公衆衛生活動の充実を図っています。

#### ②認知症なんでも相談室

認知症なんでも相談室では、認知症を地域で支える取り組みとして、「相談業務」「院内デイサービス」「認知症カフェ」などを行うとともに、平成29年9月から専門医師による専門外来へのコンサルトをスタートして診療を開始し、高齢者が地域で安心して暮らせる手助けをしています。

#### ③へき地医療研修センター

平成29年10月から信州型総合医療養成プログラムによる後期研修医1名を受け入れ総合診療医養成が開始しました。

### ●在宅医療の推進

平成9年から訪問医療を開始し、現在、訪問診察、訪問看護、訪問リハビリ、訪問薬剤管理指導、訪問栄養指導を行っています。

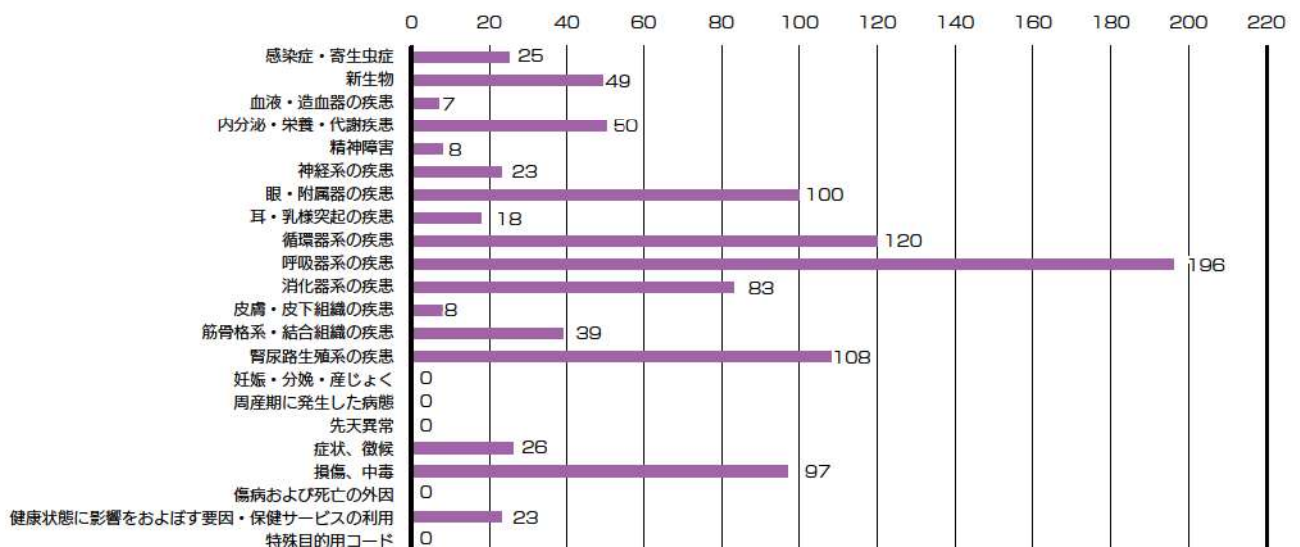
高齢になって通院できない患者様が自宅で暮らすために医療スタッフ（医師、看護師、理学療法士、薬剤師、管理栄養士等）が何って診療を行いなから支えています。

また、平成26年から、モバイル端末を用いて電子カルテシステムによる処方オーダーや画像データ等のやりとりを開始し、また、携帯型X線装置や超音波診断装置を活用して、検査体制も充実させています。

ゆっくり流れる時間の中で病気だけを診るのではなく、患者・家族・地域の視点に立った診療の提供を目指し、患者さんにじっくり関わる診療を行っています。

### ●疾病統計大分類（30年度）

(単位：人)



## 平成30年度の 阿南病院

### 医療

#### ○ 診療体制の充実

- ・常勤の外科医が不在になりましたが、内科医体制を維持して内科医でカバーするとともに、整形外科医を2名体制として診療体制の充実により住民のニーズに応える地域医療を推進しました。眼科診療では、平成28年度に導入したOCT(光干渉断層計)を用いて加齢とともに多くなる網膜系の眼疾患の早期発見、治療にあたりました。また、小児科の日曜診療、インフルエンザ予防接種の土曜日の接種を実施し、患者さんの利便性、安心感の向上と地域からの信頼感を醸成しました。

#### ○ 「地域医療総合支援センター」の充実

- ・専任スタッフと認知症看護認定看護師を配置し相談業務を積極的に行うとともに、認知症専門外来の開診に向けて、専門医師による専門外来へのコンサルトをスタートするなど、診療を開始しました。地域住民のボランティアスタッフの協力を得ながら認知症を併発した入院患者を対象にした院内サービス、認知症カフェ「かふえ なごみ」を継続実施しています。また、啓発活動として、地域住民や関係団体等への認知症サポーター研修も継続実施しています。



#### ○ 地域の医療機関への連携

- ・J Aみなみ信州阿南歯科診療所と連携し、入院患者の嚥下機能評価のため、平成29年11月から診療所歯科医師の訪問診察により内視鏡的機能検査(V E)を実施し当院の摂食嚥下障害患者への診療に役立てています。

### 地域

#### ○ 出前講座の実施

- ・住民の皆さんの健康保持増進や生活習慣予防に役立てるように、また、病院への信頼感と共にPRにつなげるために実施しています。ロコモティブシンドロームや糖尿病予防についてなど3講座を4回実施し155名の参加がありました。

#### ○ 地域の関係機関との連携

- ・阿南消防署及び本部研修センターと連携した中学生に対するBLS(1次救命処置)講習会を継続し診療圏内全中学校で実施しました。過疎、高齢地域において1次救命の重要な担い手になるよう中学生に救命処置の大切さを伝えるとともに、地域と関係機関との連携を深めました。





## TOPICS

### 日曜診療の実施

- ・小児科では、4月から毎月第1日曜日に小児科日曜診療を実施し診療日数12日間で計152名を診療しました。また、インフルエンザ予防接種の土曜日の接種を2回実施し、延べ172名となり、地域の患者さんの利便性・安心感の向上と地域からの信頼感を醸成しました。

### 職員経営状況説明会の実施

- ・経営等に関する情報を共有し、職員の経営に対する意識を高めるため、決算、計画の説明会各セクションごとに開催しました。また、クリニカルインディケーターの項目を見直し、対策が必要な重点項目について担当科で更に検討し、職員の意識向上を図りました。

### 職員認知症サポーター研修を実施

- ・高齢の患者さんが多い当院においては、職員が認知症を正しく理解し高齢者に優しい病院・地域づくりを実践するため、委託職員を含めた全職員を対象に認知症サポーター研修を平成28年6月から実施し、28年度は7回150人、29年度2回17人、30年度1回18人が受講しました。また、地域住民や関係団体へもサポーター養成講習会を4回実施して99名の参加がありました。



### 院内情報交換会の実施

- ・平成26年度より院内で、常日頃行っている調査研究や業務改善の取組み等について発表および情報交換を実施しています。今年度は、2回にわたり6題発表し職員間の情報共有を図るとともに今後の業務改善に役立てます。

### 第15回 阿南病院・アイライフあなん南宮祭

平成30年10月20日(土) 9:30～14:30

講演会

講師：長野県立病院機構統括産業医 鳥海 宏先生

講演：「健康長寿のために」

内容

◎イベント：ドクターヘリ見学、大下條小金管バンド、下條 ATOS よさこいソーラン踊り、職員コンサート、カッセイカマンショー、阿南高校吹奏楽部演奏&ダンス、豚汁無料サービス

◎体験：健康チェック、手洗い体験、CT内覧会、「なごみ」相談コーナー、スタンプラリーゲームコーナー、レスキュー車の展示と写真撮影・パトカー展示、フリーマーケット

◎展示：作品展示（保育園・アイライフあなん利用者、写真クラブ）、生け花展示（阿南高校華道部）





# 木曽病院

〒397-8555 長野県木曽郡木曽町福島 6613-4 TEL 0264-22-2703 (代表) FAX 0264-22-2538



木曽病院マスコットキャラクター「きそっぴい」

## 指定医療機関

- 救急告示医療機関
- 災害拠点病院
- へき地医療拠点病院
- 第2種感染症指定医療機関
- 更生医療指定機関
- 臨床研修指定病院
- 地域がん診療病院



木曽病院は、木曽二次医療圏唯一の病院として、24 時間 365 日体制で救急に対応するとともに、がん診療を中心とした急性期医療から里帰り分娩や在宅医療まで、都市部の病院と比較しても標準以上の医療の質とサービスを提供することを目指し、職員一同日々取り組んでいます。

また、院内の療養病棟はもとより、併設している介護老人保健施設と連携しながら、医療と福祉の切れ目のないサービスを提供しているほか、県内病院では唯一 DMAT（災害派遣医療チーム）を組織しています。

このほか赤沢自然休養林での森林セラピードックや無医地区への巡回診療などの独自の取り組みも展開しています。

## 基本理念

私達は、患者さんの立場にたち、信頼と満足が得られて、心のふれ合いのある医療サービスを実践します。

## 基本方針

- 1 木曽で唯一の病院として、いつでも安心してかかることができる地域に信頼される病院を目指します。
- 2 人権を尊重し、十分な説明と同意（インフォームドコンセント）に基づいた医療サービスを提供します。とりわけチーム医療に取り組みます。
- 3 つねに新しい知識と技術の習得に努め、地域に根ざした質の高い医療を提供します。とりわけ救急医療の充実に努めます。
- 4 町村や他の医療・福祉・保健・介護施設と連携を強化して、地域の要望に応えられるよう勤めます。とりわけ在宅医療を充実します。
- 5 清潔、快適で安らぎのある療養環境の整備改善に努めます。
- 6 人間性にあふれた、働きがいのある病院運営に努めます。
- 7 健全経営の維持に努めます。

## 職員倫理規程

- 1 患者の権利・義務憲章を認識し、擁護・指導する共同の責任を担うこと。
- 2 患者さんの健康を、自らの第一の関心事として、良心と尊厳をもって自らの専門職を実践すること。
- 3 生涯学習の精神を保ち、常に必要な知識と技術の習得に努め、患者さんに奉仕すること。
- 4 医療の公共性を重んじ、医療を通じて社会の発展につくすとともに、法規範の遵守に努めること。

## 教育施設等の指定

- 日本内科学会認定医制度教育関連施設
- 日本透視学会教育関連施設
- 日本消化器病学会関連施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本神経学会専門医制度教育関連施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本整形外科学会認定研修施設
- 日本眼科学会専門医制度研修施設
- 日本臨床細胞学会認定施設
- 日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
- 日本脳卒中学会専門医研修教育病院
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設

## 主な医療機器設置状況

### <放射線>

- X線テレビ装置
- 骨密度測定装置
- 血管撮影装置 (心臓専用 / 汎用)
- CTスキャナー (320 列X線CT)
- MRI (1.5 Tesla)
- ガンマカメラ
- 乳房撮影装置

- 高エネルギー放射線治療装置
- 治療計画装置 (64列X線CT)
- 核医学検査装置
- <臨床検査科>
- 多項目自動赤血球分析装置
- 超音波診断装置
- 超音波心臓診断装置
- 自動尿分析装置
- 生化学自動分析装置

- 病理検査システム
- 全自動血液ガス分析装置
- 内視鏡システム
- <手術室・中央材料室>
- クリーンゾーンシステム
- 手術用双眼顕微鏡
- 集中型患者監視システム
- 低温プラズマ滅菌システム
- 高圧蒸気滅菌機・麻酔器
- 高解像LCDモニター

- X線テレビ装置およびビューイングシステム
- 人工透析装置
- 人工透析中央監視システム
- 持続的血液濾過透析装置
- 逆浸透水処理装置
- 全身麻酔装置
- 真空超音波洗浄機
- <病棟>
- 集中型患者監視システム

- 新生児モニターシステム
- 成人用モニターシステム
- <その他>
- 院内総合情報システム
- 分娩監視装置
- ヘリポート



## 施設基準

- 急性期一般入院料5
- 療養病棟入院基本料2
- 地域包括ケア病棟入院料1
- 看護職員配置加算
- 入院時食事療養(1)・入院時生活療養(1)
- 診療録管理体制加算1
- 医師事務作業補助体制加算2
- 急性期看護補助体制加算
- 重傷者等療養環境特別加算
- 療養病棟療養環境加算1
- 医療安全対策加算1
- 医療安全地域連携加算1
- 感染防止対策加算1
- 感染防止対策地域連携加算  
褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- ハイリスク妊娠管理加算
- データ提出加算2
- 認知症ケア加算2
- 後発医薬品使用体制加算2
- 入退院支援加算1
- ハイリスク妊産婦共同管理料(1)
- 救急搬送看護体制加算糖尿病合併症管理料
- 糖尿病合併症管理料
- がん性疼痛緩和指導管理料
- がん患者指導管理料(イ)(ロ)(ハ)
- ニコチン依存症管理料
- 麻酔管理料(1)
- 薬剤管理指導料
- 検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
- 医療機器安全管理料1
- HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
- 検体検査管理加算(1)(II)
- 持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
- 神経学的検査
- コンタクトレンズ検査料1
- 小児食物アレルギー負荷検査
- CT撮影及びMR1撮影
- 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- 外来化学療法加算1
- 無菌製剤処理料
- 脳血管疾患等リハビリテーション料1
- 運動器リハビリテーション料1
- 呼吸器リハビリテーション料1
- がん患者リハビリテーション料
- 集団コミュニケーション療法料
- 人工腎臓(慢性医事透析を行った場合1)
- 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
- 導入期加算1
- 下肢抹消動脈疾患指導管理加算
- 輸血管理料II
- 輸血適正使用加算
- 人工肛門・人工膀胱増設前処置加算
- 医科点数表第2章第10部門手術の通則の16に上げる手術(胃瘻増設術・胃瘻増設時嚙下機能評価加算)

## 特色

### ●災害拠点病院

木曽地域唯一の災害拠点病院として、災害時の医療の提供を行うため、広域連合と連携した木曽病院総合防災訓練を毎年行っています。また、DMATも保有しており、平成26年の御嶽山噴火災害の際にはDMATが中心となって災害対応にあたりました。

### ●森林セラピー事業

木曽病院では、木曽の地域医療を守り、地域の活性化に貢献するために平成18年度より森林セラピー事業を行っています。事業内容としては、毎週木曜日上松町の赤沢自然休養林にて観光客のストレスチェックを行う「森のお医者さん」、5月～10月の第3週の日曜日に行う「医師と歩く森林セラピーロード」、上松町とタイアップした「森林セラピードック」の3種類を実施しています。

### ●救急告示医療機関

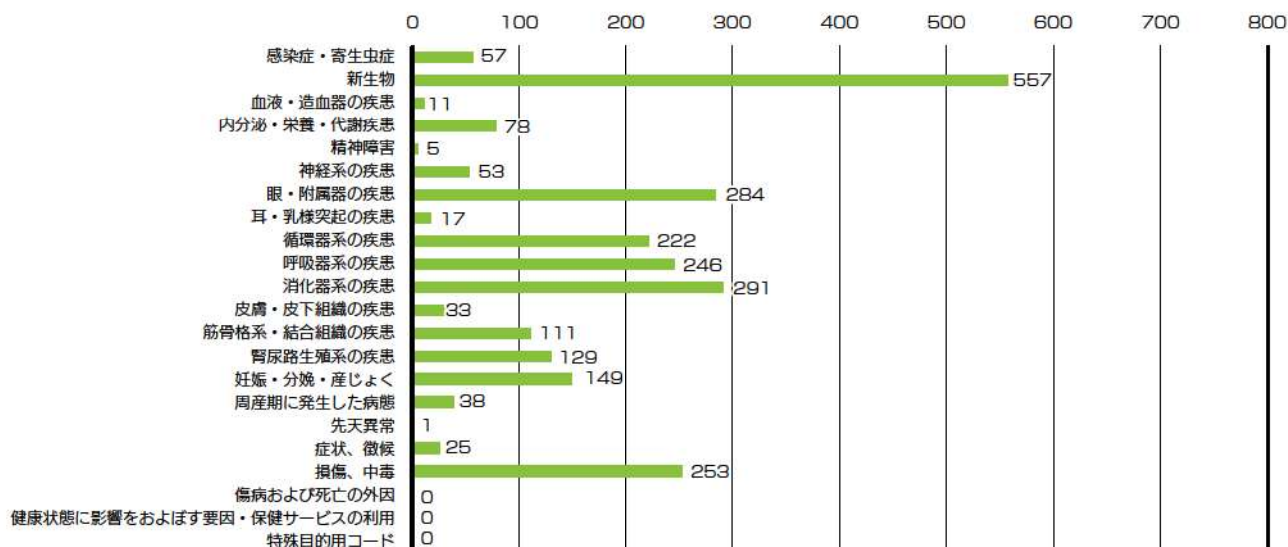
地域完結型の病院を目指し、救急に関しては24時間365日体制で全診療科がオンコール体制を敷いているほか、急性期から慢性期までの疾患、訪問診療、健診と幅広く診療活動を行っています。

### ●へき地医療の提供

上松町の無医地区である「台(だな)」、「才児(さいちご)」地区に毎月第2、第4木曜日に、医師・看護師・薬剤師・事務職員が赴き、巡回診療を行うことにより、無医地区の医療確保に貢献しています。

## ●疾病統計大分類(30年度)

(単位:人)



## 平成30年度の 木曽病院

### 医療

#### 産後ケア事業の開始と助産師外来の開設

退院直後の母子に対して心身のケアや育児サポートを行う産後ケア事業を10月より開始しました。また、木曽郡唯一の産科医療機関として、母子やその家族が地域で安心して満足した妊娠・出産・育児が行われるよう、平成31年2月より助産師外来を開設しました。(週1回)

#### 病院機能評価3rdG:Ver.2.0の認定

質の高い医療を効率的に提供するため、日本医療機能評価3rdG:Ver.2.0を6月に受審し、認定を受けました。

### 地域

#### 患者サポートセンターを設置

従来の地域連携室を強化した患者サポートセンターを設置し、入退院支援係・医療福祉相談係・医療連携係を設け、各係が連携することで患者支援体制の充実を図りました。

#### 在宅医療・介護連携支援センターを設置

患者サポートセンター内に、木曽広域連合から運営を委託された「在宅医療・介護連携支援センター」が設置され、郡内各関係機関の情報共有や共通課題の解決を図り地域包括ケアシステムの中核的役割を果たしています。

4月11日、木曽郡6町村の首長が見守る中、設置式典が行われました。



#### 公開講座

7月11日、小林由紀先生を講師に「もっと知りたい！糖尿病」をテーマとした講演会が開催されました。

#### 出前講座

地域の皆さんの健康保持増進のため、「がん」「感染症」「性教育」等、多種多様なテーマで40回開催しました。



## TOPICS

### 信州木曾看護専門学校より寄付

白凜祭のバザーの売り上げ金額(過去2年分)から、車椅子1台と絵本16冊、ブロック玩具1組を寄付していただきました。絵本と玩具は、受診を待つ子供さんが退屈しないで待てるようにと選んでいただきました。



### 飯嘉副院長が へき地医療貢献者表彰を受賞



### 高校生対象医療体験



県内高校生を対象に「病院医療体験」を開催。初めての試みとして計画したところ、予想をはるかに超える募集があり、受入れ人数を調整し41名の参加で実施されました。

各部門ごとの仕事紹介や、医療体験が行われました。



### 木曾病院祭

平成30年11月3日(祝) 9:30~15:00

医療講演会

「心の健康を守るために」

～うつ病を“もっと”理解しよう～

講師：信州大学医学部 精神医学教室 鷲塚伸介教授

内容

イベント：巴太鼓、峰丈流護身武道、スコップ三味線、吹奏楽演奏ほか

体験：看護師体験、手洗い体験、手術室劇場ほか

各種検診・相談：骨密度測定、メタボ検診、動脈硬化指数測定、体力年齢測定、お薬相談、栄養相談ほか





# こども病院

〒399-8288

長野県安曇野市豊科3100 TEL 0263-73-6700 (代表) FAX 0263-73-5432

こども病院マスコットキャラクター「ちるくま」



## ● 指定医療機関

- ・保険医療機関
- ・指定自立支援医療機関（更生医療）
- ・指定自立支援医療機関（育成医療）
- ・指定自立支援医療機関（精神通院医療）
- ・身体障害者福祉法指定医の配置されている医療機関
- ・生活保護法指定医療機関
- ・特定疾患治療研究事業委託医療機関
- ・指定養育医療機関
- ・小児慢性特定疾患治療研究事業委託医療機関教育施設等の指定

こども病院は、一般の医療機関では対応が困難な、高度で専門的な治療を必要とする小児の疾患を主たる対象として、診断・治療・相談及び指導を行う小児医療施設です。また、周産期医療の中核病院、県の総合周産期母子医療センターとしての機能を担い、出生前後の母体・胎児から新生児に至る一貫した高度専門医療を提供しています。24 時間体制での救急・ドクターカーで地域の医療施設に重症患者さんを出迎えに行く体制の整備、重症な患者さんを診療する小児集中治療室（PICU）など受入れ態勢も整備しています。

生命科学センターをはじめとしてエコーセンター、3Dモデル造形センター、予防接種センター、口唇口蓋裂センターを設置し、小児周産期医療における先進的分野への役割も担っています。こども病院は小児医療の研修にも力を入れ、全国から病院の魅力を感じて集まった多くの医師の養成に貢献しています。

## 理念

わたし達は、未来を担う子ども達とその家族のために、質が高く、安全な医療を行います。

## 5つの基本方針

- 1 こどもと家族の権利の尊重
- 2 療育環境の充実
- 3 チーム医療の実践
- 4 医療従事者の育成
- 5 健全な病院経営

## 職員の倫理要綱

- 1 職員は、すべての患者さんに対し、常に平等に、温かく接しなければならない。
- 2 職員は、十分な情報を提供した上で、医療を受ける者の知る権利、自己決定の権利を尊重しなければならない。
- 3 職員は、守秘義務を厳守し、個人情報の保護に努めなければならない。
- 4 職員は、常に患者さん中心の医療を効率的に提供しなければならない。
- 5 職員は、自己研鑽に努め医学の進歩・発展に尽くし、安全で信頼される医療の提供に努めなければならない。
- 6 職員は、長野県立病院機構職員としての自覚を持ち、お互いに協力して病院の健全な運営に努めなければならない。

## 教育施設等の指定

- ・小児科専門研修施設
- ・日本小児感染症学会認定指導医（専門医）教育プログラム施設
- ・日本血液学会認定血液研修施設
- ・日本小児血液・がん専門医研修施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本小児循環器専門医研修施設
- ・日本循環器学会循環器専門医研修施設
- ・日本周産期・新生児医学会周産期専門医制度（新生児領域）暫定基幹研修施設
- ・日本周産期・新生児医学会周産期専門医制度（母体・胎児領域）暫定基幹研修施設
- ・日本麻酔学会麻酔科認定病院
- ・日本小児神経学会小児神経専門医研修認定施設
- ・日本小児外科学会専門医認定施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
- ・日本成人先天性心疾患認定成人先天性心疾患専門医連携修練施設
- ・日本脳神経外科学会専門医研修プログラム連携施設
- ・日本形成外科学会認定施設
- ・日本整形外科学会専門医研修施設
- ・日本超音波医学会超音波専門医研修施設
- ・日本病理学会病理専門医研修登録施設
- ・日本産科婦人科学会専攻医指導施設
- ・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
- ・日本集中治療学会専門医研修施設
- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・認定臨床微生物検査技師研修施設
- ・日本周産期・新生児学会新生児蘇生法（NCPFR）トレーニングサイト
- ・日本医療薬学会認定薬物療法専門薬剤師研修施設

# 主な医療機器設置状況

- 包括的遺伝子解析機器
- 臨床検査システム
- 総合生理検査システム
- 回診用 X 線撮影装置
- バイプレーン血管撮影装置
- MR I (超電導磁気共鳴診断装置)
- 多目的デジタル X 線テレビシステム
- 3D超音波診断装置
- 経腹超音波診断装置
- 色素性疾患治療用レーザー
- 血管腫治療用レーザー
- 皮膚良性血管病変治療用レーザー装置
- 先天性スクリーニングネットワークシステム
- 汎用超音波画像診断装置
- 外科用イメージシステム
- 心電図データマネジメントシステム
- 手術室・ICU 等モニタリングシステム
- 内視鏡手術 TV システム
- 電子カルテシステム
- 画像管理システムサーバ
- 地域医療連携システム
- ドクターカー

## 施設基準

- 一般病棟入院基本料 7対1入院基本料
- 診療録管理体制加算 1
- 医師事務作業補助体制加算 1 15 対 1
- 急性期看護補助体制加算 1 (25 対 1 看護補助者5割以上)
- 重症者等療養環境特別加算
- 無菌治療室管理加算 2
- 緩和ケア診療加算
- 栄養サポートチーム加算
- 医療安全対策加算 1 (医療安全対策地域連携加算 1)
- 感染防止対策加算 1 (感染防止対策地域連携加算 1・抗菌薬適正使用支援加算 1)
- 患者サポート体制充実加算
- 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- ハイリスク妊娠管理加算
- ハイリスク分娩管理加算
- 病棟薬剤業務実施加算 1
- 病棟薬剤業務実施加算 2
- データ提出加算 2
- 入院支援加算 1・3
- 小児特定集中治療室管理料
- 総合周産期特定集中治療室管理料 (母体・胎児集中治療室、新生児集中治療室)
- 小児入院医療管理料 1
- がん性疼痛緩和指導管理料
- 外来緩和ケア管理料
- がん患者指導管理料 1・2
- 排尿自立指導料
- ハイリスク妊産婦共同管理料 (1)
- ハイリスク妊産婦連携指導料 1・2
- 薬剤管理指導料
- 検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
- 医療機器安全管理料 1
- 在宅患者訪問看護・指導料
- 在宅経肛門の自己浣腸指導管理料
- 持続血糖測定器加算
- 遺伝学的検査
- 骨髄微小残存病変測定
- 検体検査管理加算 (I)・(IV)
- 遺伝カウンセリング加算
- 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
- 胎児心エコー法
- ヘッドアップティルト試験
- 皮下連続式グルコース測定
- 長期継続頭蓋内脳波検査
- 乳腺炎重症化予防ケア・指導料
- 脳波検査判断料 1
- 神経学的検査
- 補聴器適合検査
- ロービジョン検査判断料
- コンタクトレンズ検査料 1
- 小児食物アレルギー負荷検査
- 画像診断管理加算 1・2
- CT 撮影及び MR I 撮影
- 冠動脈 CT 撮影加算
- 心臓 MR I 撮影加算
- 小児鎮静化 MR I 撮影加算
- 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- 外来化学療法加算 1
- 無菌製剤処理料
- 脳血管疾患等リハビリテーション料 (1)
- 運動器リハビリテーション料 (1)
- 呼吸器リハビリテーション料 (1)
- 障害児 (者) リハビリテーション料
- がん患者リハビリテーション料
- 歩行運動処置 (ロボットスーツによるもの)
- 頭蓋骨形成手術 (骨移動を伴うものに限る)
- 脳刺激装置植込術 (頭蓋内電極植込術を含む) 及び脳刺激装置交換術
- 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
- 上顎骨形成術 (骨移動を伴う場合に限る) 及び下顎骨形成術 (骨移動を伴う場合に限る)
- ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- 大動脈バルーンパンピング法 (IABP 法)
- 胎児胸腔・羊水腔シャント術
- 手術の休日加算 1・時間外加算 1 及び深夜加算 1 (新生児科)
- 胃瘻造設術
- 輸血管理料 (1)
- 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- 胃瘻造設時臨床機能評価加算
- レーザー機器加算
- 麻酔管理料 (1)
- 高エネルギー放射線治療
- 入院時食事療養 (1)

## 特色

### ● 小児専門病院

長野県唯一のこども専門の病院として、一般の医療機関では対応ができない疾患の治療など高度な小児医療の後方支援病院としての役割を担っています。

### ● 総合周産期母子医療センター

県内産科医療機関と連携を図りながら、合併症妊娠、胎児・新生児異常等リスクの高い妊娠に対する高度医療や、外科的治療を含む高度の新生児医療を提供し、全国トップクラスの低い水準で推移する県の周産期死亡率・新生児死亡率に貢献しています。

### ● 小児総合診療体制

高度専門医療体制を横断的に統合し、重症患者に対応できる総合診療体制を整備しています。

### ● 小児医療に関わる医師、医療従事者の研修育成体制

こども病院の特徴である新生児・小児の救急集中医療、麻酔、神経、リハビリテーション、循環器、血液腫瘍、在宅医療ならびに外科系医療の研修を通じて、周産期・小児の学際的医療 (Interdisciplinary Medicine) を学ぶことを目的としています。また、こども病院独自の支援制度により職員の研修研究体制を充実させ、職員の資質向上に努めています。

### ● 患者とその家族に優しい病院

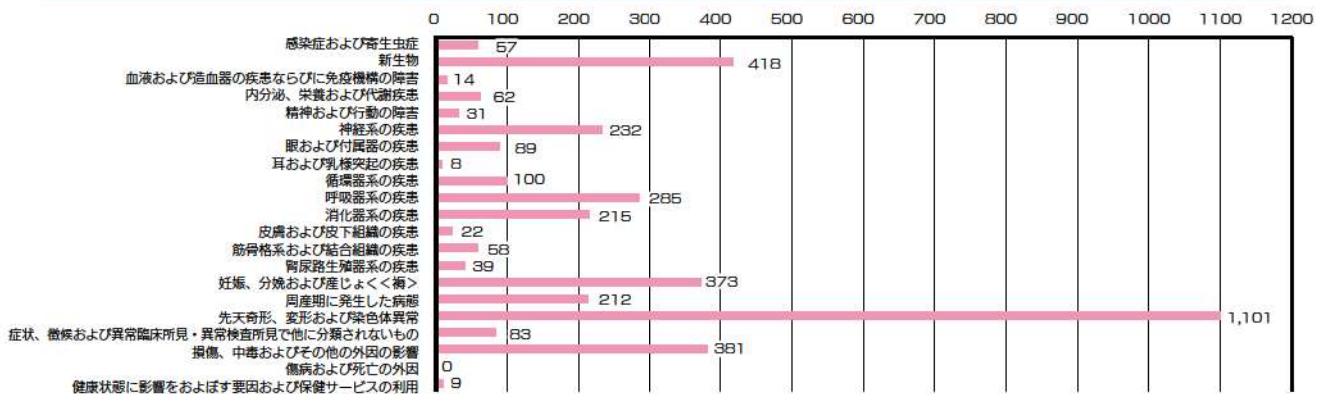
医療相談員やチャイルドライフスペシャリストを配置し、患者とその家族に優しい病院を目指しています。

### ● プレホスピタルケア、ポストホスピタルケアの取組み

生命科学研究センターを開設し、小児がん、先天性疾患、遺伝性疾患及び産科疾患を対象とした、高度先進的検査・解析及び情報提供を実施しています。また、先天性代謝異常の早期発見・早期治療のための先天性代謝異常検査 (タンデムマス法) を県から受託しています。さらに長野しろくまネットワーク (在宅電子連絡帳等) などの IT を活用した地域の医療・福祉・行政関係者との連携促進を図り、小児在宅医療のネットワーク構築を進めています。また、成人移行期支援について、病院全体の委員会を設置、多職種が連携し、成人移行期支援外来 (成人移行) の開始などの体制づくりを行っています。

## ● 疾病統計大分類 (30 年度)

(単位: 人)



## 平成30年度の こども病院

### 医療

#### 〇 こころの診療の充実

4月より常勤精神科医が着任したことにより、周産期メンタルヘルスと緩和ケアについてコンサルテーション・リエゾン活動が充実しました。

#### 〇 小児がんの診療機能の向上

信州大学医学部附属病院小児科、相澤病院陽子線治療センターと連携し、小児の血液疾患及び固形腫瘍における診療治療体制を強化しました。

#### 〇 食物アレルギー、内分泌、糖の負荷試験の入院検査

いままでの外来対応であった試験等について、より集中的評価、指導をおこなうため、日帰り入院を実施しました。

#### 〇 信州大学との連携大学院の開講

当院の医師らが業務を続けながら大学院で研究を進め、博士の学位を取得できる連携大学院の設置についての協定を9月に信州大学と締結し、平成31年4月開講に向けた体制が整い、4名が入学予定です。



### 地域

#### 〇 公開講座の開催

「つくって楽しい♪食べておいしい！アレルギー対応食クッキング」を9月8日(土)松本市信毎メディアガーデンで開催しました。アレルギー専門医の小池医師、大久保栄養科長の講話に続き、料理のデモンストレーションを行い、家族に食物アレルギーがある人たち12人が参加しました。来年度以降も継続して開催する予定です。



恒例となった口唇口蓋裂センターの公開講座を長野県立こころの医療センター駒ヶ根を会場として、11月11日(日)に開催しました。信州大学医学部形成再建外科学教室助教、松本歯科大学病院育成期口腔診療部門(矯正歯科)准教授、信州大学医学部附属病院リハビリテーション部言語聴覚士、こども病院形成耳鼻いんこう科・形成外科医師・言語聴覚士による「口唇裂・口蓋裂のはなし」の講演がありました。

長野県予防接種センターとこども病院合同の公開講座をこども病院を会場として11月24日(土)に開催しました。名古屋市立大学大学院医学研究科、公衆衛生学分野 鈴木貞夫教授による「子宮頸がんワクチンの安全性について考える～名古屋市の疫学調査から～」及び当院総合小児科医師による「小児の予防接種、最近の話題」の講演がありました。





## TOPICS

### 盲目の天才ピアニスト「梯 剛之(かけはし・たけし)さん」の演奏会



生後一ヶ月で小児がんにより視力を失いながらも、天賦の才能とたゆまぬ努力、そしてお母さんの愛情によって世界的なピアニストとして活躍されている梯 剛之さんの演奏会が9月26日こども病院で開催されました。入院中のこども達が少しでも明るくなればという梯さんの思い、子どもたちにしっかりと届いたと思います。

### 第10回こども病院祭

10月7日(日)10時~14時

医療講演会

「ハッピー&カラフルライフ糖尿病を通して、  
見えてくること、学ぶこと」

講師:インスリンメンター 斉藤尚子さん

内容

テーマ「オープンホスピタル~病院祭の原点に帰って~」

特別企画「信州ヘルプマーク普及作戦

ーヘルプマークキーホルダーを作ろうー」

ミニ講演会、

ちるくま音楽隊、

ジャズ演奏、

クラシック演奏院内探検ツアー 他





# 信州木曾看護専門学校

〒397-8567

長野県木曾郡木曾町新開 4236 TEL 0264-24-0020 (代表) FAX 0264-22-4070



長野県では、平成23年度に健康福祉部が設置した「長野県の看護人材養成に係る検討会」において検討、木曾看護専門学校2年課程を閉科し、新たに3年課程の看護専門学校を木曾地域に設置し、その運営主体を地方独立行政法人長野県立病院機構(以下「県立病院機構」)とすることにより、県のへき地医療を担う県立病院機構の機能強化並びに地域内での看護師の養成・定着の推進を図る方針が示されました。平成25年12月25日に厚生労働省から看護師養成所設置指令書の交付を受けると共に、県知事から専修学校設置認可書が交付され、平成26年4月開校に至りました。

県立病院機構が運営する5つの県立病院がそれぞれの特徴を生かしつつ、そのカリキュラムを充実させるため全面的に支援する中、特に地域との結びつきを重視した教育、へき地医療の現実を見据えた教育を行い、地域医療の明日を担う看護師を養成することを目指しています。

## 基本理念

本校は、地域医療、高度・専門医療、県民の視点に立った医療を提供するという公的使命をもつ長野県立病院機構立の学校として、看護の社会的役割を担うことのできる専門職者の育成を目指す。

恵まれた自然と歴史ある環境のもとで、人間の生命や生活の質を多角的に理解し尊重できる豊かな人間性を育み、科学的思考に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養成する。さらに生涯にわたって学び続ける態度を身につけ、地域における保健・医療・福祉の発展充実に貢献する人材を育成する。

## 教育目的

人々の生命と暮らしのありのままを理解することのできる幅広い視野を育み、看護に必要な知識・技術・態度を身に付け、保健・医療・福祉の領域において貢献し得る看護実践者を育成する。

## 特色

### ●看護師国家試験 100% 合格への支援

1年生から学年ごとに学習目標をたて、必要な学習支援を行う。適宜、業者模擬試験を行い、苦手分野の把握やその克服に努め、また、実習での学びと国家試験対策をリンクさせ、幅広い学習を支援する。

### ●自治会活動

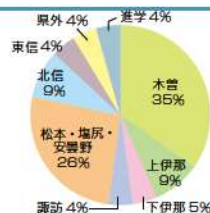
年間を通して自治会活動が行われており、活動を通じて地域の方々との交流が図れている。また、学年間の絆を強くしている。

### ●キャリア形成の支援

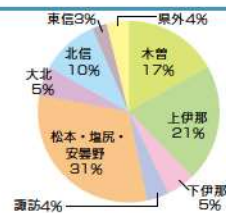
早期からのインターンシップ参加を勧め、各病院からのパンフレットの展示や専門看護師、認定看護師からの講義などでキャリア形成のイメージができるように支援をする。

### ●入学生の概要

平成30年度  
卒業生の進路  
(進学・就職先状況)



平成30年度  
在校生の出身地



### ●長野県立病院機構病院はじめ各所での実習

専門性の高い実習施設において、専門看護師、認定看護師、医師、実習担当指導者、担当教員からの細やかな実習指導を行う。実習前後には十分時間をとり、準備や実習の振り返りを充実させている。また、遠方での実習に備え、スクールバスを備えている。

### ●木曾の郷土食の食育活動

ほう葉まきつくり、そばうちを近隣の主婦から教わっている。郷土食つくりを通して木曾の文化の理解と、食育に役立っている。

### ●卒業後の支援

年1回「ホームカミングデイ」を主催し、互いの情報交換をしてリフレッシュとなるような場をつくっている。



## 平成30年度の 信州木曾看護専門学校

### カリキュラム

3学年分の科目 1年生38単位1,050時間、2年生36単位1,020時間、3年生30単位945時間を展開しました。

### 地域との交流

森林セラピーや里山散策を通して木曾の自然や歴史に触れながら、人々の暮らしに関心を寄せ、感性を磨く体験学習を続けています。また、地域行事（木曾郡障がい者ふれあいスポーツ交流会、地区の文化祭、長野県立木曾病院祭、冬の町中イベント「雪灯りの散歩道」など）に積極的に参加し、地域の方々と交流ができました。

### 学内演習や実習

学内演習を重ね、各看護学実習をしました。機構の病院はじめ、市立大町病院、安曇野赤十字病院、桔梗ヶ原病院、伊那中央病院で実習をしました。



実習室での「洗髪」の演習  
— 技術を鍛えます



本部研修センターでのシミュレーション演習  
— アセスメント能力を鍛えます



第4回文化祭（白凜祭）風景  
— 企画運営を通してマネジメント能力を鍛えます



木曾町の方々が国家試験終了時にあしらえて下さった  
キャンドル— 地域とのつながりを学びます

## TOPICS

学校祭（白凜祭）のバザーの売上金の一部を寄付

バザーの売り上げ金の一部を王滝村滝越地区の被災者の皆様に寄付しました

2月に県民手話講座（入門編）を1年生が受講しました

いろいろな場で助けになることを願っています。



# 本部研修センター

〒382-8577 (住所記載不要)

長野県須坂市大字須坂 1332 長野県立信州医療センター内 TEL 026-246-5540 (代表) FAX 026-246-5559



県立病院の診療機能の維持・発展のために、機構全職員の知識・技能レベルの向上を図るとともに、優れた指導者の育成を目指します。また、長野県全体の医療水準の向上に寄与するため、開かれた研修施設となります。その目標実現のために、以下のように取り組んでいます。

- ①機構のみならず、県内の医療水準向上のため、シミュレーション教育のレベルアップを外部指導者とも協力し推進します。
- ②地域医療ならびに専門医療を提供できる医療人の育成を支援します。
- ③多職種連携に関する教育の推進と研修を実践します。
- ④県内中核病院との連携強化による人材育成ネットワークを構築します。
- ⑤各種の職員研修を通じてキャリア形成支援をします。
- ⑥職種別専門研修の開催・支援をします。

また、当センターは県の信州医師確保総合支援センター・県立病院機構分室として位置づけられており、人材の確保と育成にも力を入れています。

## 基本理念

県民が求める「安心で質の高い医療」を提供できる医療人の育成に努めます。

## 基本方針

- 1 地域医療および専門医療を提供できる医療人を育成します。
- 2 県立5病院の特色を活かした研修体制を構築します。
- 3 社会が求める医療人を育成できる指導者を養成します。
- 4 多職種の連携教育によりチーム医療を推進します。
- 5 キャリアアップを図る研修システムを構築し、広く地域の医療人育成に貢献します。

## 特色

### ●シミュレーション教育とは

医療者教育における「シミュレーション教育」とは、臨床現場・臨床場面を模擬的に再現した環境で、課題を体験し、シミュレーション教育の核である振り返り（デブリーフィング）を行うことで、知識や技能を向上させる学習方法です。

次のように分類されます。

- ①疑似体験（高齢者体験、視覚障がい者体験など）
- ②模擬医療面接（ロールプレイによる医療面接など）
- ③簡易なシミュレータによるトレーニング（採血、縫合手技、聴診、触診、中心静脈穿刺など）
- ④高度なシミュレータによるトレーニング（総合的な問題解決能力が必要なコンピュータ制御の高機能シミュレータなど）
- ⑤チーム医療のトレーニング（上記の組み合わせにより、患者急変、事故など模擬的状況）

### ●シミュレーション研修の指導者育成と実践

シミュレーション教育指導スキルアップシリーズを開催し指導者育成やシミュレーション教育の普及に取り組んでいます。

### ●医師確保・育成

全国の医学生を対象に県立5病院と連携し、「長野県立病院機構病院説明会」を開催しています。医師・研修医・医学生向けのシミュレーション研修を実施しています。

### ●課程別・選択研修の開催

社会人としての基礎知識や、キャリア形成をしていく上で必要な知識、スキルを身につけるための研修を開催しています。

### ●専門研修の開催

各職種に必要なとする知識、スキルを身につけるための研修を開催しています。

## 平成30年度の 本部研修センター

### 医療

#### ○ 第2回病院機構病院説明会の開催

信州大学医学部の協力のもと、県立5病院と連携し医学生を対象に体験型の説明会を開催しました。



#### ○ 初期研修医シミュレーション研修

信州医療センター初期研修医に気管挿管、胸腔ドレーン挿入などシナリオを通して毎月1回シミュレーション研修を行いました。



#### ○ 機構職員が研修講師を担当

新規採用研修Ⅰ、選択研修で機構職員が講師を担当しました。



#### ○ シミュレーション教育指導スキルアップシリーズ①～④

計7回の研修を開催、教育指導者のスキルアップを行いました。



#### ○ 医学生シミュレーション研修

信州大学で実施している“150通りの選択からなる参加型臨床実習”で信州医療センターのプログラム参加者に、採血、気道確保、医療面談等を定期的に行いました。



### 地域

#### ○ 中学生 BLS 講習開催協力

阿南病院、阿南消防署と協力し中学生へのBLS研修会を実施しました。





## 阿南介護老人保健施設 アイライフあなん

〒399-1501 長野県下伊那郡阿南町北條 2009-1  
TEL 0260-22-3800 (代表) FAX 0260-31-1085



### 目的

長野県立阿南病院に併設の介護老人保健施設は、看護・介護・機能訓練などを必要とする介護保険証をお持ちの方々に適切な医療サービスと日常生活上のサービスを行っています。また、自立を支援し、家庭生活への早期復帰を目指すとともに、在宅生活を支えることを目的とした施設です。「アイライフあなん」は、「愛(あい)」といたわりの精神をモットーに看護・介護にあたり、「私(アイ)の生活(ライフ)」を尊重したいと考えています。

### 運営方針

要介護者に対し、介護保険法の趣旨に基づき、適切な施設療養その他サービスを提供し、利用者の自立と家庭復帰を図るため、機能訓練を中心に明るい家庭的な雰囲気のもとでの生活の場を提供するとともに、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行う。

### ●施設の特徴

- 県立阿南病院に併設しているため緊急な治療に直ちに対応できるため安心して生活を送ることができます。
- 機能訓練は理学療法士が個人毎のプログラムに沿って行き機能回復を図ります。また、生活全般のリハビリを通じ自立を支援します。
- 療養室・浴室からは天竜川や南宮大橋を眼下に見下ろすことができ、快適な生活を送ることができます。
- おいしく、楽しく、ゆとりの食事で健康回復を図ります。
- 専門の支援相談員が入所、施設療養上、退所後の生活相談などを行います。

## TOPICS

### ●「動物ふれあい訪問活動」

7月10日、10月24日に長野県動物愛護センターから可愛い動物たち(犬8匹、猫1匹、うさぎ1羽)がやってきました。動物を飼っていたことがあって昔を懐かしむ利用者さんもいたり、中には怖がって触るのを拒んだりする人もいましたが、利用者さんは動物たちとの触れ合いの機会を楽しんでいました。さらに犬はそれぞれ一芸も披

露してくれて、会場にいた人は大きな歓声と拍手で応え感激していました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後に「ワン!」とお別れの挨拶をしてくれました。可愛い動物たちを前に利用者さんも職員も癒されました。



## 木曾介護老人保健施設 アイライフきそ

〒397-8555 長野県木曾郡木曾町福島 6613-4  
TEL 0264-22-2677 (代表) FAX 0264-22-2781



### 基本理念

私達は、利用者様と真摯に向き合い、信頼と満足のある家族の様な心のふれ合いのなか、常に利用者様のニーズを満たす介護サービスを実践します。

### 基本方針

- 1 私達のできる最良の医療・介護サービスを行って、家庭生活への早期復帰を目指し、また在宅生活が円滑に送れるよう、日常生活に役立つ機能訓練を行います。
- 2 私達は、利用者様一人一人の人権を尊重し、ご家族を含めての十分な説明と、ご理解ご同意に基づいた介護サービスを提供します。
- 3 私達は、常に最先端の知識、技術の習得に努め、地域に根ざした質の高い介護サービスを提供します。
- 4 私達は、町村や他介護・福祉施設との連携を強化することにより、地域になくしてはならない施設になることを目指します。

### ●施設の特徴

木曾の素晴らしい環境に囲まれた中で、利用者様が生きがいを感じながら安心して生活が送れるようにスタッフ全員が人と人とのふれ合いを大切に、利用者様とゆったりとした時間を過ごせるように努めてまいります。

## TOPICS

### ●木曾音楽祭ふれあいコンサート

平成30年8月、地元の管弦楽グループによるコンサートが開催されました。素晴らしい演奏に利用者さんも職員も癒されました。

### ●地元団体との交流

毎週水曜日、地域のボランティア団体に、施設内の清掃やシーツ交換などのお手伝いをいただいています。日頃の感謝を込めて、地域のごみ拾いをしたり、薬剤師や栄養師によるミニ講座を開催しました。音楽団体や少年相撲クラブに来訪していただき、地元の団体との交流が毎月行われました。

## 患者の状況

---



# 1 患者の状況

## ① 入院・外来患者数（病院別患者延べ数）

(単位：人)

病院名	区分	入院	外来	合計
信州医療センター		90,876	120,801	211,677
こころの医療センター胸ヶ根		37,515	40,051	77,566
阿南病院		19,272	47,667	66,939
木曽病院		48,709	127,418	176,127
こども病院		55,723	64,946	120,669
合 計		252,095	400,883	652,978

## ② 月別 1 日平均入院患者数

(単位：人)

病院名	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
信州医療センター		258	238	239	243	247	248	238	254	240	244	274	267	249.2
こころの医療センター胸ヶ根		99	100	99	101	101	107	107	102	99	107	106	105	102.8
阿南病院		53	54	46	57	60	52	52	46	52	58	61	44	52.9
木曽病院		126	125	121	124	137	139	131	143	140	143	143	129	133.5
こども病院		139	141	145	155	154	156	165	159	152	150	157	161	152.7
合 計		675	657	650	681	699	701	693	705	682	701	741	706	691.1

※「1日平均」欄は、患者数を年間日数で除し、小数第一位を四捨五入。  
1人以下の時、無記載の場合あり。

## 月別 1 日平均外来患者数

(単位：人)

病院名	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
信州医療センター		476	487	451	499	470	518	492	481	539	554	491	495	496.3
こころの医療センター胸ヶ根		163	166	160	167	165	169	159	160	168	169	163	170	164.9
阿南病院		179	173	184	189	166	185	196	245	250	198	186	199	195.8
木曽病院		503	513	497	507	494	512	518	554	587	553	518	520	523.0
こども病院		247	255	246	257	265	285	252	266	285	273	271	298	266.2
合 計		1,568	1,594	1,539	1,619	1,560	1,669	1,617	1,706	1,830	1,747	1,629	1,683	1,646.3

※「1日平均」欄は、患者数を年間日数で除し、小数第一位を四捨五入。  
1人以下の時、無記載の場合あり。

### ③ 診療科別入院延患者数

(単位：人)

病院名	診療科	患者数 (退院患者含む)	1日平均
信州医療センター	内科	32,785	90
	呼吸器・感染症内科	9,718	27
	脳神経内科	0	0
	循環器内科	5,930	16
	脳神経外科	2	0
	小児科	1,093	3
	外科	6,172	17
	整形外科	23,949	66
	形成外科	6	0
	皮膚科	0	0
	泌尿器科	113	0
	産婦人科	4,483	12
	眼科	810	2
	耳鼻咽喉科	724	2
	精神科	0	0
	放射線科	0	0
	麻酔科	128	0
	呼吸器外科	568	2
	計	86,481	237
	結核	4,395	12
	こころの医療センター駒ヶ根		37,515
阿南病院	内科	16,216	44
	小児科	30	0
	外科	14	0
	整形外科	2,609	7
	泌尿器科	0	0
	婦人科	0	0
	眼科	403	1
	精神科	0	0
計	19,272	53	
木曽病院	内科	20,624	57
	神経内科	8,456	23
	小児科	339	1
	外科	7,160	20
	整形外科	7,808	21
	皮膚科	0	0
	形成外科	0	0
	泌尿器科	801	2
	耳鼻咽喉科	0	0
	精神科	0	0
	産婦人科	2,862	8
	放射線科	0	0
	眼科	659	2
	脳神経外科	0	0
	麻酔科	0	0
リハビリテーション科	0	0	
計	48,709	133	

病院名	診療科	患者数 (退院患者含む)	1日平均	
いづみ病院	小児科	総合小児科	4,466	12
		血液腫瘍科	5,083	14
		新生児科	14,510	40
		小児集中治療科	1,621	4
	小児外科	3,473	10	
	整形外科	1,610	4	
	形成外科	2,399	7	
	脳神経外科	890	2	
	循環器小児科	8,831	24	
	皮膚科	0	0	
	眼科	302	1	
	神経小児科	5,155	14	
	耳鼻咽喉科	0	0	
	産科	6,622	18	
	リハビリテーション科	301	1	
	泌尿器科	460	1	
	救急科	0	0	
	計	55,723	153	
	合計		252,095	691
	診療日数			365

注：母体附属児を含んだ患者数

※「1日平均」欄は、患者数を年間日数で除し、小数第一位を四捨五入。1人以下の時、無記載の場合あり。

(介護・循環器・消化器内科含む)



# 診療科別外来延患者数

(単位：人、日)

病院名	診療科	患者数	1日平均
信州医療センター	内科	37,164	152
	呼吸器・感染症内科	6,491	27
	脳神経内科	135	1
	循環器内科	5,521	23
	脳神経外科	982	4
	小児科	7,820	32
	外科	6,803	28
	整形外科	16,424	67
	形成外科	889	4
	皮膚科	2,618	11
	泌尿器科	2,527	10
	産婦人科	8,763	36
	眼科	9,476	39
	耳鼻咽喉科	6,859	28
	精神科	472	2
	放射線科	894	4
	麻酔科	2,702	11
	呼吸器外科	919	4
	救急科	3,342	37
	計	120,801	495
	結核	0	0
こころの医療センター駒ヶ根		40,051	165
阿南病院	内科	27,181	111
	小児科	5,319	22
	外科	1,664	7
	整形外科	5,266	22
	泌尿器科	775	3
	婦人科	570	2
	眼科	5,327	22
	精神科	1,565	6
計	47,667	195	
木曽病院	内科	50,847	208
	神経内科	4,402	18
	小児科	10,103	41
	外科	9,538	39
	整形外科	15,057	62
	皮膚科	4,113	17
	形成外科	464	2
	泌尿器科	5,488	22
	耳鼻咽喉科	2,556	10
	精神科	4,979	20
	産婦人科	4,501	18
	放射線科	304	1
	眼科	13,123	54
	脳神経外科	729	3
	麻酔科	647	3
リハビリテーション科	567	2	
計	127,418	522	

病院名	診療科	患者数	1日平均
いづも病院	総合小児科	6,070	25
	血液腫瘍科	1,776	7
	新生児科	1,821	7
	遺伝科	977	4
	小児外科	3,420	14
	麻酔科	308	1
	整形外科	4,025	16
	形成外科	4,622	19
	脳神経外科	1,900	8
	循環器小児科	7,440	30
	皮膚科	11	0
	眼科	4,259	17
	神経小児科	7,347	30
	耳鼻咽喉科	1,941	8
	精神科	750	3
	産科	3,528	14
	放射線科	1,523	6
	リハビリテーション科	8,853	36
	泌尿器科	2,621	11
	救急科	1,754	7
計	64,946	266	
合計	400,883	1,643	
診療日数	244		

※ 「1日平均」欄は、患者数を年間診療日数で除し、小数第一位を四捨五入。  
1人以下の時、無記載の場合あり。

※ こころの医療センター駒ヶ根は診療日数 243 日。

(介護・循環器・  
消化器内科含む)



#### ④ 老人医療の状況

##### ●診療科別入院延患者数（65歳以上）

(単位：人、%)

病院名	診療科	延患者数	65歳以上	割合
信州医療センター	内科	32,785	27,026	82.4%
	呼吸器・感染症内科	9,718	8,051	82.8%
	脳神経内科	0	0	0.0%
	循環器内科	5,930	5,031	84.8%
	脳神経外科	2	0	0.0%
	小児科	1,093	0	0.0%
	外科	6,172	3,941	63.9%
	整形外科	23,949	17,777	74.2%
	形成外科	6	1	16.7%
	皮膚科	0	0	0.0%
	泌尿器科	113	50	44.2%
	産婦人科	4,483	182	4.1%
	眼科	810	375	46.3%
	耳鼻咽喉科	724	225	31.1%
	精神科	0	0	0.0%
	放射線科	0	0	0.0%
	麻酔科	128	125	97.7%
	呼吸器外科	568	355	62.5%
	計	86,481	63,139	73.0%
	結核	4,395	3,607	82.1%
こころの医療センター駒ヶ根		37,515	6,871	18.3%
阿南病院	内科	16,216	15,227	93.9%
	小児科	30	0	0.0%
	外科	14	12	85.7%
	整形外科	2,609	2,379	91.2%
	泌尿器科	0	0	0.0%
	婦人科	0	0	0.0%
	眼科	403	364	90.3%
	精神科	0	0	0.0%
計	19,272	17,982	93.3%	
木曽病院	内科	20,624	19,464	94.4%
	神経内科	8,456	7,744	91.6%
	小児科	339	0	0.0%
	外科	7,160	6,226	87.0%
	整形外科	7,808	6,827	87.4%
	皮膚科	0	0	0.0%
	形成外科	0	0	0.0%
	泌尿器科	801	724	90.4%
	耳鼻咽喉科	0	0	0.0%
	精神科	0	0	0.0%
	産婦人科	2,862	275	9.6%
	放射線科	0	0	0.0%
	眼科	659	599	90.9%
	脳神経外科	0	0	0.0%
	麻酔科	0	0	0.0%
	リハビリテーション科	0	0	0.0%
	計	48,709	41,859	85.9%
合計	196,372	133,458	68.0%	

(介護・循環器・消化器内科含む)

※ 信州医療センターは70歳以上。



## 老人医療の状況

### ●診療科別外来延患者数（65歳以上）

（単位：人、％）

病院名	診療科	延患者数	65歳以上	割合
信州医療センター	内科	37,164	16,024	43.1%
	呼吸器・感染症内科	6,491	3,494	53.8%
	脳神経内科	135	104	77.0%
	循環器内科	5,521	3,889	70.4%
	脳神経外科	982	538	54.8%
	小児科	7,820	0	0.0%
	外科	6,803	3,491	51.3%
	整形外科	16,424	8,230	50.1%
	形成外科	889	349	39.3%
	皮膚科	2,618	1,248	47.7%
	泌尿器科	2,527	1,711	67.7%
	産婦人科	8,763	1,267	14.5%
	眼科	9,476	6,165	65.1%
	耳鼻咽喉科	6,859	3,067	44.7%
	精神科	472	292	61.9%
	放射線科	894	473	52.9%
	麻酔科	2,702	1,590	58.8%
	呼吸器外科	919	608	66.2%
	救急科	3,342	679	20.3%
		計	120,801	53,219
	結核	0	0	0.0%
こころの医療センター駒ヶ根		40,051	7,227	18.0%
阿南病院	内科	27,181	22,198	78.8%
	小児科	5,319	-	0.0%
	外科	1,664	938	56.4%
	整形外科	5,266	3,927	75.1%
	泌尿器科	775	690	89.0%
	婦人科	570	164	28.8%
	眼科	5,327	4,566	85.7%
	精神科	1,565	919	58.7%
	計	47,667	33,402	68.7%
木曽病院	内科	50,847	36,525	71.8%
	神経内科	4,402	3,503	79.6%
	小児科	10,103	-	0.0%
	外科	9,538	6,632	69.5%
	整形外科	15,057	10,015	66.5%
	皮膚科	4,113	2,113	51.4%
	形成外科	464	295	63.6%
	泌尿器科	5,488	4,722	86.0%
	耳鼻咽喉科	2,556	1,384	54.1%
	精神科	4,979	2,089	42.0%
	産婦人科	4,501	1,188	26.4%
	放射線科	304	188	61.8%
	眼科	13,123	9,850	75.1%
	脳神経外科	729	531	72.8%
	麻酔科	647	446	68.9%
	リハビリテーション科	567	294	51.9%
	計	127,418	79,775	62.6%
合計		336,897	173,623	51.5%

（介護・循環器・消化器内科含む）

※信州医療センターは70歳以上

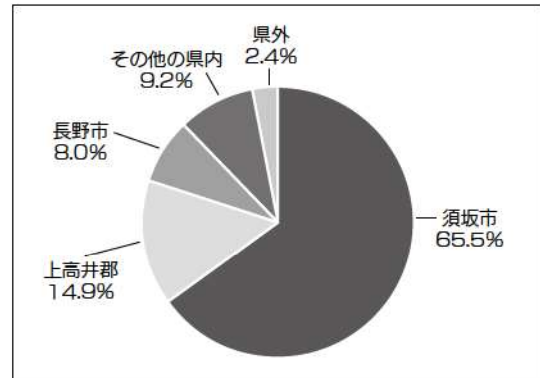
## ⑤ 診療圏の状況

### ●信州医療センター

地域別退院実患者数

(単位：人)

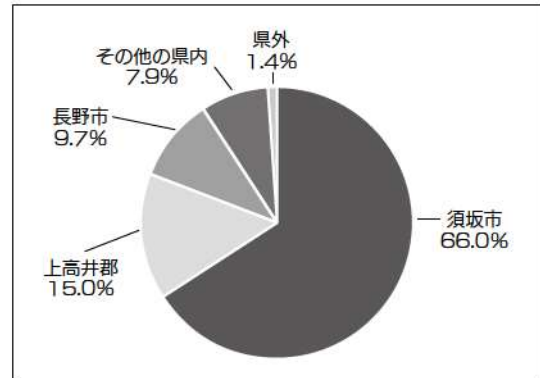
地域		患者数	構成比 (%)	
県内	須坂市	3,212	65.5	
	須高地区	上高井郡	730	14.9
		小計	3,942	80.4
	長野市	392	8.0	
	その他	449	9.2	
計		4,783	97.6	
県外		123	2.4	
合計		4,906	100.0	



地域別外来延患者数

(単位：人)

地域		患者数	構成比 (%)	
県内	須坂市	79,798	66.0	
	須高地区	上高井郡	18,083	15.0
		小計	97,881	81.0
	長野市	11,688	9.7	
	その他	9,577	7.9	
計		119,146	98.6	
県外		1,655	1.4	
合計		120,801	100.0	

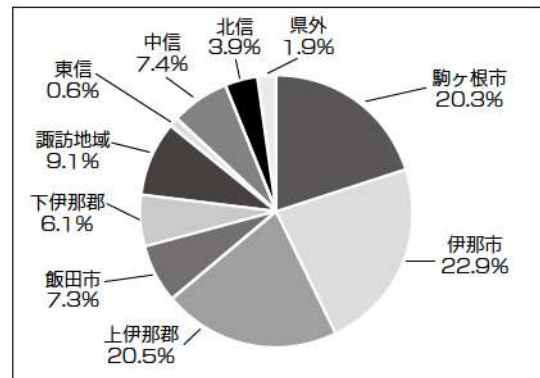


### ●こころの医療センター駒ヶ根

地域別退院実患者数

(単位：人)

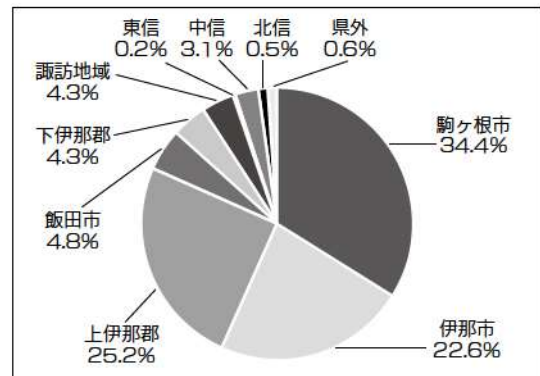
地域		患者数	構成比 (%)
南信	駒ヶ根市	109	20.3
	伊那市	123	22.9
	上伊那郡	110	20.5
	飯田市	39	7.3
	下伊那郡	33	6.1
	諏訪地域	49	9.1
東信		3	0.6
中 信		40	7.4
北 信		21	3.9
県外		10	1.9
合計		537	100.0



地域別外来延患者数

(単位：人)

地域		患者数	構成比 (%)
南信	駒ヶ根市	13,809	34.4
	伊那市	9,060	22.6
	上伊那郡	10,126	25.2
	飯田市	1,918	4.8
	下伊那郡	1,713	4.3
	諏訪地域	1,744	4.3
東 信		80	0.2
中 信		1,228	3.1
北 信		218	0.5
県外		251	0.6
合計		40,147	100.0



※外来患者延数と地域別外来患者数の抽出方法が異なる。

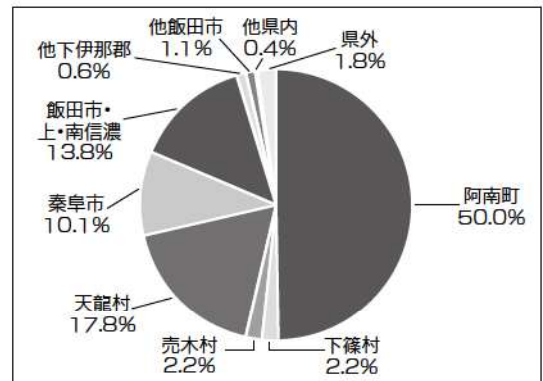


●阿南病院

地域別退院実患者数

(単位：人)

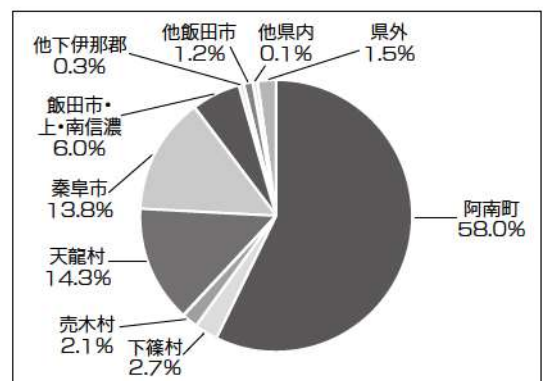
地域		患者数	構成比(%)
下伊那南部	阿南町	490	50.0
	下條村	22	2.2
	売木村	22	2.2
	天龍村	174	17.8
	泰阜村	99	10.1
	飯田市・上・南信濃	135	13.8
他下伊那郡	6	0.6	
他飯田市	11	1.1	
他県内	4	0.4	
県外	17	1.8	
合計		980	100.0



地域別外来延患者数

(単位：人)

地域		患者数	構成比(%)
下伊那南部	阿南町	24,146	58.0
	下條村	1,145	2.7
	売木村	869	2.1
	天龍村	5,950	14.3
	泰阜村	5,732	13.8
	飯田市・上・南信濃	2,521	6.0
他下伊那郡	122	0.3	
他飯田市	516	1.2	
他県内	50	0.1	
県外	627	1.5	
合計		41,678	100.0



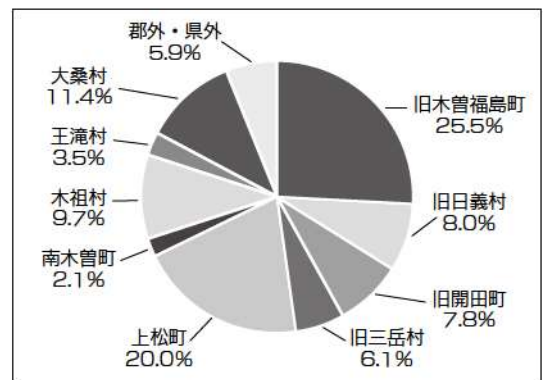
※公衆衛生を含まない。

●木曾病院

地域別退院実患者数

(単位：人)

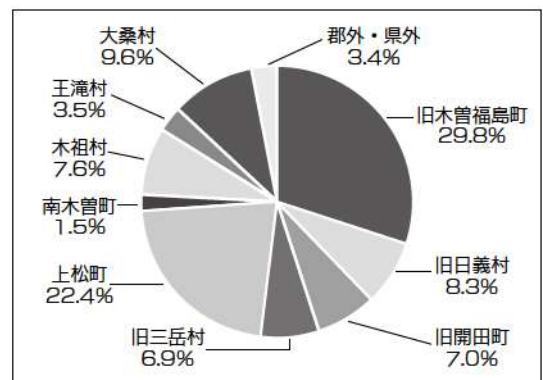
地域／年度		患者数	構成比(%)
木曾町	旧木曾福島町	653	25.5
	旧日義村	204	8.0
	旧開田村	199	7.8
	旧三岳村	155	6.1
上松町	512	20.0	
南木曾町	54	2.1	
木祖村	247	9.7	
王滝村	89	3.5	
大桑村	292	11.4	
郡外・県外	151	5.9	
合計		2,556	100.0



地域別外来延患者数

(単位：人)

地域／年度		患者数	構成比(%)
木曾町	旧木曾福島町	37,888	29.8
	旧日義村	10,583	8.3
	旧開田村	8,915	7.0
	旧三岳村	8,838	6.9
上松町	28,528	22.4	
南木曾町	1,938	1.5	
木祖村	9,716	7.6	
王滝村	4,468	3.5	
大桑村	12,226	9.6	
郡外・県外	4,318	3.4	
合計		127,418	100.0



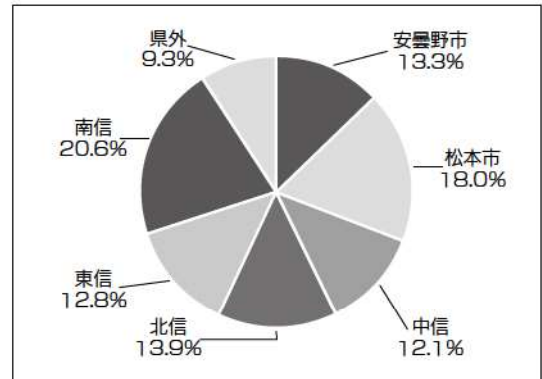
※外来患者延数と地域別外来患者数の抽出方法が異なる。

## ●こども病院

地域別退院実患者数

(単位：人)

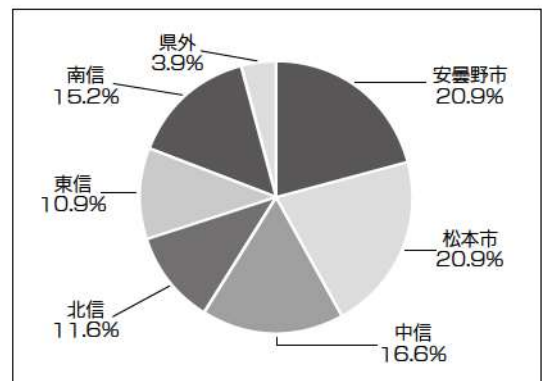
地域／年度	患者数	構成比 (%)
安曇野市	330	13.3
松本市	447	18.0
中 信	301	12.1
北 信	345	13.9
東 信	319	12.8
南 信	512	20.6
県 外	232	9.3
合 計	2,486	100.0



地域別外来延患者数

(単位：人)

地域／年度	患者数	構成比 (%)
安曇野市	13,572	20.9
松本市	13,605	20.9
中 信	10,793	16.6
北 信	7,499	11.6
東 信	7,078	10.9
南 信	9,846	15.2
県 外	2,553	3.9
合 計	64,946	100.0



※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、必ずしも合計が100とはならない

## ⑥ 救急及び緊急診療の状況

### ●時間外診療科別延べ件数

(単位：人)

病院名	診療科	患者数
信州医療センター	内科	5,156
	呼吸器・感染症内科	429
	脳神経内科	5
	循環器内科	69
	脳神経外科	161
	小児科	1,558
	外科	632
	整形外科	1,576
	形成外科	318
	皮膚科	389
	泌尿器科	126
	産婦人科	214
	眼科	107
	耳鼻咽喉科	169
	精神科	6
	放射線科	1
	麻酔科	2
	呼吸器外科	8
	救急科	1,035
	計	11,961
結核	0	
こころの医療センター駒ヶ根		250
阿南病院	内科	958
	小児科	390
	外科	144
	整形外科	98
	泌尿器科	2
	婦人科	0
	眼科	4
精神科	11	
計	1,607	
木曽病院	内科	1,932
	神経内科	186
	小児科	831
	外科	603
	整形外科	615
	皮膚科	188
	形成外科	2
	泌尿器科	111
	耳鼻咽喉科	64
	精神科	5
	産婦人科	101
	放射線科	0
	眼科	55
	脳神経外科	56
	麻酔科	0
	リハビリテーション科	0
計	4,749	

病院名	診療科	患者数
こども病院	総合小児科	134
	血液腫瘍科	156
	新生児科	292
	小児集中治療科	160
	小児外科	110
	整形外科	116
	形成外科	108
	脳神経外科	54
	循環器小児科	187
	皮膚科	3
	眼科	62
	神経小児科	118
	耳鼻咽喉科	113
	産科	523
	泌尿器科	21
	救急科	1,695
	リハビリテーション科	29
	麻酔科	3
	遺伝科	4
	精神科	13
計	3,901	
合計	22,468	

### ●救急車受入台数

病院名	区分	救急車受入台数	ドクターヘリ受入台数	ドクターカー出動回数
信州医療センター		1,902	-	-
こころの医療センター駒ヶ根		12	-	-
阿南病院		337	0	-
木曽病院		1,040	5	0
こども病院		370	28	※ 379

※ドクターカー 267 (迎え、送り、三角搬送)

コンパクトドクターカー 112 (迎え、送り、三角搬送)

## 2 病床利用等の状況

### ① 病床利用率

病院名	運用病床数 (床)	平均在院日数 (日)	病床利用率 (%)
信州医療センター	226	15.4	78.9
	215	16.5	85.9
こころの医療センター駒ヶ根	129	69.3	78.5
阿南病院	85	20.4	58.5
	77		66.6
木曽病院	175	14.9	78.1
こども病院	180	14.1	78.0

信州医療センター: 上段 H30.4~11月  
 : 下段 H30.12~H31.3月  
 阿南病院 : 上段 H30.4~12月  
 : 下段 H31.1~.3月

※病床数は一般病床

平均在院日数=在院患者延日数÷{(新入院患者+新退院患者数)÷2}

病床利用率=年間延入院患者数÷年間延病床数×100

## 3 訪問医療の状況

病院名	訪問診療	訪問看護	訪問リハビリ	訪問薬剤指導	訪問栄養指導
信州医療センター	283	4,359	2,946	2	0
こころの医療センター駒ヶ根	-	1,681	-	-	-
阿南病院	197	1,037	968	91	0
木曽病院	548	3,706	664	0	0





## 診療の状況

---



# 1 治療の状況

## ① 診療科別の手術件数

(単位：件)

病院名	診療科	件数
信州医療センター	内科	1
	呼吸器・感染症内科	1
	脳神経内科	0
	循環器内科	0
	脳神経外科	0
	小児科	0
	外科	296
	整形外科	681
	形成外科	5
	皮膚科	0
	泌尿器科	26
	産婦人科	135
	眼科	419
	耳鼻咽喉科	18
	精神科	0
	放射線科	0
	麻酔科	0
	呼吸器外科	31
	計	1,613
	結核	0
こころの医療センター駒ヶ根	-	
阿南病院	内科	1
	小児科	0
	外科	1
	整形外科	35
	泌尿器科	0
	婦人科	0
	眼科	98
	精神科	0
計	135	

病院名	診療科	件数	
木曽病院	内科	0	
	神経内科	0	
	小児科	0	
	外科	192	
	整形外科	261	
	皮膚科	0	
	形成外科	0	
	泌尿器科	44	
	耳鼻咽喉科	0	
	精神科	0	
	産婦人科	50	
	放射線科	0	
	眼科	274	
	脳神経外科	0	
	麻酔科	0	
	リハビリテーション科	0	
	計	821	
	こども病院	小児科	総合小児科 4
			血液腫瘍科 42
			新生児科 0
		小児集中治療科 3	
小児外科		387	
整形外科		86	
形成外科		382	
心臓血管外科		138	
脳神経外科		61	
循環器小児科		310	
皮膚科		0	
眼科		70	
神経小児科		2	
耳鼻咽喉科	10		
産科	122		
泌尿器科	102		
救急科	-		
計	1,719		
合計	4,288		

## ② 分娩件数

(単位：件)

病院名	件数
信州医療センター	186
こころの医療センター駒ヶ根	-
阿南病院	0
木曽病院	105
こども病院	295

妊娠 22 週以降

### ③ 調剤の状況

(単位：件、%)

病院名 区分	信州医療センター			こころの医療センター駒ヶ根		
	入院	外来	計	入院	外来	計
処方箋枚数	25,086	61,897	86,983	11,409	24,148	35,557
院内製剤件数	1,524			0		
注射薬個人払出数	40,598			2,375		
無菌調剤件数	TPN 624			-		
	抗がん剤 1,602			-		
薬剤管理指導料算定件数 (服薬指導件数)	入院	訪問		入院	訪問	
	10,631	0		1,190	26	
ジェネリック使用率	91.0%			85.1%		
院外処方箋率	93.5%			96.1%		

(単位：件、%)

病院名 区分	阿南病院			木曽病院		
	入院	外来	計	入院	外来	計
処方箋枚数	5,359	32,148	37,507	11,878	80,583	92,461
院内製剤件数	244			347		
注射薬個人払出数	38,468			48,893		
無菌調剤件数	TPN -			109		
	抗がん剤 3			877		
薬剤管理指導料算定件数 (服薬指導件数)	入院	訪問		入院	訪問	
	796	98		2,059	0	
ジェネリック使用率	86.2%			82.4%		
院外処方箋率	81.4%			83.6%		

(単位：件、%)

病院名 区分	こども病院		
	入院	外来	計
処方箋枚数	19,776	19,419	39,195
院内製剤件数	3,425		
注射薬個人払出数	57,703		
無菌調剤件数	TPN 3,624		
	抗がん剤 1,444		
薬剤管理指導料算定件数 (服薬指導件数)	入院	訪問	
	1,846	0	
ジェネリック使用率	86.1%		
院外処方箋率	93.5%		



#### ④ 放射線の利用状況

●画像診断

(単位：人、件)

項目		信州医療センター	こころの医療センター 胸ヶ根	阿南病院	木曽病院	こども病院	合計	
撮影部門	撮影人数	28,907	501	5,033	15,614	20,804	70,859	
	頭部	1,237	3	22	73	429	1,764	
	胸部	15,593	457	3,081	8,006	15,672	42,809	
	腹部	2,691	56	321	1,887	2,239	7,194	
	脊椎・四肢・骨盤・その他	14,778	29	3,370	10,588	3,852	32,617	
	ポータブル撮影(再掲)	病室	1,659	25	287	765	9,770	12,506
		手術室	947	0	2	495	543	1,987
	乳房撮影(マンモグラフィー)	撮影人数	857	-	279	379	0	1,515
		件数	1,709	-	564	1,395	0	3,668
	骨塩定量	撮影人数	646	-	111	562	0	1,319
		件数	1,037	-	333	1,057	0	2,427
透視・造影撮影部門	撮影人数	1,388	-	81	1,505	479	3,453	
	消化管系	311	-	18	1,104	158	1,591	
	胆のう・膵臓系	116	-	0	64	5	185	
	尿路系	1	-	0	42	218	261	
	脊髄腔系	50	-	0	58	0	108	
	関節腔系	0	-	0	2	11	13	
	その他	61	-	1	11	121	194	
	造影を伴わない透視及び撮影	301	-	39	77	57	474	
	外科用イメージ	552	-	23	167	215	957	
	血管撮影	頭頸部血管	0	-	0	0	3	3
		心臓血管	132	-	0	0	356	488
腹部血管		0	-	0	0	1	1	
その他血管		32	-	0	101	520	653	
治療行為		69	-	0	64	101	234	

(単位：人、件)

項目		信州医療センター	こころの医療センター 胸ヶ根	阿南病院	木曽病院	こども病院	合計
C T	撮影人数	8,719	338	2,119	6,897	887	18,960
	頭頸部	2,121	297	435	2,594	340	5,787
	胸部	4,617	19	779	3,222	294	8,931
	腹部	4,998	39	738	3,432	152	9,359
	脊椎・四肢	855	3	218	666	87	1,829
	心臓	360	0	0	68	161	589
	画像処理	2,033	0	1,256	797	421	4,507
M R I	撮影人数	2,131	-	484	915	1,609	5,139
	頭頸部	926	-	357	57	1,372	2,712
	胸部	8	-	0	387	21	416
	腹部	422	-	19	387	166	994
	脊椎・四肢	923	-	115	643	363	2,044
	心臓	0	-	0	0	150	150
	画像処理	1,556	-	312	1,520	232	3,620
R I	撮影人数	87	-	0	49	126	262
	ガンマカメラ	60	-	-	9	157	226
	全身スキャン	29	-	-	22	24	75
	SPECT	67	-	-	48	88	203
	負荷検査(再掲)	55	-	-	1	33	89
治 療	治療人数	0	-	-	374	142	516
	一般照射	0	-	-	1,163	1,906	3,069
	全身照射	0	-	-	0	0	0
	術中照射	0	-	-	0	0	0
	治療計画	0	-	-	24	99	123
血液照射	0	-	-	0	0	0	
画像取込み及びコピー	3,607	76	429	1,179	2,418	7,709	

※件数は1部位を1件とし、透視診断は1回を1件、写真を持参し診断のみを依頼された場合は写真枚数にかかわらず診断1回を1件とする。



## ⑤ 検査の状況

(単位：件)

病院名		信州医療センター		こころの医療センター 駒ヶ根		阿南病院	
		院内	ドック・受託他	院内	ドック・受託他	院内	ドック・受託他
検体検査	生化学検査Ⅰ	493,436	78,668	33,789	0	121,225	22,368
	生化学検査Ⅱ	18,449	843	1,405	0	4,412	1,230
	薬物検査	129	0	870	0	354	56
	微生物学的検査(一般)	13,594	65	0	0	3,060	24
	微生物学的検査(特殊)	2,243	144	0	0	246	0
	免疫学的検査	43,733	15,477	1,602	56	7,324	1,221
	輸血検査	3,513	0	0	0	174	0
	血液学的検査	89,790	8,254	4,306	0	15,241	3,131
	一般検査	19,133	13,435	301	0	6,125	2,219
	遺伝子検査	43	58	0	0	0	0
	血液ガス	923	0	0	0	279	0
	採血業務	20,801	0	0	0	13,270	1,020
	その他	0	46	0	0	0	0
	病理細胞診	病理組織検査	5,264	0	0	0	353
細胞診検査		4,249	1,804	0	0	226	426
剖検		18	0	0	0	0	0
生理検査	心電図	6,277	3,792	530	0	1,414	907
	負荷心電図	13	0	0	0	10	0
	ホルター心電図	135	0	0	0	94	0
	トレッドミル検査	8	0	0	0	0	0
	脳波	50	0	0	0	0	0
	賦活脳波	45	0	23	0	0	0
	心臓超音波	1,464	0	44	0	409	0
	その他の超音波	3,943	3,006	19	0	794	1,135
	呼吸機能検査	1,538	4,470	28	0	169	225
	誘発電位	910	0	0	0	20	0
	眼底カメラ	0	0	0	0	0	249
	脈波	0	0	0	0	0	0
	聴力	3,207	3,792	0	0	25	852
	その他	641	513	0	0	41	47
院内実施計		867,916		42,973		210,378	
委託・外注計		10,541		689		1,782	
総合計		878,457		43,662		212,160	

新生児マススクリーニング検査

(単位：件)

病院名		木曽病院		こども病院	
		院内	ドック・受託他	院内	ドック・受託他
検体検査	生化学検査Ⅰ	484,675	18,253	332,452	-
	生化学検査Ⅱ	16,936	939	10,169	-
	薬物検査	185	0	2,430	-
	微生物学的検査(一般)	4,322	51	9,706	-
	微生物学的検査(特殊)	282	0	4	-
	免疫学的検査	26,895	4,430	35,313	-
	輸血検査	789	0	4,756	-
	血液学的検査	67,961	3,190	86,193	-
	一般検査	18,297	3,247	16,176	-
	遺伝子検査	0	0	416	-
	血液ガス	497	0	29,180	-
	採血業務	23,902	1,363	7,094	-
	その他	0	0	0	-
	病理細胞診	病理組織検査	2,497	62	900
細胞診検査		2,068	667	84	-
剖検		0	1	270	-
生理検査	心電図	3,676	1,363	5,641	-
	負荷心電図	54	12	0	-
	ホルター心電図	278	0	926	-
	トレッドミル検査	1	0	113	-
	脳波	12	0	43	-
	賦活脳波	19	0	566	-
	心臓超音波	1,104	0	8,180	-
	その他の超音波	1,046	711	14,578	-
	呼吸機能検査	821	942	339	-
	誘発電位	168	0	341	-
	眼底カメラ	0	0	0	-
	脈波	0	0	0	-
	聴力	831	1,484	1,788	-
	その他	192	81	149	-
院内実施計		694,304		567,807	
委託・外注計		5,956		8,837	
総合計		700,260		576,644	

新生児マススクリーニング検査				16,199
----------------	--	--	--	--------



## ⑥ 人工透析患者の状況

(単位：件)

病院名	区分	延件数	1日平均件数
信州医療センター	入院	257	0.8
	外来	5,996	19.2
阿南病院	入院	121	0.3
	外来	2,188	7.0
木曽病院	入院	398	1.3
	外来	10,604	34.0

透析は日曜のみ休み(312日)

## ⑦ 診療科別内視鏡の状況(検査のみ)

(単位：件)

病院名	診療科	検査件数	
		入院	外来
信州医療センター	内科	620	2,477
	呼吸器・感染症内科	45	27
	脳神経内科	0	0
	循環器内科	19	13
	脳神経外科	0	0
	小児科	3	0
	外科	74	189
	整形外科	3	0
	形成外科	0	0
	皮膚科	0	0
	泌尿器科	1	1
	産婦人科	1	5
	眼科	0	0
	耳鼻咽喉科	0	2
	精神科	0	0
	放射線科	0	0
	麻酔科	0	0
	呼吸器外科	3	12
	救急科		23
	ドック		3,495
計	769	6,244	
結核	0	0	
こころの医療センター駒ヶ根		-	-
阿南病院	内科	76	300
	小児科	0	2
	外科	0	9
	整形外科	4	0
	泌尿器科	0	0
	婦人科	0	0
	眼科	0	0
	精神科	0	0
	ドック		441
	計	80	752

※治療・処置含む

病院名	診療科	検査件数			
		入院	外来		
木曽病院	内科	97	1,929		
	神経内科	0	0		
	小児科	0	0		
	外科	18	253		
	整形外科	3	0		
	皮膚科	0	0		
	形成外科	0	0		
	泌尿器科	6	221		
	耳鼻咽喉科	5	446		
	精神科	0	0		
	産婦人科	0	29		
	放射線科	0	0		
	眼科	0	0		
	脳神経外科	0	0		
	麻酔科	0	0		
	リハビリテーション科	0	0		
	ドック	0	1,036		
	計	129	3,914		
	こども病院	小児科	総合小児科	8	1
			血液腫瘍科	2	0
新生児科			5	0	
小児集中治療科			98	0	
小児外科		80	68		
整形外科		0	0		
形成外科		0	6		
脳神経外科		0	0		
循環器小児科		23	0		
皮膚科		0	0		
眼科		0	0		
神経小児科		3	0		
耳鼻咽喉科		168	515		
産科	0	0			
リハビリテーション科	0	2			
泌尿器科	0	0			
救急科	0	1			
計	387	593			
合計	1,365	11,503			



## ⑧ 公衆衛生活動の状況

(単位：件)

項目	信州医療センター	こころの医療センター駒ヶ根	阿南病院	木曽病院	こども病院	計
人間ドック	1泊2日	-	0	4	0	4
	日帰り	2,767	477	455	0	3,699
妊婦検診	2,915	-	0	1,669	3,290	7,874
健康診断	1,880	0	1,291	642	0	3,813
ガン検診	2,012	-	985	290	0	3,287
予防接種	3,127	60	3,150	4,069	433	10,839
その他健診	0	-	83	895	0	978
計	12,701	60	5,986	8,024	3,723	30,494

## ⑨ 医療社会事業相談の状況

(単位：件)

項目	信州医療センター	こころの医療センター駒ヶ根	阿南病院	木曽病院	こども病院	計
経済問題	2	406	12	382	885	1,687
家庭問題	0	106	3	123	23	255
心理的問題	0	134	2	363	17	516
療養問題	1,789	8,527	1,364	1,461	296	13,437
社会問題	0	397	0	11	183	591
社会福祉制度	245	840	171	1,319	592	3,167
交通事故	0	143	0	3	0	146
その他	218	808	0	541	719	2,286
計	2,254	11,361	1,552	4,203	2,715	22,085

## ⑩ 理学・言語・作業・精神科専門療法の状況

### ● 理学・言語・作業療法件数

(単位：件)

項目	信州医療センター	阿南病院	木曽病院	こども病院	計	
脳血管疾患等リハビリテーション	I	2,642	0	11,202	24,976	38,820
	II	0	2,601	0	0	2,601
廃用症候群リハビリテーション	I	9,921	0	10,840	0	20,761
	II	0	11,762	0	0	12,150
運動器リハビリテーション	I	24,635	3,742	10,569	1,035	39,983
	II	0	0	0	0	0
呼吸器リハビリテーション	I	8,167	333	1,899	1,415	11,814
	II	0	0	0	0	0
心臓リハビリテーション	I	2,884	0	0	0	2,884
	II	0	0	0	0	0
障害児リハビリテーション	I	0	0	0	22	22
	II	0	0	0	0	0
がん患者リハビリテーション		2,703	0	38	18	2,759
訪問リハビリテーション		2,946	968	544	0	4,458
摂食機能療法		3,595	5,034	4,330	492	13,451
消炎鎮痛等処置		0	236	0	0	236
直達牽引・介達牽引		0	7	63	0	70
計		57,493	24,683	39,485	27,958	150,009



●精神科専門療法件数

(単位：件)

項目	こころの医療センター駒ヶ根	阿南病院	計
精神療法	29,600	976	30,576
精神科作業療法	10,772	0	10,772
その他の精神科専門療法	597	0	597
精神科デイケア	9,762	0	9,762
精神科訪問看護	1,681	128	1,809
計	52,412	1,104	53,516

① 心理及び言語検査の状況

(単位：件)

項目	こころの医療センター駒ヶ根	こども病院	計
発達及び知能検査	235	635	870
人格検査	648	60	708
その他検査	645	22	667
標準純音聴力検査	0	238	238
遊戯聴力検査	0	789	789
その他の聴力検査	0	761	761
計	1,528	2,505	4,033

② 栄養管理の状況

●食数

(単位：食)

項目	信州医療センター	こころの医療センター駒ヶ根	阿南病院	木曽病院	こども病院	計
一般食	137,168	91,158	33,883	85,317	132,217	479,743
特別食	84,980	13,871	17,508	30,393	14,340	161,092
その他	0	7,046	209	2,590	0	9,845
計	222,148	112,075	51,600	118,300	146,557	650,680

※木曽病院：その他 糖尿病教室食事会参加者、検査

※こども病院：調乳（経管栄養割合含む）

●栄養食事指導件数

(単位：件)

区分		信州医療センター	こころの医療センター駒ヶ根	阿南病院	木曽病院	こども病院	計
入院	指導料請求	個別指導件数	551	67	21	123	292
		集団指導 件数	0	12	0	0	0
		集団指導 延人数	0	59	0	0	0
	その他	個別指導件数	146	0	12	25	769
		集団指導 件数	0	16	0	54	72
		集団指導 延人数	0	143	0	99	486
外来	指導料請求	個別指導件数	648	3	47	235	251
		集団指導 件数	0	0	0	6	0
		集団指導 延人数	0	0	0	35	0
	その他	個別指導件数	166	5	201	61	83
		集団指導 件数	4	50	11	88	13
		集団指導 延人数	42	210	46	417	58

# 職員の状況

---



# 1 職種別職員構成

(単位：人)

区 分	22年4月1日 (機構発足時)		31年3月31日				(参考) 31年4月1日			
	職員数 a		職員数 b		対発足時増減 b-a		職員数 c		対発足時増減 c-a	
					職員数	うち 県派遣			職員数	うち 県派遣
	うち 県派遣	うち 県派遣	職員数	うち 県派遣						
医師	160	14	165	11	5	△3	171	10	11	△4
看護師	710	0	825	0	115	0	835	0	125	0
薬剤師	33	22	43	2	10	△20	45	2	12	△20
診療放射線技師	29	0	30	0	1	0	30	0	1	0
臨床検査技師	36	9	40	0	4	△9	42	0	6	△9
管理栄養士	14	11	15	0	1	△11	15	0	1	△11
作業療法士	9	1	20	0	11	△1	21	0	12	△1
理学療法士	20	6	46	0	26	△6	46	0	26	△6
臨床工学技士	11	0	18	0	7	0	18	0	7	0
言語聴覚士	5	1	8	0	3	△1	7	0	2	△1
視能訓練士	4	0	5	0	1	0	5	0	1	0
保健師	1	0	2	0	1	0	1	0	0	0
臨床心理技師	4	4	10	0	6	△4	10	0	6	△4
歯科衛生士	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0
介護支援専門員	1	0	0	0	△1	0	0	0	△1	0
介護福祉員	25	9	27	0	2	△9	30	0	5	△9
精神保健福祉士	4	2	9	0	5	△2	9	0	5	△2
福祉相談員	8	7	11	1	3	△6	12	1	4	△6
事務(技術)職員	77	63	119	21	42	△42	122	20	45	△43
計	1,151	149	1,394	35	243	△114	1,420	33	269	△116

※有期雇用職員(再雇用職員、特定期限付職員、期間限定雇用職員(産育休職員の代替として雇用されている職員は除く)、有期常勤職員(研修医のみ))を含む。

# 経理の状況

---



# 1 収益・費用の構成

## ●信州医療センター

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
<b>収 益</b>								
入院収益	3,364,122	3,420,949	3,488,238	3,295,144	3,733,327	3,609,602	3,693,806	3,797,262
外来診療収益	1,333,439	1,383,751	1,355,235	1,316,063	1,391,209	1,392,586	1,514,501	1,575,435
室料差額収益	17,333	17,615	12,953	12,538	13,634	11,105	13,759	13,663
公衆衛生活動収益	143,889	154,337	170,152	175,420	182,464	180,705	185,054	210,690
その他医業収益	44,270	43,373	48,743	45,270	44,570	41,389	42,796	42,754
保険等査定減	▲3,307	▲5,572	▲2,621	▲5,580	▲5,965	▲5,366	▲5,721	▲6,397
医業収益合計 A	4,899,746	5,014,453	5,072,699	4,838,855	5,359,239	5,230,021	5,444,197	5,633,408
医業その他営業収益	919,928	909,427	999,165	1,008,551	1,035,085	1,045,635	947,062	979,980
(うち)運営費負担金	905,475	893,484	980,115	986,493	1,012,895	1,026,444	928,691	956,440
営業収益合計 B	5,819,675	5,923,880	6,071,864	5,847,406	6,394,324	6,275,656	6,391,259	6,613,387
営業外収益 C	228,204	233,593	207,112	206,715	199,442	189,900	177,367	197,319
(うち)運営費負担金(利息分)	173,602	164,871	156,365	147,873	139,976	131,751	124,270	116,870
経常収益合計 D=B+C	6,047,878	6,157,473	6,278,977	6,054,121	6,593,766	6,465,556	6,568,626	6,810,706
<b>費 用</b>								
給与費	3,210,779	3,096,735	3,110,234	3,167,412	3,412,757	3,475,630	3,546,220	3,579,601
(うち)給料	1,224,302	1,174,806	1,221,719	1,256,049	1,314,296	1,330,007	1,379,803	1,357,639
(うち)手当	758,002	691,236	707,553	648,307	717,011	713,473	693,083	714,574
(うち)賞与	310,895	287,174	304,245	330,239	350,937	366,392	389,017	394,836
(うち)賞与引当金繰入額	160,053	149,539	153,356	167,657	176,382	194,105	198,257	196,174
(うち)報酬	210,785	239,815	221,091	239,638	257,885	224,697	243,025	231,714
(うち)賃金	69,887	69,753	64,458	51,362	50,647	62,952	65,113	67,341
(うち)退職給付引当金繰入額	137,553	151,131	76,058	98,470	126,992	131,580	123,003	162,507
(うち)法定福利費	339,301	333,282	361,754	375,689	418,606	452,423	454,921	454,816
材料費	1,192,479	1,233,878	1,278,438	1,148,765	1,274,843	1,282,407	1,367,263	1,431,847
(うち)薬品費	585,988	672,049	702,750	621,756	676,560	646,955	695,804	781,325
(うち)診療材料費	546,843	501,715	511,859	474,030	534,067	574,934	607,475	588,076
(うち)給食材料費	51,467	49,609	51,033	50,190	60,206	56,814	60,827	59,413
減価償却費	749,936	724,337	673,937	670,289	668,541	589,327	579,761	440,203
資産減耗費	0	0	10	0	323	167	163	0
経 費	844,648	767,881	833,586	864,824	821,146	799,083	859,952	904,172
(うち)光熱水費	68,599	71,361	74,137	81,751	75,592	67,782	82,390	87,817
(うち)修繕費	71,640	39,997	38,801	51,596	32,168	32,199	50,204	66,569
(うち)賃借料	80,704	88,792	92,340	93,374	98,343	93,533	93,524	95,094
(うち)委託料	391,659	394,575	424,435	450,484	462,433	466,634	470,872	493,182
(うち)貸倒引当金	11,233	1,442	622	2,786	4,933	354	0	0
研究研修費	18,499	14,229	23,614	15,217	13,473	13,298	15,737	18,539
雑支出	0	1,563	0	0	0	0	0	0
医業費用合計 E	6,016,340	5,838,624	5,919,819	5,866,507	6,191,083	6,159,912	6,369,096	6,374,362
医業事業損益 A-E	▲1,116,593	▲824,170	▲847,120	▲1,027,652	▲831,844	▲929,891	▲924,899	▲740,954
医業営業外費用	276,144	278,159	272,583	319,173	311,312	298,496	301,891	304,004
(うち)企業債支払利息	173,479	166,610	158,240	149,489	140,693	132,029	124,981	118,191
(うち)雑支出	95,666	101,612	101,775	157,000	159,162	158,105	168,804	178,498
経常費用合計 F	6,292,484	6,116,783	6,192,402	6,185,680	6,502,396	6,458,408	6,670,987	6,678,365
経常損益 G=D-F	▲244,606	40,690	86,574	▲131,559	91,371	7,148	▲102,361	132,341
臨時損益 H	0	-585	0	0	0	0	-6,958	1,793
純損益 G+H	▲244,606	40,105	86,574	▲131,559	91,371	7,148	▲109,319	134,134

●こころの医療センター駒ヶ根

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
<b>収 益</b>								
入院収益	802,175	841,306	849,738	944,613	1,004,767	977,127	1,026,447	1,016,383
外来診療収益	394,653	419,372	449,164	466,503	270,680	256,171	269,792	270,213
室料差額収益	1,164	410	1,455	1,466	2,107	2,023	3,816	4,304
公衆衛生活動収益	159	137	169	142	230	243	232	234
その他医業収益	14,868	5,949	8,503	8,380	9,682	9,633	9,820	10,079
保険等査定減	▲219	▲339	▲273	▲348	▲294	▲374	▲195	▲280
医業収益合計 A	1,212,800	1,266,835	1,308,755	1,420,757	1,287,171	1,244,823	1,309,912	1,300,933
医業その他営業収益	516,778	515,232	528,551	566,947	634,291	636,387	638,795	638,739
(うち)運営費負担金	436,198	445,639	467,602	503,418	576,968	581,609	584,708	584,816
営業収益合計 B	1,729,578	1,782,067	1,837,307	1,987,704	1,921,461	1,881,209	1,948,707	1,939,672
営業外収益 C	49,305	57,206	56,960	56,664	58,411	52,825	52,005	47,664
(うち)運営費負担金(利息分)	40,675	47,024	46,864	46,431	45,151	43,555	41,438	39,227
経常収益合計 D=B+C	1,778,883	1,839,273	1,894,266	2,044,368	1,979,873	1,934,035	2,000,712	1,987,337
<b>費 用</b>								
給与費	1,179,068	1,212,799	1,213,490	1,284,123	1,334,148	1,374,815	1,365,825	1,388,547
(うち)給料	519,812	537,004	550,705	575,955	581,250	593,023	591,545	593,802
(うち)手当	196,541	203,431	208,304	210,184	226,203	226,720	210,626	206,050
(うち)賞与	133,443	134,003	139,386	153,503	160,432	169,965	176,238	178,861
(うち)賞与引当金繰入額	61,720	63,730	65,864	68,079	71,590	73,401	75,998	79,390
(うち)報酬	48,797	46,039	48,620	54,658	38,968	29,726	25,679	26,100
(うち)賃金	15,801	13,942	10,801	9,920	11,337	26,542	30,667	24,756
(うち)退職給付引当金繰入額	62,389	70,125	33,298	43,404	64,240	64,761	67,141	90,700
(うち)法定福利費	140,565	144,526	156,512	168,421	180,128	190,676	187,930	188,888
材料費	246,477	263,738	273,835	275,644	102,688	98,416	110,305	111,082
(うち)薬品費	204,855	220,784	231,675	233,337	58,745	57,228	64,358	62,716
(うち)診療材料費	14,334	15,818	16,055	16,244	14,284	11,395	13,477	11,660
(うち)給食材料費	26,489	26,435	25,724	25,954	29,333	29,247	31,969	36,240
減価償却費	153,404	179,387	181,877	179,835	178,668	177,963	149,468	173,499
資産減耗費	10,780	0	10	22	14	23	16	0
経費	202,560	203,954	214,934	226,904	244,852	243,172	271,868	273,408
(うち)光熱水費	22,172	23,172	23,978	25,299	24,396	23,345	25,859	28,352
(うち)修繕費	6,148	6,144	4,310	4,613	6,638	4,433	5,067	5,998
(うち)賃借料	13,131	13,916	16,364	18,841	19,455	19,039	19,310	20,031
(うち)委託料	119,274	122,921	129,658	134,406	145,015	147,250	165,900	163,503
(うち)貸倒引当金	1,284	0	75	0	152	935	0	682
研究研修費	8,596	7,314	7,666	7,675	8,584	7,683	6,696	5,363
雑支出	0	0	0	1	0	0	0	0
医業費用合計 E	1,800,885	1,867,192	1,891,813	1,974,204	1,868,954	1,902,072	1,904,179	1,951,899
医業事業損益 A-E	▲588,085	▲600,358	▲583,058	▲553,447	▲581,783	▲657,249	▲594,268	▲650,966
医業営業外費用	62,707	75,296	73,891	88,915	74,559	73,069	71,348	69,145
(うち)企業債支払利息	40,989	47,559	47,263	46,718	45,334	43,623	41,452	39,235
(うち)雑支出	21,618	25,442	24,712	40,758	28,315	27,986	30,216	29,909
経常費用合計 F	1,863,592	1,942,488	1,965,704	2,063,120	1,943,513	1,975,141	1,975,527	2,021,044
経常損益 G=D-F	▲84,710	▲103,215	▲71,437	▲18,751	36,360	▲41,106	25,185	▲33,708
臨時損益 H	▲113,726	▲12,592	▲19,241	0	0	0	0	▲130
純損益 G+H	▲198,436	▲115,807	▲90,679	▲18,751	36,360	▲41,106	25,185	▲33,837



## ●阿南病院

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
<b>収 益</b>								
入院収益	484,498	447,944	484,959	487,246	470,119	534,294	573,920	546,811
外来診療収益	584,546	532,160	427,825	362,105	354,303	349,296	345,066	329,359
室料差額収益	33	55	66	12	10	67	65	127
公衆衛生活動収益	46,184	42,296	41,140	41,400	41,360	40,933	40,180	42,378
その他医業収益	5,004	5,652	4,985	5,422	6,121	6,249	6,573	5,922
保険等査定減	▲669	▲1,306	▲1,090	▲1,189	▲465	▲1,101	▲2,427	▲5,079
医業収益合計 A	1,119,596	1,026,802	957,886	894,996	871,449	929,738	963,377	919,519
医業その他営業収益	526,199	533,345	576,354	550,591	816,959	824,969	864,649	848,786
(うち)運営費負担金	519,463	526,756	551,741	527,926	792,904	801,868	838,683	826,976
営業収益合計 B	1,645,795	1,560,147	1,534,240	1,445,586	1,688,408	1,754,706	1,828,026	1,768,305
営業外収益 C	26,695	25,034	28,948	32,172	28,335	28,606	23,657	27,250
(うち)運営費負担金(利息分)	5,564	5,220	9,484	13,628	11,697	12,720	10,738	11,576
経常収益合計 D=B+C	1,672,490	1,585,181	1,563,188	1,477,758	1,716,743	1,783,312	1,851,682	1,795,555
<b>費 用</b>								
給与費	839,178	840,006	839,101	868,517	870,933	882,020	879,194	894,254
(うち)給料	350,008	353,568	341,992	361,370	348,619	356,395	356,427	359,322
(うち)手当	148,270	149,741	157,203	158,123	146,426	147,479	152,298	149,706
(うち)賞与	92,555	89,886	88,914	98,391	96,181	101,313	104,418	110,156
(うち)賞与引当金繰入額	41,321	43,155	41,780	43,692	45,133	47,847	47,912	50,050
(うち)報酬	55,094	52,562	61,082	59,107	64,351	63,069	62,279	63,479
(うち)賃金	20,486	21,014	21,116	19,965	26,601	24,461	27,493	28,323
(うち)退職給付引当金繰入額	38,111	35,916	23,014	23,526	31,781	23,558	12,159	16,372
(うち)法定福利費	93,333	94,163	104,001	104,343	111,841	117,898	116,208	116,846
材料費	370,304	339,794	251,539	162,521	163,307	156,507	163,365	158,501
(うち)薬品費	275,660	261,439	166,097	87,742	85,297	76,585	83,414	76,655
(うち)診療材料費	81,743	65,520	71,424	61,676	64,197	65,180	63,811	65,832
(うち)給食材料費	11,267	11,213	12,457	12,111	12,861	14,148	15,489	14,971
減価償却費	131,766	104,845	220,914	274,344	263,019	252,195	260,049	219,282
資産減耗費	0	18	10	0	93	93	0	0
経 費	272,313	274,105	325,071	285,245	271,826	270,369	279,591	290,420
(うち)光熱水費	25,998	28,209	37,535	36,271	29,674	27,009	29,268	31,226
(うち)修繕費	23,785	42,115	27,639	17,713	15,653	20,693	14,670	20,128
(うち)賃借料	15,322	14,394	16,251	12,978	12,806	13,612	13,944	15,872
(うち)委託料	118,040	107,351	129,194	137,270	141,653	143,715	149,003	145,623
(うち)貸倒引当金	0	0	0	0	0	12	0	0
研究研修費	6,076	5,278	6,474	5,476	4,456	4,979	4,630	3,764
雑支出	0	0	48	0	0	0	0	0
医業費用合計 E	1,619,638	1,564,045	1,643,157	1,596,103	1,573,634	1,566,162	1,586,829	1,566,221
医業事業損益 A-E	▲500,042	▲537,244	▲685,271	▲701,108	▲702,185	▲636,424	▲623,453	▲646,702
医業営業外費用	39,392	37,155	40,977	58,207	58,592	57,065	57,128	57,051
(うち)企業債支払利息	7,027	7,847	15,099	23,624	23,038	22,249	21,305	20,091
(うち)雑支出	30,344	27,521	23,957	33,695	32,967	32,707	34,223	34,617
経常費用合計 F	1,659,030	1,601,200	1,684,133	1,654,310	1,632,226	1,623,226	1,643,957	1,623,273
経常損益 G=D-F	13,459	▲16,019	▲120,945	▲176,552	84,517	160,086	207,725	172,282
臨時損益 H	▲161,418	▲251,509	▲33,906	0	0	0	0	▲1,455
純損益 G+H	▲147,958	▲267,529	▲154,851	▲176,552	84,517	160,086	207,725	170,827



●木曽病院

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
<b>収 益</b>								
入院収益	2,007,202	1,995,132	2,065,627	1,981,952	1,830,399	1,763,322	1,647,929	1,733,739
外来診療収益	1,337,231	1,376,525	1,386,760	1,386,174	1,730,671	1,527,755	1,394,831	1,350,739
室料差額収益	3,810	3,682	5,165	4,287	4,422	4,124	4,444	3,688
公衆衛生活動収益	74,245	72,293	83,182	84,062	86,904	86,809	82,110	79,084
その他医業収益	24,434	23,162	23,070	22,727	21,063	21,724	20,404	18,628
保険等査定減	▲3,498	▲4,817	0	▲6,284	▲5,582	▲6,700	▲5,709	▲5,179
医業収益合計 A	3,443,424	3,465,976	3,563,805	3,472,918	3,667,876	3,397,034	3,144,010	3,180,699
医業その他営業収益	722,092	712,439	727,628	739,623	896,491	936,319	958,308	974,223
(うち)運営費負担金	687,847	674,967	682,873	692,012	840,954	874,849	894,962	915,473
営業収益合計 B	4,165,517	4,178,415	4,291,433	4,212,541	4,564,366	4,333,352	4,102,318	4,154,922
営業外収益 C	174,387	159,487	147,739	145,726	115,327	104,468	90,787	87,173
(うち)運営費負担金(利息分)	136,600	124,940	114,109	105,993	91,701	79,395	66,971	54,323
経常収益合計 D=B+C	4,339,904	4,337,902	4,439,172	4,358,267	4,679,694	4,437,820	4,193,105	4,242,095
<b>費 用</b>								
給与費	1,997,173	2,033,772	2,078,127	2,140,301	2,214,961	2,325,714	2,245,119	2,249,211
(うち)給料	776,505	788,140	807,028	834,566	846,296	872,857	842,808	855,940
(うち)手当	411,112	432,608	469,272	467,852	456,032	457,168	417,345	398,077
(うち)賞与	190,693	188,479	200,988	217,937	228,956	237,147	236,963	258,439
(うち)賞与引当金繰入額	106,702	100,863	102,729	108,215	113,611	117,442	117,302	120,811
(うち)報酬	171,605	165,405	174,072	171,079	174,768	227,278	223,723	194,984
(うち)賃金	40,650	34,558	36,832	38,104	35,030	36,451	39,410	36,669
(うち)退職給付引当金繰入額	87,282	102,974	46,967	56,714	86,565	77,305	77,122	94,755
(うち)法定福利費	212,623	220,747	240,240	245,834	273,702	300,067	290,447	289,536
材料費	917,103	890,286	949,625	913,736	1,177,423	933,644	790,631	750,067
(うち)薬品費	474,153	467,706	502,664	473,765	773,238	595,566	466,233	429,685
(うち)診療材料費	396,396	375,047	399,928	399,275	365,031	301,136	286,526	281,402
(うち)給食材料費	41,884	41,361	42,119	38,761	36,665	34,477	34,721	33,789
減価償却費	506,824	476,029	404,054	352,746	417,554	425,956	419,803	375,972
資産減耗費	9,046	0	289	182	715	0	309	0
経 費	546,781	604,409	591,262	617,161	593,445	574,360	605,035	601,727
(うち)光熱水費	62,398	66,953	71,923	79,879	72,040	63,847	66,679	67,668
(うち)修繕費	28,682	62,888	28,858	35,141	28,390	24,470	38,192	36,255
(うち)賃借料	62,865	64,530	70,258	88,701	64,289	60,283	60,408	58,980
(うち)委託料	276,190	289,633	299,929	290,319	335,109	331,643	338,251	339,154
(うち)貸倒引当金	3,809	2,586	0	0	702	0	0	0
研究研修費	11,735	10,676	15,038	14,212	10,526	11,531	8,889	9,187
雑支出	0	0	0	792	0	0	0	0
医業費用合計 E	3,988,661	4,015,172	4,038,395	4,039,131	4,414,624	4,271,205	4,069,786	3,986,164
医業事業損益 A-E	▲545,237	▲549,196	▲474,590	▲566,214	▲746,748	▲874,171	▲925,776	▲805,465
医業営業外費用	213,773	206,367	197,820	230,682	239,763	205,205	184,274	171,406
(うち)企業債支払利息	137,614	126,397	115,709	104,781	93,370	80,790	68,394	55,539
(うち)雑支出	70,210	72,523	74,798	120,872	138,910	117,501	108,027	108,597
経常費用合計 F	4,202,434	4,221,539	4,236,214	4,269,813	4,654,387	4,476,410	4,254,060	4,157,571
経常損益 G=D-F	137,470	116,363	202,957	88,454	25,306	▲38,590	▲60,955	84,524
臨時損益 H	0	0	▲7,347	▲3,330	▲3,893	0	0	▲3
純損益 G+H	137,470	116,363	195,610	85,124	21,414	▲38,590	▲60,955	84,521



●こども病院

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
<b>収 益</b>								
入院収益	4,366,921	4,669,142	4,727,004	4,960,272	4,923,651	5,120,626	5,121,784	5,387,718
外来診療収益	722,192	777,999	798,658	835,279	698,055	749,973	787,522	827,063
室料差額収益	5,517	6,493	8,357	10,853	12,168	10,006	9,969	10,112
公衆衛生活動収益	12,764	17,835	21,606	21,032	21,041	22,051	30,317	29,865
その他医業収益	18,509	19,792	28,645	26,216	25,880	26,527	27,049	23,979
保険等査定減	▲17,666	▲15,369	▲27,172	▲23,296	▲20,341	▲20,658	▲23,865	▲9,548
医業収益合計 A	5,108,236	5,475,892	5,557,097	5,830,356	5,660,454	5,908,524	5,952,776	6,269,189
医業その他営業収益	1,662,498	1,710,461	1,747,585	1,786,978	1,680,754	1,685,044	1,758,542	1,831,717
(うち)運営費負担金	1,549,412	1,595,200	1,583,632	1,609,670	1,547,834	1,528,968	1,602,818	1,620,470
営業収益合計 B	6,770,735	7,186,353	7,304,682	7,617,334	7,341,208	7,593,568	7,711,319	8,100,906
営業外収益 C	326,569	325,469	320,642	270,887	254,333	233,096	222,167	200,097
(うち)運営費負担金(利息分)	265,677	247,398	229,831	212,470	195,018	176,593	159,173	140,549
経常収益合計 D=B+C	7,097,303	7,511,822	7,625,324	7,888,221	7,595,542	7,826,665	7,933,486	8,301,002
<b>費 用</b>								
給与費	3,418,101	3,616,619	3,788,039	3,971,262	4,079,157	4,274,784	4,299,961	4,337,605
(うち)給料	1,228,147	1,314,567	1,393,960	1,475,418	1,466,501	1,516,005	1,532,738	1,544,057
(うち)手当	831,171	842,990	878,003	859,115	872,768	926,135	903,358	943,011
(うち)賞与	300,840	318,501	343,101	392,593	392,432	418,006	432,829	444,089
(うち)賞与引当金繰入額	165,284	169,611	173,508	189,503	193,502	207,698	208,720	218,035
(うち)報酬	342,264	381,962	380,406	344,633	377,007	356,598	370,169	357,020
(うち)賃金	71,710	68,018	74,155	75,816	86,754	95,428	101,617	104,445
(うち)退職給付引当金繰入額	111,713	126,567	109,628	173,239	187,774	202,388	204,643	181,683
(うち)法定福利費	366,972	394,403	435,278	460,945	502,420	552,526	545,886	545,265
材料費	1,350,150	1,386,223	1,371,996	1,280,965	1,179,700	1,277,561	1,256,702	1,365,701
(うち)薬品費	671,350	688,676	610,816	595,477	447,542	484,845	493,862	579,789
(うち)診療材料費	649,744	668,043	728,199	657,043	701,443	763,761	734,222	758,556
(うち)給食材料費	19,894	20,138	24,081	24,561	27,205	25,875	25,348	23,123
減価償却費	849,359	819,676	914,567	868,347	789,293	810,633	764,779	735,288
資産減耗費	150	0	109	202	3,595	21,896	2	0
経 費	917,769	946,731	1,096,667	1,029,311	1,062,940	1,039,198	1,095,676	1,113,172
(うち)光熱水費	99,032	106,391	109,588	112,199	102,394	88,857	92,966	98,054
(うち)修繕費	85,721	97,979	178,652	79,483	98,094	73,643	85,453	64,546
(うち)賃借料	127,167	133,820	160,981	173,656	173,209	175,600	179,926	191,145
(うち)委託料	447,532	442,537	463,486	501,364	548,443	573,065	584,656	602,373
(うち)貸倒引当金	2,078	933	0	455	1,485	496	0	0
研究研修費	21,443	33,461	30,831	36,120	34,161	31,299	27,895	28,431
雑支出	0	21	0	0	0	0	0	0
医業費用合計 E	6,556,972	6,802,731	7,202,209	7,186,208	7,148,845	7,455,371	7,445,016	7,580,198
医業事業損益 A-E	▲1,448,736	▲1,326,839	▲1,645,112	▲1,355,852	▲1,488,391	▲1,546,847	▲1,492,240	▲1,311,009
医業営業外費用	383,042	374,816	387,490	405,111	381,124	364,911	351,318	347,077
(うち)企業債支払利息	266,072	248,814	231,737	214,601	196,008	177,196	160,952	142,442
(うち)雑支出	111,445	117,748	147,171	182,712	178,356	183,494	187,489	200,860
経常費用合計 F	6,940,015	7,177,547	7,589,699	7,591,319	7,529,969	7,820,282	7,796,334	7,927,275
経常損益 G=D-F	157,288	334,275	35,625	296,902	65,573	6,382	137,152	373,728
臨時損益 H	0	0	0	0	0	0	0	▲437
純損益 G+H	157,288	334,275	35,625	296,902	65,573	6,382	137,152	373,291

## ●病院会計

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
<b>収 益</b>								
入院収益	11,024,917	11,374,473	11,615,566	11,669,226	11,962,262	12,004,970	12,063,886	12,481,914
外来診療収益	4,372,062	4,489,807	4,417,641	4,366,124	4,444,917	4,275,780	4,311,713	4,352,810
室料差額収益	27,858	28,256	27,996	29,156	32,341	27,325	32,053	31,894
公衆衛生活動収益	277,242	286,897	316,249	322,057	331,999	330,741	337,894	362,252
その他医業収益	107,085	97,928	113,946	108,016	107,315	105,522	106,642	101,363
保険等査定減	▲25,360	▲27,403	▲31,157	▲36,697	▲32,647	▲34,198	▲37,916	▲26,483
医業収益合計 A	15,783,803	16,249,958	16,460,242	16,457,882	16,846,188	16,710,140	16,814,272	17,303,748
医業その他営業収益	4,347,496	4,380,904	4,579,283	4,652,690	5,063,580	5,128,353	5,167,356	5,273,444
(うち)運営費負担金	4,098,395	4,136,046	4,265,963	4,319,519	4,771,555	4,813,738	4,849,862	4,904,175
営業収益合計 B	20,131,299	20,630,862	21,039,525	21,110,571	21,909,768	21,838,492	21,981,628	22,577,193
営業外収益 C	805,159	800,789	761,402	712,164	655,849	608,895	565,984	559,502
(うち)運営費負担金(利息分)	622,118	589,453	556,653	526,395	483,543	444,014	402,590	362,545
経常収益合計 D=B+C	20,936,458	21,431,651	21,800,927	21,822,735	22,565,618	22,447,387	22,547,612	23,136,695
<b>費 用</b>								
給与費	10,644,298	10,799,931	11,028,992	11,431,615	11,911,956	12,332,963	12,336,320	12,449,220
(うち)給料	4,098,775	4,168,084	4,315,404	4,503,358	4,556,962	4,668,287	4,703,321	4,710,760
(うち)手当	2,345,097	2,320,006	2,420,335	2,343,581	2,418,440	2,470,975	2,376,710	2,411,418
(うち)賞与	1,028,425	1,018,043	1,076,634	1,192,664	1,228,938	1,292,823	1,339,465	1,386,381
(うち)賞与引当金繰入額	535,080	526,898	537,237	577,146	600,218	640,494	648,189	664,460
(うち)報酬	828,546	885,782	885,271	869,115	912,979	901,367	924,874	873,297
(うち)賃金	218,533	207,285	207,362	195,167	210,370	245,834	264,300	261,534
(うち)退職給付引当金繰入額	437,048	486,712	288,963	395,352	497,352	499,592	484,069	546,018
(うち)法定福利費	1,152,795	1,187,121	1,297,785	1,355,233	1,486,697	1,613,591	1,595,392	1,595,352
材料費	4,076,512	4,113,918	4,125,432	3,781,632	3,897,960	3,748,535	3,688,267	3,817,198
(うち)薬品費	2,212,005	2,310,653	2,214,003	2,012,077	2,041,382	1,861,177	1,803,670	1,930,169
(うち)診療材料費	1,689,061	1,626,142	1,727,465	1,608,267	1,679,022	1,716,406	1,705,511	1,705,526
(うち)給食材料費	151,001	148,755	155,413	151,577	166,269	160,562	168,355	167,535
減価償却費	2,391,289	2,304,275	2,395,349	2,345,563	2,317,075	2,256,073	2,173,860	1,944,244
資産減耗費	19,976	18	429	406	4,740	22,179	490	0
経費	2,784,071	2,797,079	3,061,519	3,023,446	2,994,209	2,926,182	3,112,123	3,182,899
(うち)光熱水費	278,198	296,087	317,162	335,398	304,096	270,841	297,162	313,117
(うち)修繕費	215,976	249,122	278,260	188,546	180,942	155,438	193,587	193,495
(うち)賃借料	299,189	315,452	356,195	387,549	368,102	362,068	367,112	381,123
(うち)委託料	1,352,694	1,357,017	1,446,701	1,513,844	1,632,653	1,662,307	1,708,682	1,743,834
(うち)貸倒引当金	18,404	4,960	698	3,240	7,273	1,796	0	682
研究研修費	66,349	70,958	83,623	78,700	71,200	68,790	63,847	65,284
雑支出	0	1,584	48	793	0	0	0	0
医業費用合計 E	19,982,496	20,087,764	20,695,392	20,662,154	21,197,140	21,354,722	21,374,907	21,458,844
医業事業損益 A-E	▲4,198,693	▲3,837,806	▲4,235,151	▲4,204,272	▲4,350,952	▲4,644,582	▲4,560,635	▲4,155,096
医業営業外費用	975,060	971,794	972,760	1,102,088	1,065,350	998,745	965,958	948,683
(うち)企業債支払利息	625,180	597,228	568,049	539,213	498,442	455,888	417,084	375,497
(うち)雑支出	329,282	344,846	372,414	535,036	537,710	519,793	528,760	552,482
経常費用合計 F	20,957,556	21,059,557	21,668,153	21,764,242	22,262,490	22,353,467	22,340,865	22,407,528
経常損益 G=D-F	▲21,098	372,094	132,774	58,493	303,127	93,920	206,747	729,167
臨時損益 H	▲275,144	▲264,686	▲60,494	▲3,330	▲3,893	0	▲6,958	▲231
純損益 G+H	▲296,242	107,407	72,280	55,164	299,235	93,920	199,789	728,937



●阿南介護老人保健施設

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
<b>収 益</b>								
入所収益	182,170	167,754	154,453	157,617	154,430	147,448	141,933	135,413
通所収益	8,543	9,126	8,323	9,601	6,741	7,087	4,963	6,204
利用料収入	26,260	28,848	27,013	26,094	26,840	26,888	26,346	26,117
老健収益合計 A	216,972	205,728	189,790	193,312	188,010	181,422	173,242	167,734
老健その他営業収益	29,361	30,447	32,075	34,399	39,430	40,284	42,090	43,920
(うち)運営費負担金	29,361	30,447	32,075	34,399	39,082	40,284	42,090	43,920
営業収益合計 B	246,333	236,175	221,865	227,711	227,441	221,706	215,332	211,654
営業外収益 C	26,069	24,333	22,639	20,873	19,321	17,420	15,462	14,060
(うち)運営費負担金(利息分)	26,041	24,275	22,610	20,870	19,187	17,286	15,326	13,282
経常収益合計 D=B+C	272,402	260,508	244,503	248,584	246,762	239,127	230,794	225,714
<b>費 用</b>								
給与費	158,126	149,421	134,949	145,992	149,742	146,759	142,631	138,907
(うち)給料	65,666	67,701	53,656	60,802	61,919	60,200	58,200	52,447
(うち)手当	22,133	21,194	18,367	18,953	20,207	19,608	17,874	18,605
(うち)賞与	15,257	16,344	12,041	14,676	15,943	14,852	13,658	13,073
(うち)賞与引当金繰入額	9,938	8,531	6,390	8,637	9,338	9,787	8,811	9,780
(うち)報酬	11,542	5,800	15,198	10,904	9,448	8,655	9,160	11,996
(うち)賃金	1,157	1,157	1,131	1,977	4,288	3,138	2,459	3,630
(うち)退職給付引当金繰入額	14,811	11,636	11,481	11,705	7,977	9,742	13,483	10,293
(うち)法定福利費	17,622	17,057	16,685	18,338	20,621	20,775	18,984	19,083
材料費	17,024	17,554	16,768	15,932	15,618	14,378	14,244	13,439
(うち)薬品費	3,439	3,405	2,909	2,287	2,213	1,724	2,036	1,609
(うち)診療材料費	2,402	2,091	2,132	2,218	2,227	1,916	1,878	1,697
(うち)給食材料費	10,934	11,675	11,523	11,428	11,179	10,738	10,331	10,134
減価償却費	32,088	21,602	26,259	25,343	25,349	25,849	26,412	22,333
資産減耗費	0	0	0	0	0	0	0	0
経 費	30,770	33,924	32,864	31,346	34,000	30,709	31,193	33,131
(うち)光熱水費	2,417	2,469	2,483	2,647	2,489	2,185	2,261	2,559
(うち)修繕費	953	2,432	2,179	444	4,892	2,280	3,584	948
(うち)賃借料	2,594	2,551	2,455	2,460	2,591	2,541	2,488	2,423
(うち)委託料	16,777	18,638	18,435	18,369	17,732	17,973	16,427	20,152
(うち)貸倒引当金	77	0	0	0	0	0	0	0
研究研修費	230	191	247	320	90	218	87	206
雑支出	0	0	0	0	0	0	0	0
老健費用合計 E	238,239	222,692	211,088	218,934	224,799	217,912	214,567	208,016
老健事業損益 A-E	▲21,266	▲16,964	▲21,298	▲25,622	▲36,788	▲36,489	▲41,326	▲40,282
老健営業外費用	28,539	27,113	25,358	24,967	23,336	21,065	19,112	17,196
(うち)企業債支払利息	26,068	24,431	22,787	21,065	19,224	17,303	15,334	13,269
(うち)雑支出	2,471	2,683	2,571	3,902	4,113	3,763	3,778	3,927
経常費用合計 F	266,778	249,805	236,446	243,901	248,135	238,977	233,679	225,212
経常損益 G=D-F	5,624	10,703	8,058	4,682	▲1,373	150	▲2,886	502
臨時損益 H	0	0	0	0	0	0	0	0
純損益 G+H	5,624	10,703	8,058	4,682	▲1,373	150	▲2,886	502

●木曾介護老人保健施設

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
<b>収 益</b>								
入所収益	180,905	171,257	180,084	176,576	149,961	153,467	165,408	159,637
通所収益	10,224	11,659	10,503	10,758	10,977	10,130	7,737	6,983
利用料収入	23,086	23,794	24,782	24,065	24,447	25,809	28,983	27,374
老健収益合計 A	214,215	206,710	215,368	211,399	185,385	189,406	202,129	193,994
老健その他営業収益	20,267	21,214	22,383	23,423	28,987	31,838	33,087	34,415
(うち)運営費負担金	20,267	21,214	22,383	23,423	28,419	31,838	33,071	34,409
営業収益合計 B	234,482	227,924	237,751	234,822	214,371	221,244	235,215	228,410
営業外収益 C	26,658	25,077	23,683	22,171	20,704	19,256	19,929	16,323
(うち)運営費負担金(利息分)	26,598	25,046	23,625	22,090	20,598	18,885	17,084	15,200
経常収益合計 D=B+C	261,140	253,000	261,434	256,993	235,075	240,500	255,144	244,733
<b>費 用</b>								
給与費	158,674	140,989	151,270	152,494	148,587	162,084	144,501	153,600
(うち)給料	73,265	61,414	62,221	63,353	60,915	67,462	65,123	64,258
(うち)手当	20,880	21,129	22,253	18,654	19,928	21,364	17,128	15,905
(うち)賞与	17,758	12,788	13,637	14,921	13,942	17,328	16,147	17,622
(うち)賞与引当金繰入額	9,938	8,531	9,339	10,161	9,857	10,331	8,811	10,931
(うち)報酬	7,799	7,331	7,977	10,676	10,725	9,569	8,551	17,154
(うち)賃金	3,168	3,174	3,243	3,312	3,418	3,424	3,982	3,252
(うち)退職給付引当金繰入額	6,453	9,057	13,771	12,141	9,519	10,005	3,220	3,560
(うち)法定福利費	19,413	17,564	18,829	19,276	20,284	22,601	21,539	20,919
材料費	17,222	17,140	17,163	17,149	15,274	16,027	17,491	17,500
(うち)薬品費	2,572	2,173	2,284	2,123	1,414	1,802	2,151	2,617
(うち)診療材料費	2,278	2,589	2,515	2,726	2,699	2,785	3,084	2,928
(うち)給食材料費	11,710	11,853	12,194	12,299	11,161	11,440	12,257	11,955
減価償却費	26,997	15,832	17,283	18,039	17,761	17,811	17,909	14,398
資産減耗費	0	847	0	0	0	0	0	0
経 費	31,562	31,141	30,230	31,234	27,553	28,368	29,025	30,438
(うち)光熱水費	4,116	4,343	3,956	3,974	3,484	3,119	3,349	3,508
(うち)修繕費	1,683	1,070	1,682	3,994	1,430	3,388	3,119	2,766
(うち)賃借料	3,626	3,709	3,446	3,136	3,332	3,232	3,221	3,357
(うち)委託料	14,987	14,246	14,370	14,342	14,614	15,000	14,767	15,227
(うち)貸倒引当金	171	0	0	0	0	0	0	599
研究研修費	202	238	32	263	197	109	82	89
雑支出	0	0	0	0	0	0	0	0
老健費用合計 E	234,657	206,187	215,978	219,179	209,372	224,399	209,009	216,024
老健事業損益 A-E	▲20,442	523	▲610	▲7,780	▲23,988	▲34,993	▲6,880	▲22,030
老健営業外費用	29,008	27,576	26,137	26,117	24,070	22,447	20,833	19,100
(うち)企業債支払利息	26,495	25,050	23,693	22,189	20,566	18,843	17,024	15,122
(うち)雑支出	2,513	2,527	2,444	3,928	3,505	3,604	3,809	3,978
経常費用合計 F	263,665	233,763	242,115	245,297	233,443	246,846	229,842	235,124
経常損益 G=D-F	▲2,525	19,237	19,318	11,696	1,632	▲6,346	25,302	9,609
臨時損益 H	0	0	0	0	0	0	0	0
純損益 G+H	▲2,525	19,237	19,318	11,696	1,632	▲6,346	25,302	9,609



●介護老人保健施設合計

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
<b>収 益</b>								
入所収益	363,075	339,011	334,537	334,193	304,390	300,914	307,341	295,050
通所収益	18,766	20,785	18,826	20,358	17,718	17,218	12,700	13,187
利用料収入	49,346	52,642	51,795	50,159	51,286	52,697	55,329	53,491
老健収益合計 A	431,187	412,438	405,158	404,711	373,395	370,829	375,370	361,728
老健その他営業収益	49,628	51,661	54,458	57,822	68,417	72,122	75,177	78,335
(うち)運営費負担金	49,628	51,661	54,458	57,822	67,501	72,122	75,161	78,329
営業収益合計 B	480,815	464,099	459,616	462,533	441,812	442,951	450,547	440,064
営業外収益 C	52,727	49,409	46,321	43,044	40,025	36,677	35,391	30,383
(うち)運営費負担金(利息分)	52,639	49,321	46,235	42,960	39,785	36,171	32,410	28,482
経常収益合計 D=B+C	533,542	513,508	505,937	505,577	481,837	479,627	485,938	470,447
<b>費 用</b>								
給与費	316,800	290,410	286,218	298,487	298,329	308,842	287,132	292,506
(うち)給料	138,931	129,115	115,877	124,155	122,834	127,662	123,323	116,705
(うち)手当	43,014	42,324	40,620	37,607	40,135	40,972	35,002	34,510
(うち)賞与	33,015	29,133	25,677	29,597	29,885	32,180	29,805	30,695
(うち)賞与引当金繰入額	19,876	17,061	15,729	18,798	19,195	20,117	17,623	20,710
(うち)報酬	19,341	13,131	23,175	21,580	20,174	18,224	17,711	29,149
(うち)賃金	4,325	4,331	4,374	5,290	7,706	6,563	6,441	6,882
(うち)退職給付引当金繰入額	21,264	20,693	25,252	23,846	17,495	19,747	16,703	13,853
(うち)法定福利費	37,035	34,622	35,514	37,614	40,905	43,376	40,523	40,002
材料費	34,246	34,694	33,931	33,081	30,892	30,405	31,735	30,939
(うち)薬品費	6,011	5,578	5,193	4,410	3,626	3,526	4,187	4,225
(うち)診療材料費	4,680	4,681	4,647	4,944	4,926	4,701	4,961	4,625
(うち)給食材料費	22,644	23,528	23,716	23,727	22,340	22,178	22,587	22,089
減価償却費	59,085	37,434	43,543	43,383	43,111	43,660	44,321	36,731
資産減耗費	0	847	0	0	0	0	0	0
経 費	62,332	65,065	63,094	62,579	61,552	59,077	60,218	63,569
(うち)光熱水費	6,533	6,812	6,439	6,621	5,973	5,303	5,609	6,067
(うち)修繕費	2,636	3,502	3,861	4,437	6,321	5,668	6,702	3,714
(うち)賃借料	6,220	6,260	5,901	5,597	5,923	5,772	5,709	5,780
(うち)委託料	31,764	32,884	32,806	32,711	32,346	32,973	31,194	35,379
(うち)貸倒引当金	248	0	0	0	0	0	0	599
研究研修費	432	430	280	583	287	326	170	295
雑支出	0	0	0	0	0	0	0	0
老健費用合計 E	472,896	428,879	427,066	438,113	434,171	442,311	423,576	424,040
老健事業損益 A-E	▲41,708	▲16,441	▲21,908	▲33,402	▲60,776	▲71,482	▲48,206	▲62,312
老健営業外費用	57,547	54,689	51,496	51,085	47,407	43,512	39,946	36,296
(うち)企業債支払利息	52,563	49,480	46,480	43,255	39,790	36,146	32,358	28,391
(うち)雑支出	4,984	5,209	5,015	7,830	7,617	7,367	7,587	7,905
経常費用合計 F	530,443	483,569	478,561	489,198	481,578	485,824	463,522	460,336
経常損益 G=D-F	3,099	29,939	27,376	16,379	259	▲6,196	22,416	10,111
臨時損益 H	0	0	0	0	0	0	0	0
純損益 G+H	3,099	29,939	27,376	16,379	259	▲6,196	22,416	10,111

## ●信州木曾看護専門学校

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
<b>収 益</b>								
授業料				6,500	11,000	15,700	14,833	14,650
入学料				1,850	1,450	1,300	1,400	1,350
受験料				980	600	640	680	850
施設整備費				813	1,375	1,963	1,854	1,834
その他看護師養成所収益				0	123	142	203	162
看護師養成所収益合計 A				10,143	14,548	19,744	18,970	18,846
看護師養成所その他営業収益				80,927	103,368	102,832	105,014	103,587
(うち)運営費負担金				72,201	93,441	92,557	94,996	93,712
営業収益合計 B				91,069	117,916	122,576	123,984	122,433
営業外収益 C				3,875	6,887	9,511	9,637	9,165
(うち)運営費負担金(利息分)				0	0	0	0	0
経常収益合計 D=B+C				94,945	124,803	132,087	133,621	131,598
<b>費 用</b>								
給与費				88,937	99,887	113,266	117,042	113,403
(うち)給料				43,794	45,039	49,863	49,977	46,883
(うち)手当				8,902	10,583	11,206	11,291	9,785
(うち)賞与				14,417	12,688	14,003	14,204	13,010
(うち)賞与引当金繰入額				4,064	4,669	4,893	5,507	5,753
(うち)報酬				2,432	3,199	3,604	3,297	3,331
(うち)賃金				993	3,774	4,226	4,152	7,079
(うち)退職給付引当金繰入額				1,402	6,395	10,140	13,181	12,710
(うち)法定福利費				12,933	13,539	15,331	15,434	14,852
材料費				0	0	0	0	0
(うち)薬品費				0	0	0	0	0
(うち)診療材料費				0	0	0	0	0
(うち)給食材料費				0	0	0	0	0
減価償却費				11,509	13,027	13,531	13,409	12,911
資産減耗費				0	0	0	0	0
経 費				18,154	26,146	29,657	28,404	28,440
(うち)光熱水費				858	1,189	1,155	876	836
(うち)修繕費				264	1,526	297	481	499
(うち)賃借料				6,919	11,850	14,378	14,276	14,331
(うち)委託料				1,490	1,301	1,532	1,701	1,770
(うち)貸倒引当金				0	0	0	0	0
研究研修費				993	926	312	330	153
雑支出				0	170	0	0	0
看護師養成所費用合計 E				119,593	140,156	156,767	159,185	154,907
看護師養成所事業損益 A-E				▲109,451	▲125,607	▲137,022	▲140,215	▲136,061
看護師養成所営業外費用				1,118	1,327	1,352	1,274	1,281
(うち)企業債支払利息				0	0	0	0	0
(うち)雑支出				1,118	1,327	1,351	1,273	1,281
経常費用合計 F				120,712	141,483	158,118	160,459	156,188
経常損益 G=D-F				▲25,767	▲16,680	▲26,031	▲26,838	▲24,590
臨時損益 H				0	0	0	0	0
純損益 G+H				▲25,767	▲16,680	▲26,031	▲26,838	▲24,590



## ●本部

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
<b>収 益</b>								
一般管理収益合計 A	0	0	0	0	0	0	0	0
一般管理その他営業収益	277,977	276,469	205,627	156,639	27,558	24,737	27,361	17,708
(うち)運営費負担金	276,972	273,320	176,550	153,203	24,122	21,362	24,948	12,688
営業収益合計 B	277,977	276,469	205,627	156,639	27,558	24,737	27,361	17,708
営業外収益 C	1,323	3,454	20,634	25,661	22,156	10,673	6,260	6,595
(うち)運営費負担金(利息分)	248	199	141	101	53	36	33	69
経常収益合計 D=B+C	279,300	279,923	226,260	182,300	49,714	35,410	33,621	24,303
<b>費 用</b>								
給与費	252,415	262,579	259,032	223,028	230,714	274,278	271,756	254,735
(うち)給料	113,341	122,980	114,616	99,471	98,619	120,242	119,779	103,526
(うち)手当	37,683	30,573	24,923	20,275	24,344	31,282	28,082	24,390
(うち)賞与	31,427	34,163	31,022	25,465	27,873	36,460	36,590	34,244
(うち)賞与引当金繰入額	13,076	12,545	12,780	11,177	10,375	11,418	11,014	13,232
(うち)報酬	23,962	25,002	30,376	24,310	24,426	24,860	24,079	26,618
(うち)賃金	1,759	1,724	2,084	2,128	0	0	1,436	1,388
(うち)退職給付引当金繰入額	3,543	6,494	8,370	9,586	14,158	11,471	13,462	15,521
(うち)法定福利費	27,623	29,097	34,862	30,617	30,919	38,545	37,314	35,815
材料費	0	0	0	0	0	0	0	0
(うち)薬品費	0	0	0	0	0	0	0	0
(うち)診療材料費	0	0	0	0	0	0	0	0
(うち)給食材料費	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	16,311	19,552	21,043	26,641	18,226	16,694	21,124	24,043
資産減耗費	0	0	0	0	0	63	0	0
経 費	46,157	46,614	69,424	40,018	36,566	52,423	49,915	35,031
(うち)光熱水費	0	0	190	0	0	0	0	0
(うち)修繕費	286	360	1,043	549	347	524	199	483
(うち)賃借料	1,909	1,581	1,694	1,948	1,647	1,652	1,486	1,708
(うち)委託料	16,828	18,142	17,476	16,259	16,638	26,877	27,153	14,175
(うち)貸倒引当金	0	0	0	0	0	0	0	0
研究研修費	3,796	17,450	19,043	7,692	10,545	12,510	12,533	5,978
雑支出	0	0	0	19	0	0	0	0
一般管理費用合計 E	318,679	346,195	368,542	297,398	296,052	355,969	355,327	319,787
一般管理事業損益 A-E	▲318,679	▲346,195	▲368,542	▲297,398	▲296,052	▲355,969	▲355,327	▲319,787
一般管理営業外費用	2,850	3,014	4,276	3,563	3,794	4,932	4,119	1,838
(うち)企業債支払利息	263	233	178	158	105	72	68	138
(うち)雑支出	2,587	2,781	4,099	3,404	3,689	4,860	4,051	1,700
経常費用合計 F	321,528	349,208	372,818	300,961	299,846	360,902	359,446	321,624
経常損益 G=D-F	▲42,228	▲69,286	▲146,558	▲118,660	▲250,131	▲325,492	▲325,826	▲297,321
臨時損益 H	0	0	0	0	0	0	0	-382
純損益 G+H	▲42,228	▲69,286	▲146,558	▲118,660	▲250,131	▲325,492	▲325,826	▲297,703



●機構全体

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
<b>収 益</b>								
入院収益	11,024,917	11,374,473	11,615,566	11,669,226	11,962,262	12,004,970	12,063,886	12,481,914
外来診療収益	4,372,062	4,489,807	4,417,641	4,366,124	4,444,917	4,275,780	4,311,713	4,352,810
室料差額収益	27,858	28,256	27,996	29,156	32,341	27,325	32,053	31,894
公衆衛生活動収益	277,242	286,897	316,249	322,057	331,999	330,741	337,894	362,252
その他医業収益	107,085	97,928	113,946	108,016	107,315	105,522	106,642	101,363
保険等査定減	▲25,360	▲27,403	▲31,157	▲36,697	▲32,647	▲34,198	▲37,916	▲26,483
医業収益合計 A	15,783,803	16,249,958	16,460,242	16,457,882	16,846,188	16,710,140	16,814,272	17,303,748
老健収益合計 A	431,187	412,438	405,158	404,711	373,395	370,829	375,370	361,728
看護師養成所収益合計 A	0	0	0	10,143	14,548	19,744	18,970	18,846
その他営業収益	4,675,101	4,709,034	4,839,368	4,948,078	5,262,923	5,328,044	5,374,908	5,473,075
(うち)運営費負担金	4,424,995	4,461,027	4,496,971	4,602,745	4,956,619	4,999,779	5,044,967	5,088,904
営業収益合計 B	20,890,091	21,371,430	21,704,768	21,820,813	22,497,055	22,428,756	22,583,520	23,157,397
営業外収益 C	859,209	853,652	828,356	784,744	724,917	665,756	617,271	605,646
(うち)運営費負担金(利息分)	675,005	638,973	603,029	569,456	523,381	480,221	435,033	391,096
経常収益合計 D=B+C	21,749,301	22,225,082	22,533,124	22,605,557	23,221,972	23,094,512	23,200,791	23,763,042
<b>費 用</b>								
給与費	11,213,513	11,352,920	11,574,242	12,042,067	12,540,886	13,029,350	13,012,250	13,109,864
(うち)給料	4,351,047	4,420,180	4,545,897	4,770,777	4,823,454	4,966,055	4,996,399	4,977,875
(うち)手当	2,425,794	2,392,903	2,485,877	2,410,364	2,493,502	2,554,436	2,451,085	2,480,103
(うち)賞与	1,092,866	1,081,339	1,133,333	1,262,143	1,299,384	1,375,465	1,420,064	1,464,330
(うち)賞与引当金繰入額	568,032	556,504	565,746	611,185	634,457	676,922	682,333	704,155
(うち)報酬	871,849	923,914	938,822	917,438	960,777	948,054	969,961	932,395
(うち)賃金	224,617	213,339	213,820	203,578	221,850	256,622	276,329	276,883
(うち)退職給付引当金繰入額	461,855	513,900	322,585	430,186	535,400	540,950	527,415	588,102
(うち)法定福利費	1,217,453	1,250,840	1,368,161	1,436,396	1,572,061	1,710,844	1,688,663	1,686,021
材料費	4,110,759	4,148,612	4,159,363	3,814,712	3,928,853	3,778,940	3,720,002	3,848,137
(うち)薬品費	2,218,017	2,316,231	2,219,196	2,016,487	2,045,008	1,864,703	1,807,857	1,934,394
(うち)診療材料費	1,693,741	1,630,823	1,732,112	1,613,211	1,683,948	1,721,107	1,710,472	1,710,151
(うち)給食材料費	173,645	172,284	179,130	175,304	188,609	182,740	190,942	189,624
減価償却費	2,466,686	2,361,260	2,459,934	2,427,096	2,391,439	2,329,958	2,252,714	2,017,928
資産減耗費	19,976	865	429	406	4,740	22,242	490	0
経 費	2,892,560	2,908,759	3,194,037	3,144,198	3,118,474	3,067,340	3,250,660	3,309,939
(うち)光熱水費	284,731	302,899	323,790	342,877	311,258	277,299	303,648	320,019
(うち)修繕費	218,898	252,983	283,164	193,796	189,136	161,927	200,968	198,191
(うち)賃借料	307,318	323,293	363,791	402,013	387,521	383,870	388,582	402,941
(うち)委託料	1,401,286	1,408,043	1,496,983	1,564,304	1,682,938	1,723,689	1,768,730	1,795,159
(うち)貸倒引当金	18,651	4,960	698	3,240	7,273	1,796	0	1,281
研究研修費	70,577	88,838	102,947	87,968	82,958	81,938	76,879	71,710
雑支出	0	1,584	48	812	170	0	0	0
営業費用合計 E	20,774,071	20,862,838	21,491,000	21,517,259	22,067,519	22,309,769	22,312,996	22,357,578
営業事業損益 A-E	▲4,559,080	▲4,200,442	▲4,625,600	▲4,644,524	▲4,833,387	▲5,209,056	▲5,104,384	▲4,673,256
営業外費用	1,035,456	1,029,497	1,028,532	1,157,853	1,117,879	1,048,542	1,011,296	988,097
(うち)企業債支払利息	678,006	646,940	614,707	582,626	538,337	492,106	449,510	404,026
(うち)雑支出	336,854	352,837	381,528	547,389	550,343	533,372	541,671	563,367
経常費用合計 F	21,809,528	21,892,334	22,519,532	22,675,112	23,185,397	23,358,311	23,324,292	23,345,675
経常損益 G=D-F	▲60,227	332,748	13,592	▲69,555	36,575	▲263,799	▲123,501	417,367
臨時損益 H	▲275,144	▲264,686	▲60,494	▲3,330	▲3,893	0	▲6,958	▲612
純損益 G+H	▲335,371	68,061	▲46,902	▲72,885	32,682	▲263,799	▲130,458	416,755



## 2 貸借対照表

### ●貸借対照表（平成31年3月31日現在）

地方独立行政法人長野県立病院機構

(単位：円)

科 目	金 額	
資産の部		
I 固定資産		
1 有形固定資産		
土地		3,110,065,208
建物	27,568,272,014	
建物減価償却累計額	▲10,691,673,382	16,876,598,632
構築物	601,776,403	
構築物減価償却累計額	▲308,949,109	292,827,294
器械備品	10,768,149,733	
器械備品減価償却累計額	▲7,599,330,662	3,168,819,071
車両	126,676,470	
車両減価償却累計額	▲75,587,326	51,089,144
その他有形固定資産	34,954,936	
その他有形固定資産減価償却累計額	▲373,227	34,581,709
建設仮勘定		4,013,280
有形固定資産 合計		23,537,994,338
2 無形固定資産		
借地権		47,517,500
ソフトウェア		1,229,087
電話加入権		184,000
無形固定資産 合計		48,930,587
3 投資その他の資産		
長期貸付金	85,800,000	
貸倒引当金	▲50,871,979	34,928,021
長期前払費用		7,427,580
その他投資資産		1,000,118,000
投資その他の資産 合計		1,042,473,601
固定資産 合計		24,629,398,526
II 流動資産		
現金及び預金		4,758,251,894
未収金	3,615,854,333	
貸倒引当金	▲29,272,226	3,586,582,107
医薬品		95,478,609
診療材料		72,225,976
貯蔵品		10,145,164
前渡金		18,000
前払費用		12,592,820
未収収益		7,768,247
立替金		605,295
流動資産 合計		8,543,668,112
資産合計		33,173,066,638

(単位：円)

科 目	金 額		
負債の部			
I 固定負債			
資産見返負債			
資産見返補助金等	1,043,584,314		
資産見返物品受贈額	71,827,383	1,115,411,697	
長期借入金		7,655,088,680	
移行前地方債償還債務		11,399,916,644	
引当金			
退職給付引当金	6,878,602,910		
役員退職慰労引当金	5,100,000	6,883,702,910	
長期リース債務		53,738,640	
固定負債 合計			27,107,858,571
II 流動負債			
寄附金債務		80,281,657	
1年以内返済予定長期借入金		1,118,407,616	
1年以内返済予定移行前地方債償還債務		1,422,648,753	
1年以内支払予定リース債務		25,630,020	
未払金		2,199,225,461	
未払費用		18,436,930	
未払消費税等		9,234,599	
預り金		92,182,108	
賞与引当金		704,154,954	
その他流動負債		2,157,873	
流動負債 合計			5,672,359,971
負債合計			32,780,218,542
純資産の部			
I 資本金			
設立団体出資金		305,621,763	
資本金 合計			305,621,763
II 資本剰余金			
資本剰余金		20,106,000	
資本剰余金 合計			20,106,000
III 利益剰余金			
当期未処分利益		67,120,333	
(うち当期総利益)		(416,754,582)	
利益剰余金 合計			67,120,333
純資産 合計			392,848,096
負債純資産合計			33,173,066,638



### 3 資本的収入及び支出

#### ●信州医療センター

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
資本的収入								
企業債	894,000	179,800	110,000	99,900	117,352	453,843	567,477	657,066
国庫(県)補助金	0	0	0	420	394	38,930	37,871	0
不要資産売却収入	0	0	0	0	0	0	588	90,000
その他(長期貸付返還金)	300	2,100	600	1,200	3,600	4,800	1,800	0
資本的収入合計	894,300	181,900	110,600	101,520	121,346	497,573	607,735	747,066

#### 資本的支出

建設工事費	0	0	0	0	0	0	0	0
建設改良工事費	14,847	17,924	4,956	0	0	278,441	417,679	58,239
医療器械購入費	860,184	157,738	83,913	87,286	115,753	214,630	181,880	691,512
備品購入費	18,596	5,053	18,906	2,026	346	257	4,776	1,609
車両購入費	868	2,399	2,447	1,261	1,183	0	1,498	2,544
ソフトウェア購入費	0	0	0	10,789	479	524	2	0
償還金償還額	676,082	588,841	753,779	746,466	720,024	734,955	550,528	571,589
長期貸付金等	15,850	21,300	16,653	13,600	14,800	7,200	1,265	3,000
資本的支出合計	1,586,427	793,255	880,653	861,428	852,585	1,236,006	1,157,630	1,328,494

#### ●こころの医療センター駒ヶ根

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
資本的収入								
企業債	587,700	1,500	16,500	1,200	47,595	5,372	5,689	221,657
国庫(県)補助金	37,826	140	4,339	0	833	238	0	0
不要資産売却収入	0	0	0	0	0	0	3,000	0
その他(長期貸付返還金)	0	0	0	0	1,200	0	1,800	128
資本的収入合計	625,526	1,640	20,839	1,200	49,628	5,610	10,489	221,785

#### 資本的支出

建設工事費	359,458	0	0	0	0	0	0	0
建設改良工事費	6,300	0	0	0	0	0	0	6,310
医療器械購入費	157,653	1,301	19,176	968	40,464	5,903	4,403	215,357
備品購入費	556	247	832	325	1,966	0	2,029	0
車両購入費	0	1,579	884	0	6,167	0	5,108	0
ソフトウェア購入費	0	0	0	0	0	0	0	116
償還金償還額	16,220	35,106	69,356	144,666	164,945	182,289	165,105	168,280
長期貸付金等	600	3,602	3,516	2,155	715	340	0	0
資本的支出合計	540,788	41,836	93,765	148,113	214,257	188,532	176,645	390,064

●阿南病院

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
資本的收入								
企業債	197,200	852,600	1,281,500	35,700	36,972	54,251	46,475	105,476
国庫(県)補助金	0	394,070	9,056	0	0	0	997	0
不要資産売却収入	0	0	0	0	32	0	0	0
その他(長期貸付返還金)	0	960	960	2,400	0	2,400	1,500	0
資本的收入合計	197,200	1,247,630	1,291,516	38,100	37,004	56,651	48,972	105,476
資本の支出								
建設工事費	134,733	1,207,456	827,878	0	0	0	0	0
建設改良工事費	5,002	16,212	56,006	14,776	4,347	4,093	16,524	4,968
医療器械購入費	37,885	20,211	348,171	21,160	23,079	47,603	30,953	100,465
備品購入費	1,969	3,038	21,310	0	8,492	2,970	421	489
車両購入費	0	0	0	0	1,306	0	0	0
ソフトウェア購入費	0	0	0	0	0	0	0	0
償還金償還額	131,712	137,234	128,535	80,886	158,394	182,811	225,131	241,319
長期貸付金等	4,800	2,400	4,320	4,440	5,040	3,240	1,860	600
資本の支出合計	316,102	1,386,552	1,386,218	121,263	200,657	240,718	274,889	347,841

●木曾病院

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
資本的收入								
企業債	146,800	132,100	244,000	574,000	179,389	275,416	56,247	29,615
国庫(県)補助金	4,203	14,546	70,349	49,412	11,332	11,289	3,695	1,239
不要資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(長期貸付返還金)	0	900	4,320	6,960	0	2,280	480	0
資本的收入合計	151,003	147,546	318,669	630,372	190,721	288,985	60,422	30,854
資本の支出								
建設工事費	0	0	0	0	0	0	0	0
建設改良工事費	52,400	59,500	35,680	132,192	48,362	163,942	0	4,212
医療器械購入費	97,883	80,321	258,818	489,008	137,249	119,280	59,660	24,758
備品購入費	860	7,040	8,968	907	1,382	2,431	1,200	258
車両購入費	0	1,148	7,102	0	0	1,060	0	1,469
ソフトウェア購入費	0	0	0	0	0	0	0	0
償還金償還額	421,837	393,008	405,582	414,451	445,648	517,710	526,204	555,028
長期貸付金等	15,460	15,180	15,960	8,820	5,940	7,680	6,720	7,320
資本の支出合計	588,440	556,196	732,110	1,045,378	638,581	812,102	593,784	593,044



●こども病院

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
資本的収入								
企業債	294,100	459,100	389,200	142,100	381,952	1,170,145	356,432	282,298
国庫(県)補助金	13,199	7,805	10,669	0	0	130,161	74,941	0
不要資産売却収入	0	0	0	0	470	20,488	57,429	1,377
その他(長期貸付返還金)	300	600	1,500	2,700	3,900	4,500	2,400	204
資本的収入合計	307,599	467,505	401,369	144,800	386,322	1,325,294	491,202	283,879
資本的支出								
建設工事費	0	0	0	0	0	0	0	0
建設改良工事費	12,732	33,406	28,136	0	190,591	370,886	211,863	13,748
医療器械購入費	259,092	419,328	357,774	140,546	191,521	936,395	210,590	272,942
備品購入費	32,099	14,650	8,468	1,602	0	0	1,689	227
車両購入費	0	0	10,301	0	0	387	50,220	1,150
ソフトウェア購入費	3,444	173	8,652	0	0	0	0	0
償還金償還額	768,569	855,036	820,139	859,833	910,576	884,002	875,499	985,795
長期貸付金等	13,500	16,800	16,500	10,500	4,500	900	0	0
資本的支出合計	1,089,436	1,339,393	1,249,969	1,012,481	1,297,188	2,192,570	1,349,862	1,273,862

●阿南介護老人保健施設

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
資本的収入								
企業債	2,100	7,100	7,900	3,900	1,436	12,598	1,900	2,100
国庫(県)補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
不要資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(長期貸付返還金)	0	0	0	0	0	0	0	0
資本的収入合計	2,100	7,100	7,900	3,900	1,436	12,598	1,900	2,100
資本的支出								
建設工事費	0	0	0	0	0	0	0	0
建設改良工事費	0	4,830	6,502	2,095	0	10,638	0	0
医療器械購入費	2,108	2,328	1,469	1,937	1,436	1,998	1,967	2,106
備品購入費	0	0	0	0	0	0	0	0
車両購入費	0	0	0	0	0	0	0	0
ソフトウェア購入費	0	0	0	0	0	0	0	0
償還金償還額	44,040	46,146	48,363	52,428	54,620	56,912	59,250	61,396
長期貸付金等	0	0	0	0	0	0	0	0
資本的支出合計	46,149	53,304	56,333	56,461	56,056	69,548	61,217	63,502

●木曾介護老人保健施設

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
資本的收入								
企業債	1,400	16,000	21,400	3,500	928	0	0	1,300
国庫(県)補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
不要資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(長期貸付返還金)	0	0	0	0	0	0	0	0
資本的收入合計	1,400	16,000	21,400	3,500	928	0	0	1,300
資本の支出								
建設工事費	0	0	0	0	0	0	0	0
建設改良工事費	0	16,045	20,288	3,590	0	0	0	1,350
医療器械購入費	1,428	0	1,241	0	929	907	0	0
備品購入費	0	0	0	0	0	0	0	0
車両購入費	0	0	0	0	0	0	0	0
ソフトウェア購入費	0	0	0	0	0	0	0	0
償還金償還額	30,399	31,822	33,662	35,222	37,155	43,482	45,174	47,351
長期貸付金等	0	0	0	0	0	0	0	0
資本の支出合計	31,827	47,867	55,192	38,812	38,084	44,389	45,174	48,701

●信州木曾看護専門学校

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
資本的收入								
企業債	0	0	0	300	297	0	0	0
国庫(県)補助金	0	0	0	35,725	8,896	0	0	0
不要資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(長期貸付返還金)	0	0	0	0	0	0	0	0
資本的收入合計	0	0	0	36,025	9,193	0	0	0
資本の支出								
建設工事費	0	0	0	0	0	0	0	0
建設改良工事費	0	0	0	39,360	10,945	0	0	0
医療器械購入費	0	0	0	336	0	0	0	0
備品購入費	0	0	0	0	298	0	0	0
車両購入費	0	0	0	0	0	0	0	0
ソフトウェア購入費	0	0	0	0	0	0	0	0
償還金償還額	0	0	0	0	0	75	149	149
長期貸付金等	0	0	0	0	0	0	0	0
資本の支出合計	0	0	0	39,696	11,243	75	149	149



●本部

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
資本的収入								
企業債	10,800	5,300	20,100	19,000	1,579	10,775	47,380	22,588
国庫(県)補助金	5,401	2,685	100,974	0	0	0	0	0
不要資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(長期貸付返還金)	0	9	0	0	0	0	0	0
資本的収入合計	16,201	7,994	121,074	19,000	1,579	10,775	47,380	22,588
資本的支出								
建設工事費	0	0	0	0	0	0	0	0
建設改良工事費	0	0	77,103	19,008	0	0	16,203	0
医療器械購入費	0	0	0	0	0	0	0	0
備品購入費	16,638	8,058	41,083	0	1,705	9,828	31,212	22,825
車両購入費	0	0	11,294	0	0	1,698	0	1,887
ソフトウェア購入費	0	0	0	0	0	1,188	0	0
償還金償還額	9,025	10,418	13,118	14,443	10,443	13,800	11,495	12,864
長期貸付金等	0	0	0	0	0	0	0	0
資本的支出合計	25,663	18,476	142,598	33,451	12,148	26,514	58,910	37,576

●機構全体

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
資本的収入								
企業債	2,134,100	1,653,500	2,090,600	879,600	767,500	1,982,400	1,081,600	1,322,100
国庫(県)補助金	60,629	419,246	195,387	85,557	21,455	180,618	117,504	1,239
不要資産売却収入	0	0	0	0	502	20,488	61,017	91,377
その他(長期貸付返還金)	600	4,569	7,380	13,260	8,700	13,980	7,980	332
資本的収入合計	2,195,329	2,077,315	2,293,367	978,417	798,157	2,197,486	1,268,101	1,415,048
資本的支出								
建設工事費	494,192	1,207,456	827,878	0	0	0	0	0
建設改良工事費	91,281	147,917	228,669	211,021	254,245	828,000	662,269	88,828
医療器械購入費	1,416,234	681,228	1,070,562	741,241	510,430	1,326,716	489,452	1,307,140
備品購入費	70,718	38,087	99,567	4,860	14,190	15,485	41,328	25,408
車両購入費	868	5,126	32,028	1,261	8,656	3,146	56,826	7,051
ソフトウェア購入費	3,444	173	8,652	10,789	479	1,712	2	116
償還金償還額	2,097,885	2,097,612	2,272,534	2,348,395	2,501,806	2,616,036	2,458,536	2,643,771
長期貸付金等	50,210	59,282	56,949	39,515	30,995	19,360	9,845	10,920
資本的支出合計	4,224,831	4,236,881	4,596,838	3,357,082	3,320,800	4,810,455	3,718,259	4,083,233



## 4 損益の推移

### ●信州医療センター

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
経常収益	6,047,878	6,157,473	6,278,977	6,054,121	6,593,766	6,465,556	6,568,626	6,810,706
特別利益	0	0	0	0	0	0	30	43,064
収入計	6,047,878	6,157,473	6,278,977	6,054,121	6,593,766	6,465,556	6,568,656	6,853,771
経常費用	6,292,484	6,116,783	6,192,402	6,185,680	6,502,396	6,458,408	6,670,987	6,678,365
臨時損失	0	585	0	0	0	0	6,988	41,271
支出計	6,292,484	6,117,368	6,192,402	6,185,680	6,502,396	6,458,408	6,677,975	6,719,636
経常損益	▲244,606	40,690	86,574	▲131,559	91,371	7,148	▲102,361	132,341
経常損益累積	▲69,427	▲28,737	57,837	▲73,722	17,649	24,797	▲77,564	54,777
純損益	▲244,606	40,105	86,574	▲131,559	91,371	7,148	▲109,319	134,134
純損益累積	▲69,405	▲29,300	57,274	▲74,285	17,086	24,234	▲85,085	49,049
現金収支	▲187,785	86,995	▲29,284	▲204,154	86,583	▲51,072	▲3,011	52,504
現金収支累積	▲178,678	▲91,683	▲120,967	▲325,120	▲238,537	▲289,609	▲292,620	▲240,115

### ●こころの医療センター駒ヶ根

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
経常収益	1,778,883	1,839,273	1,894,266	2,044,368	1,979,873	1,934,035	2,000,712	1,987,337
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0
収入計	1,778,883	1,839,273	1,894,266	2,044,368	1,979,873	1,934,035	2,000,712	1,987,337
経常費用	1,863,592	1,942,488	1,965,704	2,063,120	1,943,513	1,975,141	1,975,527	2,021,044
臨時損失	113,726	12,592	19,241	0	0	0	0	130
支出計	1,977,319	1,955,080	1,984,945	2,063,120	1,943,513	1,975,141	1,975,527	2,021,174
経常損益	▲84,710	▲103,215	▲71,437	▲18,751	36,360	▲41,106	25,185	▲33,708
経常損益累積	▲3,013	▲106,228	▲177,665	▲196,417	▲160,057	▲201,162	▲175,977	▲209,685
純損益	▲198,436	▲115,807	▲90,679	▲18,751	36,360	▲41,106	25,185	▲33,837
純損益累積	▲310,463	▲426,270	▲516,948	▲535,700	▲499,340	▲540,445	▲515,260	▲549,097
現金収支	▲117,901	67,657	▲179	▲25,921	53,721	▲76,650	▲8,815	▲51,787
現金収支累積	▲65,867	1,790	1,610	▲24,311	29,410	▲47,240	▲56,054	▲107,841

### ●阿南病院

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
経常収益	1,672,490	1,585,181	1,563,188	1,477,758	1,716,743	1,783,312	1,851,682	1,795,555
特別利益	0	24,000	7,450	0	0	0	0	0
収入計	1,672,490	1,609,181	1,570,638	1,477,758	1,716,743	1,783,312	1,851,682	1,795,555
経常費用	1,659,030	1,601,200	1,684,133	1,654,310	1,632,226	1,623,226	1,643,957	1,623,273
臨時損失	161,418	275,509	41,356	0	0	0	0	1,455
支出計	1,820,448	1,876,709	1,725,489	1,654,310	1,632,226	1,623,226	1,643,957	1,624,728
経常損益	13,459	▲16,019	▲120,945	▲176,552	84,517	160,086	207,725	172,282
経常損益累積	66,334	50,315	▲70,630	▲247,182	▲162,665	▲2,579	205,147	377,428
純損益	▲147,958	▲267,529	▲154,851	▲176,552	84,517	160,086	207,725	170,827
純損益累積	▲95,084	▲362,612	▲517,463	▲694,015	▲609,498	▲449,412	▲241,686	▲70,859
現金収支	▲35,937	54,468	▲74,642	43,025	173,570	178,403	145,769	113,757
現金収支累積	▲41,491	12,976	▲61,665	▲18,641	154,929	333,332	479,101	592,858



●木曽病院

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
経常収益	4,339,904	4,337,902	4,439,172	4,358,267	4,679,694	4,437,820	4,193,105	4,242,095
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0
収入計	4,339,904	4,337,902	4,439,172	4,358,267	4,679,694	4,437,820	4,193,105	4,242,095
経常費用	4,202,434	4,221,539	4,236,214	4,269,813	4,654,387	4,476,410	4,254,060	4,157,571
臨時損失	0	0	7,347	3,330	3,893	0	0	3
支出計	4,202,434	4,221,539	4,243,561	4,273,143	4,658,280	4,476,410	4,254,060	4,157,573
経常損益	137,470	116,363	202,957	88,454	25,306	▲38,590	▲60,955	84,524
経常損益累積	356,702	473,065	676,022	764,476	789,782	751,192	690,237	774,761
純損益	137,470	116,363	195,610	85,124	21,414	▲38,590	▲60,955	84,521
純損益累積	346,660	463,023	658,633	743,757	765,170	726,581	665,625	750,147
現金収支	92,021	60,571	67,677	28,895	25,621	▲141,966	▲199,572	▲184,520
現金収支累積	153,834	214,405	282,082	310,977	336,598	194,632	▲4,940	▲189,460

●こども病院

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
経常収益	7,097,303	7,511,822	7,625,324	7,888,221	7,595,542	7,826,665	7,933,486	8,301,002
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	159
収入計	7,097,303	7,511,822	7,625,324	7,888,221	7,595,542	7,826,665	7,933,486	8,301,162
経常費用	6,940,015	7,177,547	7,589,699	7,591,319	7,529,969	7,820,282	7,796,334	7,927,275
臨時損失	0	0	0	0	0	0	0	596
支出計	6,940,015	7,177,547	7,589,699	7,591,319	7,529,969	7,820,282	7,796,334	7,927,871
経常損益	157,288	334,275	35,625	296,902	65,573	6,382	137,152	373,728
経常損益累積	362,666	696,941	732,566	1,029,468	1,095,040	1,101,423	1,238,575	1,612,303
純損益	157,288	334,275	35,625	296,902	65,573	6,382	137,152	373,291
純損益累積	362,666	696,941	732,566	1,029,468	1,095,040	1,101,423	1,238,575	1,611,866
現金収支	294,114	371,347	181,204	409,754	72,648	71,197	74,175	186,912
現金収支累積	556,005	927,352	1,108,556	1,518,309	1,590,957	1,662,154	1,736,329	1,923,241

●阿南介護老人保健施設

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
経常収益	272,402	260,508	244,503	248,584	246,762	239,127	230,794	225,714
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0
収入計	272,402	260,508	244,503	248,584	246,762	239,127	230,794	225,714
経常費用	266,778	249,805	236,446	243,901	248,135	238,977	233,679	225,212
臨時損失	0	0	0	0	0	0	0	0
支出計	266,778	249,805	236,446	243,901	248,135	238,977	233,679	225,212
経常損益	5,624	10,703	8,058	4,682	▲1,373	150	▲2,886	502
経常損益累積	9,053	19,755	27,813	32,495	31,122	31,272	28,386	28,888
純損益	5,624	10,703	8,058	4,682	▲1,373	150	▲2,886	502
純損益累積	9,053	19,755	27,813	32,495	31,122	31,272	28,386	28,888
現金収支	5,329	▲52,725	▲48,029	▲18,566	▲44,226	▲24,315	▲23,331	▲27,709
現金収支累積	6,385	▲46,340	▲94,369	▲112,934	▲157,160	▲181,475	▲204,805	▲232,515

●木曾介護老人保健施設

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
経常収益	261,140	253,000	261,434	256,993	235,075	240,500	255,144	244,733
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0
収入計	261,140	253,000	261,434	256,993	235,075	240,500	255,144	244,733
経常費用	263,665	233,763	242,115	245,297	233,443	246,846	229,842	235,124
臨時損失	0	0	0	0	0	0	0	0
支出計	263,665	233,763	242,115	245,297	233,443	246,846	229,842	235,124
経常損益	▲2,525	19,237	19,318	11,696	1,632	▲6,346	25,302	9,609
経常損益累積	365	19,602	38,920	50,616	52,249	45,902	71,204	80,813
純損益	▲2,525	19,237	19,318	11,696	1,632	▲6,346	25,302	9,609
純損益累積	365	19,602	38,920	50,616	52,249	45,902	71,204	80,813
現金収支	▲28,438	11,522	16,483	13,722	▲9,114	▲42,594	▲383	▲17,116
現金収支累積	▲21,874	▲10,352	6,131	19,854	10,740	▲31,854	▲32,237	▲49,353

●信州木曾看護専門学校

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
経常収益	0	0	0	94,945	124,803	132,087	133,621	131,598
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0
収入計	0	0	0	94,945	124,803	132,087	133,621	131,598
経常費用	0	0	0	120,712	141,483	158,118	160,459	156,188
臨時損失	0	0	0	0	0	0	0	0
支出計	0	0	0	120,712	141,483	158,118	160,459	156,188
経常損益	0	0	0	▲25,767	▲16,680	▲26,031	▲26,838	▲24,590
経常損益累積	0	0	0	▲25,767	▲42,447	▲68,478	▲95,317	▲119,907
純損益	0	0	0	▲25,767	▲16,680	▲26,031	▲26,838	▲24,590
純損益累積	0	0	0	▲25,767	▲42,447	▲68,478	▲95,317	▲119,907
現金収支	0	0	0	10,293	▲11,060	▲15,166	▲20,382	▲31,930
現金収支累積	0	0	0	10,293	▲767	▲15,932	▲36,315	▲68,245

●本部

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
経常収益	279,300	279,923	226,260	182,300	49,714	35,410	33,621	24,303
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0
収入計	279,300	279,923	226,260	182,300	49,714	35,410	33,621	24,303
経常費用	321,528	349,208	372,818	300,961	299,846	360,902	359,446	321,624
臨時損失	0	0	0	0	0	0	0	382
支出計	321,528	349,208	372,818	300,961	299,846	360,902	359,446	322,006
経常損益	▲42,228	▲69,286	▲146,558	▲118,660	▲250,131	▲325,492	▲325,826	▲297,321
経常損益累積	▲180,125	▲249,410	▲395,968	▲514,628	▲764,760	▲1,090,251	▲1,416,077	▲1,713,398
純損益	▲42,228	▲69,286	▲146,558	▲118,660	▲250,131	▲325,492	▲325,826	▲297,703
純損益累積	▲180,125	▲249,410	▲395,968	▲514,628	▲764,760	▲1,090,251	▲1,416,077	▲1,713,780
現金収支	▲46,245	▲75,482	▲134,453	▲103,514	▲258,720	▲320,336	▲310,378	▲277,733
現金収支累積	▲182,929	▲258,411	▲392,864	▲496,377	▲755,097	▲1,075,433	▲1,385,811	▲1,663,543



●機構全体

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
経常収益	21,749,301	22,225,082	22,533,124	22,605,557	23,221,972	23,094,512	23,200,791	23,763,042
特別利益	0	24,000	7,450	0	0	0	30	43,224
収入計	21,749,301	22,249,082	22,540,574	22,605,557	23,221,972	23,094,512	23,200,821	23,806,266
経常費用	21,809,528	21,892,334	22,519,532	22,675,112	23,185,397	23,358,311	23,324,292	23,345,675
臨時損失	275,144	288,686	67,944	3,330	3,893	0	6,988	43,836
支出計	22,084,672	22,181,021	22,587,476	22,678,442	23,189,290	23,358,311	23,331,280	23,389,512
経常損益	▲60,227	332,748	13,592	▲69,555	36,575	▲263,799	▲123,501	417,367
経常損益累積	542,555	875,302	888,895	819,339	855,914	592,115	468,615	885,982
純損益	▲335,371	68,061	▲46,902	▲72,885	32,682	▲263,799	▲130,458	416,755
純損益累積	63,667	131,728	84,826	11,941	44,623	▲219,176	▲349,634	67,120
現金収支	▲24,843	524,354	▲21,223	153,535	89,023	▲422,499	▲345,927	▲237,622
現金収支累積	225,384	749,738	728,515	882,051	971,074	548,575	202,648	▲34,974

## 5 運営費負担金の推移

### ●信州医療センター

(単位：千円)

			平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
法第 85 条第 1 項第 1 号経費	看護学校	看護教員等養成経費	610	610	610	0	0	0	0	
		講義等補充職員経費	15,068	15,068	15,068	26,739	26,739	26,739	26,739	
		看護学生臨床実習指導経費								
		看護師養成所経費	0	0	0	0	0	0	0	
	救急医療	診療時間外救急患者経費								
		医療技術者等当直待機経費	81,316	81,316	81,316	108,171	108,171	108,171	108,171	
		救急患者用空床確保経費								
	保健衛生	へき地訪問看護運営経費	0	0	0	0	0	0	0	
		医療相談等保健衛生経費	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
	その他	防災対策経費	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	
		小児医療の後期臨床医受入経費	0	0	0	0	0	0	0	
		基礎年金拠出金公的負担経費	45,758	45,758	45,758	27,626	32,476	75,177	85,403	
		病院機構本部経費	0	0	0	0	0	0	0	
	小 計			147,752	147,752	147,752	167,536	172,386	215,087	225,313
同第 2 号経費	高度特殊医療	リハビリテーション運営費	24,289	24,289	24,289	28,567	28,567	28,567	28,567	
		小児部門運営経費	29,008	29,008	29,008	16,800	16,800	16,800	16,800	
		新生児特定集中治療室運営費	16,892	16,892	16,892	21,804	21,804	21,804	21,804	
		結核病院運営	109,896	109,896	109,896	140,256	140,256	140,256	140,256	
		ICU運営費	97,664	97,664	97,664	105,200	105,200	105,200	105,200	
		看護師配置増高経費	0	0	0	0	0	0	0	
		特殊医療機器維持経費	0	0	0	0	0	0	0	
	精神	精神病院運営経費	0	0	0	0	0	0	0	
		児童思春期病棟運営経費	0	0	0	0	0	0	0	
		看護師配置増高経費	0	0	0	0	0	0	0	
		移転経費+初度備品等費用	0	0	0	0	0	0	0	
	不採算	不採算部門増こう経費	0	0	0	0	0	0	0	
		阿南病院入院単価措置	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	医師等の研究研修費	7,500	10,500	19,273	7,500	7,500	7,500	13,209	
		医師確保対策経費	54,610	54,610	54,610	50,132	50,132	50,132	50,132	
		電子カルテ導入増高経費	49,500	49,500	49,500	49,500	49,500	0	0	
		企業債利息	164,871	156,365	147,873	139,976	131,751	124,270	116,870	
	資本的収入	企業債元金	356,373	440,004	437,609	425,600	434,299	343,345	355,159	
	小 計			910,603	988,728	986,614	985,335	985,809	837,874	847,997
合 計			1,058,355	1,136,480	1,134,366	1,152,871	1,158,195	1,052,961	1,073,310	



●こころの医療センター駒ヶ根

(単位：千円)

			平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
法第 85 条第 1 項第 1 号経費	看護学校	看護教員等養成経費	506	506	506	0	0	0	0	
		講義等補充職員経費	13,528	13,528	13,528	12,168	12,168	12,168	12,168	
		看護学生臨床実習指導経費								
		看護師養成所経費	0	0	0	0	0	0	0	
	救急医療	診療時間外救急患者経費								
		医療技術者等当直待機経費	0	0	0	0	0	0	0	
		救急患者用空床確保経費								
	保健衛生	へき地訪問看護運営経費	0	0	0	0	0	0	0	
		医療相談等保健衛生経費	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	
	その他	防災対策経費	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
		小児医療の後期臨床医受入経費	0	0	0	0	0	0	0	
		基礎年金拠出金公的負担経費	20,647	20,647	20,647	10,731	24,699	36,391	33,786	
		病院機構本部経費	0	0	0	0	0	0	0	
	小 計			36,931	36,931	36,931	25,149	39,117	50,809	48,204
同第 2 号経費	高度特殊医療	リハビリテーション運営費	13,314	13,314	13,314	21,587	21,587	21,587	21,587	
		小児部門運営経費	0	0	0	0	0	0	0	
		新生児特定集中治療室運営費	0	0	0	0	0	0	0	
		結核病院運営	0	0	0	0	0	0	0	
		ICU運営費	0	0	0	0	0	0	0	
		看護師配置増高経費	0	0	0	0	0	0	0	
		特殊医療機器維持経費	0	0	0	0	0	0	0	
	精神	精神病院運営経費	252,642	252,642	252,642	295,815	295,815	295,815	295,815	
		児童思春期病棟運営経費	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	
		看護師配置増高経費	0	0	0	0	0	0	0	
		移転経費+初度備品等費用	0	0	0	0	0	0	0	
	不採算	不採算部門増こう経費	0	0	0	0	0	0	0	
		阿南病院入院単価措置	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	医師等の研究研修費	4,500	9,338	7,500	4,500	4,500	4,500	5,625	
		医師確保対策経費	12,700	12,700	12,700	39,445	39,445	39,445	39,445	
		電子カルテ導入増高経費	18,000	18,000	18,000	18,000	0	0	0	
		企業債利息	47,024	46,864	46,431	45,151	43,555	41,438	39,227	
	資本的収入	企業債元金	17,552	34,677	72,331	82,472	91,145	82,552	84,140	
	小 計			455,732	477,535	512,918	596,970	586,047	575,337	575,839
	合 計			492,663	514,466	549,849	622,119	625,164	626,146	624,043

●阿南病院

(単位：千円)

			平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
法第 85 条第 1 項第 1 号経費	看護学校	看護教員等養成経費	0	0	0	0	0	0	0	
		講義等補充職員経費	0	0	0	0	0	0	0	
		看護学生臨床実習指導経費	0	0	0	0	0	0	0	
		看護師養成所経費	0	0	0	0	0	0	0	
	救急医療	診療時間外救急患者経費								
		医療技術者等当直待機経費	81,316	81,316	81,316	108,171	108,171	108,171	108,171	
		救急患者用空床確保経費								
	保健衛生	へき地訪問看護運営経費	2,027	2,027	2,027	1,515	1,515	1,515	1,515	
		医療相談等保健衛生経費	500	500	500	500	500	500	500	
	その他	防災対策経費	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
		小児医療の後期臨床医受入経費	0	0	0	0	0	0	0	
		基礎年金拠出金公的負担経費	21,522	21,522	21,522	3,599	1,000	16,644	20,334	
		病院機構本部経費	0	0	0	0	0	0	0	
	小 計			106,365	106,365	106,365	114,785	112,186	127,830	131,520
同第 2 号経費	高度特殊医療	リハビリテーション運営費	9,158	9,158	9,158	13,373	13,373	13,373	13,373	
		小児部門運営経費	8,288	8,288	8,288	0	0	0	0	
		新生児特定集中治療室運営費	0	0	0	0	0	0	0	
		結核病院運営	0	0	0	0	0	0	0	
		ICU運営費	0	0	0	0	0	0	0	
		看護師配置増高経費	0	0	0	0	0	0	0	
		特殊医療機器維持経費	0	0	0	0	0	0	0	
	精神	精神病院運営経費	0	0	0	0	0	0	0	
		児童思春期病棟運営経費	0	0	0	0	0	0	0	
		看護師配置増高経費	0	0	0	0	0	0	0	
		移転経費+初度備品等費用	0	0	0	0	0	0	0	
	不採算	不採算部門増こう経費	319,048	319,048	319,048	165,155	165,155	165,155	165,155	
		阿南病院入院単価措置	0	0	0	352,838	352,838	352,838	352,838	
	その他	医師等の研究研修費	3,000	6,000	6,000	3,000	3,000	3,000	4,056	
		医師確保対策経費	11,430	11,430	11,430	36,695	36,695	36,695	36,695	
		電子カルテ導入増高経費	0	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000	0	
		企業債利息	5,220	9,484	13,628	11,697	12,720	10,738	11,576	
	資本的収入	企業債元金	69,467	64,452	40,637	80,058	91,621	112,792	123,339	
	小 計			425,611	454,860	435,189	689,816	702,402	721,591	707,032
	合 計			531,976	561,225	541,554	804,601	814,588	849,421	838,552



●木曽病院

(単位：千円)

			平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
法第 85 条第 1 項第 1 号経費	看護学校	看護教員等養成経費	279	279	279	0	0	0	0	
		講義等補充職員経費	18,244	18,244	18,244	0	0	0	0	
		看護学生臨床実習指導経費								
		看護師養成所経費	0	0	0	0	0	0	0	
	救急医療	診療時間外救急患者経費								
		医療技術者等当直待機経費	81,316	81,316	81,316	108,171	108,171	108,171	108,171	
		救急患者用空床確保経費								
	保健衛生	へき地訪問看護運営経費	2,027	2,027	2,027	1,515	1,515	1,515	1,515	
		医療相談等保健衛生経費	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	
	その他	防災対策経費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
		小児医療の後期臨床医受入経費	0	0	0	0	0	0	0	
		基礎年金拠出金公的負担経費	36,264	36,264	36,264	37,630	32,981	48,435	54,120	
		病院機構本部経費	0	0	0	0	0	0	0	
	小 計			144,380	144,380	144,380	153,566	148,917	164,371	170,056
同第 2 号経費	高度特殊医療	リハビリテーション運営費	23,316	23,316	23,316	29,876	29,876	29,876	29,876	
		小児部門運営経費	26,936	26,936	26,936	21,840	21,840	21,840	21,840	
		新生児特定集中治療室運営費	8,446	8,446	8,446	10,902	10,902	10,902	10,902	
		結核病院運営	0	0	0	0	0	0	0	
		ICU運営費	48,832	48,832	48,832	52,600	52,600	52,600	52,600	
		看護師配置増高経費	0	0	0	0	0	0	0	
		特殊医療機器維持経費	0	0	0	0	0	0	0	
	精神	精神病院運営経費	0	0	0	0	0	0	0	
		児童思春期病棟運営経費	0	0	0	0	0	0	0	
		看護師配置増高経費	0	0	0	0	0	0	0	
		移転経費+初度備品等費用	0	0	0	0	0	0	0	
	不採算	不採算部門増こう経費	164,000	164,000	164,000	260,362	260,362	260,362	260,362	
		阿南病院入院単価措置	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	医師等の研究研修費	7,000	7,000	10,000	7,000	7,000	7,000	7,149	
		医師確保対策経費	22,860	22,860	22,860	43,007	43,007	43,007	43,007	
		電子カルテ導入増高経費	0	0	0	0	0	0	0	
		企業債利息	124,940	114,109	105,993	91,701	79,395	66,971	54,323	
	資本的収入	企業債元金	229,197	237,103	243,242	261,801	300,345	305,004	319,681	
	小 計			655,527	652,602	653,625	779,089	805,327	797,562	799,740
	合 計			799,907	796,982	798,005	932,655	954,244	961,933	969,796



●こども病院

(単位：千円)

			平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
法第 85 条第 1 項第 1 号経費	看護学校	看護教員等養成経費	0	0	0	0	0	0	0	
		講義等補充職員経費	5,416	5,416	5,416	8,347	8,347	8,347	8,347	
		看護学生臨床実習指導経費								
		看護師養成所経費	0	0	0	0	0	0	0	
	救急医療	診療時間外救急患者経費								
		医療技術者等当直待機経費	14,816	14,816	14,816	17,368	17,368	17,368	17,368	
		救急患者用空床確保経費								
	保健衛生	へき地訪問看護運営経費	0	0	0	0	0	0	0	
		医療相談等保健衛生経費	500	500	500	500	500	500	500	
	その他	防災対策経費	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
		小児医療の後期臨床医受入経費	10,000	10,000	10,000					
		基礎年金拠出金公的負担経費	47,825	47,825	47,825	103,902	95,057	106,637	102,921	
		病院機構本部経費	0	0	0	0	0	0	0	
	小 計			80,557	80,557	80,557	132,117	123,272	134,852	131,136
同第 2 号経費	高度特殊医療	リハビリテーション運営費	20,107	20,107	20,107	15,317	15,317	15,317	15,317	
		小児部門運営経費	281,792	281,792	281,792	203,280	203,280	203,280	203,280	
		新生児特定集中治療室運営費	190,035	190,035	190,035	220,776	220,776	220,776	220,776	
		結核病院運営	0	0	0	0	0	0	0	
		ICU運営費	170,912	170,912	170,912	184,100	184,100	236,700	215,660	
		看護師配置増高経費	233,680	233,680	233,680	191,648	191,648	203,104	187,744	
		特殊医療機器維持経費	29,404	29,404	29,404	0	0	0	0	
	精神	精神病院運営経費	0	0	0	0	0	0	0	
		児童思春期病棟運営経費	0	0	0	0	0	0	0	
		看護師配置増高経費	0	0	0	0	0	0	0	
		移転経費+初度備品等費用	0	0	0	0	0	0	0	
	不採算	不採算部門増こう経費	0	0	0	0	0	0	0	
		阿南病院入院単価措置	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	医師等の研究研修費	11,000	14,225	17,657	11,000	11,000	11,000	16,347	
		医師確保対策経費	67,310	67,310	67,310	42,632	42,632	42,632	42,632	
		電子カルテ導入増高経費	0	0	0	0	0	0	0	
		企業債利息	247,398	229,831	212,470	195,018	176,593	159,173	140,549	
	資本的収入	企業債元金	510,403	495,610	518,216	546,964	536,943	535,157	587,578	
	小 計			1,762,041	1,732,906	1,741,583	1,610,735	1,582,289	1,627,139	1,629,883
	合 計			1,842,598	1,813,463	1,822,140	1,742,852	1,705,561	1,761,991	1,761,019



●阿南介護老人保健施設

(単位：千円)

			平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
平成 25 年度	法第 85 条第 1 項 経費	その他 基礎年金拠出金公的負担経費	0	0	0	3,283	3,024	3,335	3,754
		小 計	0	0	0	3,283	3,024	3,335	3,754
同第 2 回分経費	その他	企業債利息	24,275	22,610	20,870	19,187	17,286	15,326	13,282
	資本的収入	企業債元金	30,447	32,075	34,399	35,799	37,260	38,755	40,166
	小 計		54,722	54,685	55,269	54,986	54,546	54,081	53,448
合 計			54,722	54,685	55,269	58,269	57,570	57,416	57,202

●木曾介護老人保健施設

(単位：千円)

			平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
平成 25 年度	法第 85 条第 1 項 経費	その他 基礎年金拠出金公的負担経費	0	0	0	3,757	3,728	3,817	3,754
		小 計	0	0	0	3,757	3,728	3,817	3,754
同第 2 回分経費	その他	企業債利息	25,046	23,625	22,090	20,598	18,885	17,084	15,200
	資本的収入	企業債元金	21,214	22,383	23,423	24,662	28,110	29,254	30,655
	小 計		46,260	46,008	45,513	45,260	46,995	46,338	45,855
合 計			46,260	46,008	45,513	49,017	50,723	50,155	49,609

●信州木曾看護専門学校

(単位：千円)

			平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
平成 25 年度	法第 85 条第 1 項 経費	看護学校 看護師養成所経費			72,201	91,134	91,134	91,134	91,134
		その他 基礎年金拠出金公的負担経費			0	2,307	1,385	3,787	2,503
		小 計			72,201	93,441	92,519	94,921	93,637
同第 2 回分経費	その他	企業債利息			0	0	0	0	0
	資本的収入	企業債元金			0	0	38	75	75
	小 計			0	0	38	75	75	
合 計					72,201	93,441	92,557	94,996	93,712

●本部

(単位：千円)

			平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
平成 25 年度	法第 85 条第 1 項 経費	その他 基礎年金拠出金公的負担経費	3,530	3,530	3,530	5,514	1,076	5,814	6,256
		病院機構本部経費	230,496	146,439	135,796	0	0	0	0
		小 計	234,026	149,969	139,326	5,514	1,076	5,814	6,256
同第 2 回分経費	その他	医師等の研究研修費	34,086	20,023	6,656	13,386	13,386	13,386	0
		企業債利息	199	141	101	53	36	33	69
	資本的収入	企業債元金	5,208	6,558	7,221	5,222	6,900	5,748	6,432
	小 計	39,493	26,722	13,978	18,661	20,322	19,167	6,501	
合 計			273,519	176,691	153,304	24,175	21,398	24,981	12,757

●機構全体

(単位：千円)

			平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
法第 85 条第 1 項第 1 号経費	看護学校	看護教員等養成経費	1,395	1,395	1,395	0	0	0	0	
		講義等補充職員経費	52,256	52,256	52,256	47,254	47,254	47,254	47,254	
		看護学生臨床実習指導経費								
		看護師養成所経費	0	0	72,201	91,134	91,134	91,134	91,134	
	救急医療	診療時間外救急患者経費	258,764	258,764	258,764	341,881	341,881	341,881	341,881	
		医療技術者等当直待機経費								
		救急患者用空床確保経費								
	保健衛生	へき地訪問看護運営経費	4,054	4,054	4,054	3,030	3,030	3,030	3,030	
		医療相談等保健衛生経費	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	
	その他	防災対策経費	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	
		小児医療の後期臨床医受入経費	10,000	10,000	10,000	0	0	0	0	
		基礎年金拠出金公的負担経費	175,546	175,546	175,546	198,349	195,426	300,037	312,831	
		病院機構本部経費	230,496	146,439	135,796	0	0	0	0	
	小 計			750,011	665,954	727,512	699,148	696,225	800,836	813,630
同第 2 号経費	高度特殊医療	リハビリテーション運営費	90,184	90,184	90,184	108,720	108,720	108,720	108,720	
		小児部門運営経費	346,024	346,024	346,024	241,920	241,920	241,920	241,920	
		新生児特定集中治療室運営費	215,373	215,373	215,373	253,482	253,482	253,482	253,482	
		結核病院運営	109,896	109,896	109,896	140,256	140,256	140,256	140,256	
		ICU運営費	317,408	317,408	317,408	341,900	341,900	394,500	373,460	
		看護師配置増高経費	233,680	233,680	233,680	191,648	191,648	203,104	187,744	
		特殊医療機器維持経費	29,404	29,404	29,404	0	0	0	0	
	精神	精神病院運営経費	252,642	252,642	252,642	295,815	295,815	295,815	295,815	
		児童思春期病棟運営経費	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	
		看護師配置増高経費	0	0	0	0	0	0	0	
		移転経費+初度備品等費用	0	0	0	0	0	0	0	
	不採算	不採算部門増こう経費	483,048	483,048	483,048	425,517	425,517	425,517	425,517	
		阿南病院入院単価措置	0	0	0	352,838	352,838	352,838	352,838	
	その他	医師等の研究研修費	67,086	67,086	67,086	46,386	46,386	46,386	46,386	
		医師確保対策経費	168,910	168,910	168,910	211,911	211,911	211,911	211,911	
		電子カルテ導入増高経費	67,500	94,500	94,500	94,500	76,500	27,000	0	
		企業債利息	638,973	603,029	569,456	523,381	480,221	435,033	391,096	
	資本的収入	企業債元金	1,239,861	1,332,862	1,377,078	1,462,578	1,526,661	1,452,682	1,547,225	
	小 計			4,349,989	4,434,046	4,444,689	4,780,852	4,783,775	4,679,164	4,666,370
	合 計			5,100,000	5,100,000	5,172,201	5,480,000	5,480,000	5,480,000	5,480,000



## 6 未収金の推移

### ●信州医療センター

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
前年度以前分	27,912	21,624	23,448	24,129	19,305	13,021	12,570	10,516
当年度末 個人分		26,366	29,013	13,115	25,703	21,101	27,151	20,797
当年度末 団体分	867,365	727,342	759,286	730,280	927,411	838,272	841,417	1,028,521
当年度末 未決算分		44,985	19,019	11,411	8,843	17,822	16,062	24,975
未収金額計	895,277	820,317	830,766	778,935	981,263	890,215	897,199	1,084,809
貸倒損失額	9,964	11,005	832	4,276	7,068	5,392	9	0

### ●こころの医療センター駒ヶ根

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
前年度以前分	8,003	7,114	5,605	7,583	7,180	6,177	5,454	5,413
当年度末 個人分		10,447	12,791	9,729	11,847	12,693	13,112	15,459
当年度末 団体分	233,533	233,830	233,858	247,165	214,638	228,516	225,999	230,987
当年度末 未決算分		1,330	427	694	1,609	721	1,385	1,433
未収金額計	241,537	252,721	252,680	265,170	235,274	248,107	245,951	253,293
貸倒損失額	2,165	677	953	436	696	1,284	972	535

### ●阿南病院

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
前年度以前分	1,012	749	677	289	179	128	272	252
当年度末 個人分		2,926	3,584	3,009	3,159	4,595	4,683	4,181
当年度末 団体分	166,325	152,900	145,400	129,159	132,339	141,982	144,687	138,754
当年度末 未決算分		1,126	1,552	1,011	1,524	1,233	3,399	1,632
未収金額計	167,337	157,701	151,213	133,468	137,201	147,938	153,041	144,818
貸倒損失額	88	295	22	196	0	0	0	0

### ●木曽病院

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
前年度以前分	24,420	26,680	23,756	19,876	19,387	19,053	17,272	15,508
当年度末 個人分		24,272	25,374	24,155	34,335	19,102	18,163	15,561
当年度末 団体分	635,050	536,482	608,778	542,339	685,472	536,926	509,987	502,330
当年度末 未決算分		3,704	5,573	6,310	4,881	4,895	6,043	3,341
未収金額計	659,470	591,139	663,482	592,681	744,075	579,976	551,464	536,739
貸倒損失額	940	890	1,810	3,157	982	40	16	0

### ●こども病院

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
前年度以前分	8,941	5,906	5,033	4,461	6,701	7,200	6,374	5,019
当年度末 個人分		8,644	4,146	7,407	6,858	4,019	3,704	1,792
当年度末 団体分	1,188,449	1,000,542	1,126,478	1,155,973	1,060,184	1,382,961	1,179,663	1,295,103
当年度末 未決算分		214,365	223,906	385,708	331,256	221,971	266,513	203,447
未収金額計	1,197,389	1,229,458	1,359,564	1,553,550	1,404,999	1,616,151	1,456,253	1,505,360
貸倒損失額	5,772	3,363	1,355	781	84	133	71	201

# 介護老人保健施設の状況

---



# 1 利用者の状況

## ① 入所・通所の状況

区 分	入所利用実数		3月31日 現在 在在所者数	通所利用実 数	入所利用のべ数		通所利用のべ数	
	入所者	退所者			合計	1日当り	合計	1日当り
阿南	232	196	36	12	14,026	38.5	710	2.9
木曾	431	392	39	22	15,378	42.1	791	3.2

## ② 性別・年齢階級別の状況

### ●阿南介護老人保健施設

区 分	利 用 者 数 (人)					構 成 割 合 (%)					
	総 数	入所者数			通所者数	総 数	入所者数			通所者数	
		3/31在籍者	退所者				在 所 者	退 所 者			
合 計	244	232	36	196	12	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
性 別	男	59	51	11	40	8	24.2	22.0	30.6	20.4	66.7
	女	185	181	25	156	4	75.8	78.0	69.4	79.6	33.3
年 齢 階 級 別	～69歳	3	0	0	0	3	1.2	0.0	0.0	0.0	25.0
	70～79歳	14	12	2	10	2	5.7	5.2	5.6	5.1	16.7
	80～89歳	108	103	11	92	5	44.3	44.4	30.6	46.9	41.7
	90歳以上	119	117	23	94	2	48.8	50.4	63.9	48.0	16.7

### ●木曾介護老人保健施設

区 分	利 用 者 数 (人)					構 成 割 合 (%)					
	総 数	入所者数			通所者数	総 数	入所者数			通所者数	
		3/31在籍者	退所者				在 所 者	退 所 者			
合 計	453	431	39	392	22	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
性 別	男	126	115	6	109	11	27.8	26.7	15.4	27.8	50.0
	女	327	316	33	283	11	72.2	73.3	84.6	72.2	50.0
年 齢 階 級 別	～69歳	16	15	2	13	1	3.5	3.5	5.1	3.3	4.6
	70～79歳	85	76	8	68	9	18.8	17.6	20.5	17.4	40.9
	80～89歳	182	173	14	159	9	40.2	40.1	35.9	40.6	41.0
	90歳以上	170	167	15	152	3	37.5	38.8	38.5	38.8	13.6

## ③ 退所者の入所期間状況

区 分	計	1～7日	8～14日	15～30日	31～90日	91～180日	181～1年	1年超	
阿南	人数	196	16	17	31	57	63	12	0
	構成比	100.0	8.2	8.7	15.8	29.1	32.1	6.1	0.0
木曾	人数	392	100	146	32	58	47	8	1
	構成比	100.0	25.5	37.2	8.2	14.8	12.0	2.0	0.3

#### ④ 退所者の入退所の経路

##### ● 阿南介護老人保健施設



※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

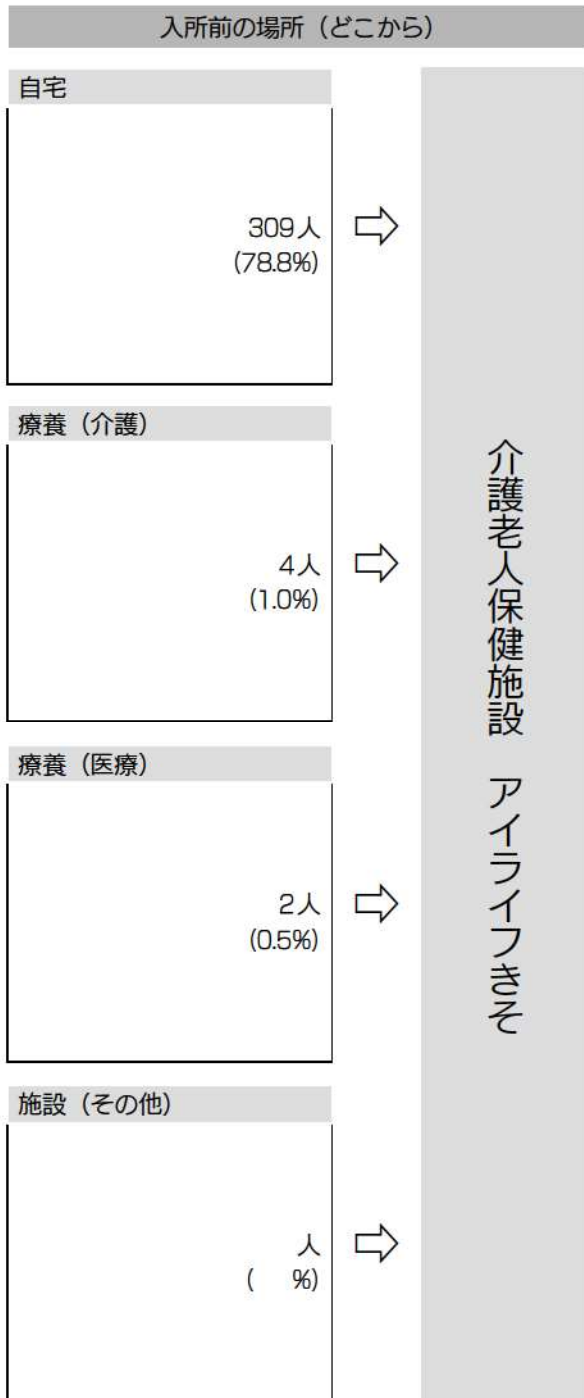


● 木曾介護老人保健施設



※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。





退所後の行先（どこへ）	構成割合	
総数	309人	100.0%
木曽病院	15	4.9
他の医療機関		
他の老人保健施設	2	0.6
社会福祉施設	7	2.3
自宅	285	92.2
療養（介護）		
療養（医療）		
死亡		
施設（その他）		
総数	4人	100.0%
木曽病院	2	50.0
他の医療機関		
他の老人保健施設	1	25.0
社会福祉施設	1	25.0
自宅		
療養（介護）		
療養（医療）		
死亡		
施設（その他）		
総数	2人	100.0%
木曽病院		
他の医療機関		
他の老人保健施設		
社会福祉施設	2	100.0%
自宅		
療養（介護）		
療養（医療）		
死亡		
施設（その他）		
総数	-	-
木曽病院		
他の医療機関		
他の老人保健施設		
社会福祉施設		
自宅		
療養（介護）		
療養（医療）		
死亡		
施設（その他）		

※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。





# 看護師養成所の状況

---



# 1 学生の状況

## ① 平成 30 年度在籍状況(平成 30 年 4 月 1 日現在)

(単位：人)

		1 学年	2 学年	3 学年
学生数		24	28	24
内 訳	既卒	4		
	新卒	20		
	原級留置	0	1	1
	女子	22	23	21
	男子	2	5	3

## ② 平成 30 年度在入学選考状況の推移

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
試験回数	4 回	2 回	3 回	3 回	3 回
出願者	136 名	98 名	60 名	64 名	68 名
受験者	124 名	86 名	56 名	60 名	65 名
合格者	43 名	34 名	29 名	31 名	33 名
入学者	33 名	23 名	26 名	27 名	24 名

## ③ 平成 30 年度卒業生の進路状況

(単位：人)

進 路		人数(うち県立病院機構)	
就 職	県内病院	21(10)	
	地域別内訳	諏訪	1
		上伊那	2
		飯伊	1
		木曾	8
		松本	6
		大北	0
		東信	1
		長野	2
	県外病院	1	
進 学	飯田女子短期大学専攻科地域看護学専攻	1	
合 計		23	

#### ④ 看護師国家試験の状況

	受験者数(人)	合格者数(人)	信州木曾看護専門学校 合格率(%)	全国合格率(%)
第106回看護師国家試験 (平成29年2月19日実施)	第1期生 29	29	100	88.5
第107回看護師国家試験 (平成30年2月18日実施)	第2期生 21	21	100	91.0
第108回看護師国家試験 (平成31年2月17日実施)	第3期生 23	23	100	89.3





## 研修・研究の状況

---



# 1 県立病院等合同研究会の状況

第15回県立病院等合同研究会

会 期：平成30年12月1日（土）

幹事病院：こころの医療センター駒ヶ根

研究会会長：埴原秋児（長野県立こころの医療センター駒ヶ根院長）

会 場：長野県看護大学

参 加 者：202名

特別講演

演 題：『日本の課題と地域包括ケア』

講 師：前 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部 地方創生総括官 唐澤 剛様

## ● 一般演題（13演題）

演 題 名	所 属 機 関	演 者
須高地区における対策型胃内視鏡検診の導入	信州医療センター	有澤 紀子
当院における多職種初診の現状と課題	こころの医療センター駒ヶ根	山田 慎二
☆当院に於ける嚥下内視鏡検査の実施状況 ～導入後1年間の概況報告～	阿南病院	関 匡史
☆医療ケア児（者）の災害時対策の実態調査	こども病院	三間真理子
MR I 撮影における撮影位置マーカの検討	長野県立総合 リハビリテーションセンター	肥後 拓也
医療リワーク ～当院での取り組み～	こころの医療センター駒ヶ根	多々良恭子
夫立会い分娩後の夫の思い認識 ～夫へのパースレビューを通して～	木曽病院	竹原めぐみ
超低出生体重児の抱っこに対する母親の思い ～母親の自立に向けた看護介入の検討～	こども病院	下里 清香
温罨法の援助を通して得られた効果 ～個別性のある援助を実施して～	信州木曽看護専門学校	小林佳奈子
☆債権回収委託 24時	信州医療センター	佐藤 拓矢
深夜勤務後の両眼へのホットタオル装用による効果の検討	阿南病院	松下 亜弥
地域包括ケア病棟を開設して ～木曽病院にもたらしたもの～	木曽病院	林 利英
退院支援の問題点に関する改善点の検討 ～ビジュアルアセスメントによるチーム力向上を目指して～	長野県立総合 リハビリテーションセンター	小野塚智江

※発表順

☆奨励賞受賞演題



## 2 職員提案の状況

### ① 実施状況

#### 1. 募集期間

平成 30 年 7 月 1 日から平成 30 年 12 月 28 日まで

#### 2. 提案状況

合計 4 件

内訳 信州医療センター 1 件、木曽病院 1 件、本部事務局 2 件

### ② 審査の結果について

#### 優秀賞

- ・動画を活用した院内研修会の実施について  
(信州医療センター：山崎 善隆)

### ③ 審査結果の公表及び表彰について

2 月 21 日第 8 回理事会で審査結果を報告、表彰

## 3 公開講座の開催状況

テーマ	開催日場所	病院等	講師	参加者 (人)
「もっと知りたい! 糖尿病」	2018.7.11 木曽町	木曽病院	小林由紀先生	20
「増えつつある大腸がんの検査と 治療について」	2018.9.9 須坂市	信州医療センター	赤松泰次先生 古澤徳彦先生	175
「つくって楽しい♪食べておいしい!! アレルギー対応食クッキング」	2018.9.8 松本市	こども病院	小池由美先生 大久保早苗管理栄養士	12
健康寿命のために	2018.10.20 阿南町	阿南病院	鳥海宏先生	62
こころの健康を守るために うつ病をもっと理解しよう	2018.11.3 木曽町	木曽病院	鷲塚伸介先生	50
口唇裂・口蓋裂のお話し	2018.11.11 駒ヶ根市	こども病院	永井史緒先生 矢口貴一朗先生 佐藤梨里子先生 影山徹先生 寺島さつき言語聴覚士 上島祐佳里言語聴覚士	27
ワクチンの安全性と効果を考える	2018.11.24 安曇野市	こども病院	南希成先生 鈴木貞夫先生	37
参加者計				383



## 4 出前講座の状況

### ● 信州医療センター

講座名	講師	開催日	依頼先	参加者数
一次救命処置	玉木 善光	5.18	グリーンアルム福祉会	20
一次救命処置	玉木 善光	9.30	太子町区	30
正しい薬の飲み方・使い方 (エピペン)	吾妻 貴司	5.31	須坂保育園	25
正しい薬の飲み方・使い方 (エピペン)	大塚さほり	6.7	須坂千曲保育園	20
正しい薬の飲み方・使い方	田中 健二	9.2	翌檜会	10
摂食嚥下障害について	北田 将大	6.19	須坂市地域包括支援センター	60
摂食嚥下障害について	北田 将大	6.21	愛光苑すざか	15
摂食嚥下障害について	北田 将大	8.17	山ノ内町社会福祉協議会	10
摂食嚥下障害について	北田 将大	9.20	グリーンアルム福祉会	20
摂食嚥下障害について	北田 将大	11.29	いいやま介護老人保健施設みゆき	30
子どもの成長発達	南 勇樹	6.29	須坂ファミリー・サポート・センター	15
性教育について	猪瀬紗都子	7.6	篠ノ井東中学校	127
性教育について	猪瀬紗都子	7.11	墨坂中学校	185
性教育について	鈴木麻衣加	11.16	篠ノ井東中学校	111
性教育について	鈴木麻衣加	12.3	東北中学校	186
性教育について	鈴木麻衣加	12.21	豊野中学校	89
性教育について	鈴木麻衣加	1.17	東中学校	50
性教育について	鈴木麻衣加	1.18	高山中学校	50
性教育について	鈴木麻衣加	1.30	東中学校	60
性教育について	鈴木麻衣加	1.31	東部中学校	213
性教育について	鈴木麻衣加	2.7	篠ノ井西中学校	225
性教育について	鈴木麻衣加	2.14	櫻ヶ丘中学校	180
性教育について	鈴木麻衣加	2.22	東中学校	70
性教育について	鈴木麻衣加	2.22	小山小学校	62
性教育について	鈴木麻衣加	2.26	通明小学校	116
性教育について	鈴木麻衣加	2.28	墨坂中学校	164
性教育について	鈴木麻衣加	2.28	墨坂中学校	155
性教育について	鈴木麻衣加	3.1	豊野中学校	85
性教育について	鈴木麻衣加	3.6	三陽中学校	160
性教育について	鈴木麻衣加	3.7	豊野中学校	92
感覚のでこぼこと発達のでこぼこ	南 勇樹	7.19	豊洲保育園	30
感染対策について	中島恵利子	7.31	小布施荘	15
感染対策について	中島恵利子	8.8	小布施荘	15
感染対策について	中島恵利子	9.14	朝日おんせんリハビリテーションセンター	25
感染対策について (感染症予防について)	中島恵利子	10.26	グリーンアルム福祉会	40

講座名	講師	開催日	依頼先	参加者数
感染対策について（感染症予防について）	中島恵利子	11.29	小布施町社会福祉協議会	40
感染対策について	目黒 美紀	12.12	社会福祉法人 治敬会	20
感染対策について	目黒 美紀	12.18	社会福祉法人 治敬会	15
メディアと子どもの健康	南 勇樹	8.2	地域学校保健委員会	60
家庭でできる褥瘡予防と初期対応について	柴本 幸子	8.22	特養ふるさと苑	
家庭でできる褥瘡予防と初期対応について	柴本 幸子	11.19	須坂荘	20
家庭でできる褥瘡予防と初期対応について	柴本 幸子	3.19	朝日おんせんリハビリテーションセンター	20
肺炎について	山崎 善隆	8.24	JA 長野厚生連	60
筋力を低下させないために	石沢 豪翔 中嶋 豪翔	9.13	つどいの会 (シニア大学第 40 期生)	20
筋力を低下させないために	石沢 豪翔 中嶋 豪翔	11.28	須坂市身体障害者福祉協会	40
筋力を低下させないために	石沢 豪翔 中嶋 豪翔	1.22	須坂市社会福祉協議会	20
高齢者の食生活について	美谷島 司	9.13	新町ふれあいサロン	25
家庭でできる応急手当（小児）	玉木 善光	10.18	中野市中央公民館	30
家庭でできる応急手当（小児）（AED含む）	救急外来看護師	11.28	須坂ファミリー・サポート・センター	20
治療食調理実習	美谷島 司	10.26	小布施町社協指定訪問介護事業所	7
化学療法の副作用・被ばくについて	安藤 淳子	10.29	須崎調剤ステーション、こもれび調剤ステーション	6
乳幼児の成長・発達	南 勇樹	11.22	須坂ファミリー・サポート・センター	15
医療と情報	市川 徹郎	2.27	小布施荘	20
中・高生と赤ちゃんの ふれあい交流事業事前講習会	鈴木麻衣加 永峯 未菜	3.16	子育て支援センター	20



● こころの医療センター駒ヶ根

講座名	講師	開催日	依頼先	参加者数
長寿社会 認知症を予防し健やかに生きる	三浦 典子	6.23	北割1区長寿会	17
こころの不調への気づき ～自分・周りの人ができること～	大越 拓郎	7.11	伊那市	80
		7.23	伊那市	50
アルコール依存症について	佐藤みずき	7.19	(株)こもれび	9
精神的な問題を考える介護者、 家族への関わり方・支援のあり方	黒川めぐみ 宮澤 真紀	8.7	辰野町	30
みのがさないでこころのサイン	大越 拓郎	8.28	駒ヶ根市	50
緊急時自殺企画者への対応・ アルコール依存症者への対応	黒川めぐみ 高橋たか子	9.11	上伊那地域抱括医療協議会	150
ストレスマネジメントと認知行動療法	大越 拓郎	9.25	上伊那圏域地域自立支援協議会	30
つながろう！地域で ～アルコール関連問題の地域連携について～	足立 順代	11.6	諏訪中央病院	79
こころの不調への気づき ～自分・周りの人ができること～	大越 拓郎	11.10	伊那市	167
新たな環境に馴染めない青年期の問題への対応	武田 達也	12.7	伊那保健福祉事務所	60
アルコール依存症について	足立 順代 佐藤みずき	12.7	上伊那生協病院	20
精神障害の理解 統合失調症の特性と接し方	黒川めぐみ	1.16	中川村社会福祉協議会	20
SSTについて	多々良恭子 市川晃太郎	1.23	箕輪町	5
介護職向け職場のメンタルケア	大越 拓郎	2.9	介護福祉士会	40
生涯現役長寿社会を生きる ＝認知症とお酒の話＝	三浦 典子	2.21	上伊那塗装広告事業協同組合	70
アルコール依存症について	岸本 道太 佐藤みずき	3.13	伊那中央病院	25

● 阿南病院

講座名	講師	開催日	依頼先	参加者数
認知症の方を理解する	西森 則子	10.30	阿南町老人クラブ	50
ロコモティブシンドロームについて	藤岡 文夫	11.6	身体障害者福祉協会会員	40
ロコモティブシンドロームについて	藤岡 文夫	2.6	泰阜村	45
ロコモティブシンドロームについて	藤岡 文夫	3.18	JA みなみ信州 女性部阿南支所	20

● 木曾病院

講座名	講師	開催日	依頼先	参加者数
がん、とは？	小出 直彦	11.10	南木曾町議会事務局	25
第1回性教育講演会	吉岡 郁郎	6.19	木曾青峰高校定時制	14
第2回性教育講演会	吉岡 郁郎	6.20	木曾青峰高校定時制	14
性教育講話 1年 男性と女性 2年 妊娠と出産 3年 STDと避妊	吉岡 郁郎	7.19	蘇南高校	172
近代の性問題の現状について	吉岡 郁郎	7.31	木曾保健福祉事務所	13
性教育講話 笑顔の多い人生を	吉岡 郁郎	9.27	木曾青峰高校1年生	148
性教育講話	吉岡 郁郎	10.2	上田高校定時制	9

講座名	講師	開催日	依頼先	参加者数
性教育講話	吉岡 郁郎	10.18	南木曾中学校	93
性教育講話	吉岡 郁郎	10.25	開田中学校	29
性教育講話 笑顔の多い人生を	吉岡 郁郎	11.1	木曾青峰高校2年生	146
性教育講話 笑顔の多い人生を	吉岡 郁郎	11.8	木曾青峰高校3年生	120
性教育講演会	吉岡 郁郎	12.20	王滝中学校	15
性教育講演会	吉岡 郁郎	1.16	上松中学校	100
近代の性問題の現状について	吉岡 郁郎	1.29	木曾保健福祉事務所	30
性教育講演会	吉岡 郁郎	2.13	大北医師会	15
小児の病気と対応	井上 賢治	5.23	木曾町保健福祉課	20
感染対策 標準予防策 + インフルエンザ・ノロの対応	巾崎 秀樹	9.20	長野県看護協会	25
感染対策と標準予防策の実践	巾崎 秀樹	10.22	養護老人ホーム木曾寮	20
施設内における感染症対策について 吐しゃ物の処理方法について 最近の感染症情報	巾崎 秀樹	10.31	あい愛ケアセンター	30
感染症と対策	巾崎 秀樹	11.1	上松荘	20
感染の予防・施設における標準予防策・ インフルエンザ・ノロウィルス対策	巾崎 秀樹	11.2	木曾あすなろ荘	40
感染症対策(インフルエンザ・ノロウィルス)、 標準予防策等	巾崎 秀樹	11.22	なんてんの里	40
褥瘡の基礎知識と最新情報	仲澤 幸恵	8.3	こころの医療センター駒ヶ根	20
スキンケアの予防と処置	仲澤 幸恵	9.19	阿南病院褥瘡予防対策委員	30
看取りについて	中村 砂織	7.30	木曾広域連合健康福祉課	25
急変の予測と対応	中村 砂織	10.10	木曾広域連合健康福祉課	20
ライフステージ	赤堀美奈子	12.9	中信地域糖尿病療養指導士育成会	40
命の学習 赤ちゃんの特徴や発達について等	佐々木叶枝	6.19	開田中学校2年生	12
木曾地区におけるがん患者の情報共有化の取り組み ～病院・保険薬局薬剤師による協働での患者ケア～	松原 重征	10.27	木曾薬剤師会	10
在宅で利用する薬の知識	松原 重征	11.15	木曾広域連合健康福祉課	25
介護保険サービスに係る研修会 みんなで考えようポリファーマシー “薬飲み過ぎ”のリスクについて	松原 重征	11.15	木曾広域連合	65
処方箋から見えてくる乳がん治療 ～HER2 陽性乳がんを中心に～	松原 重征	1.25	佐久薬剤師会	20
薬理学 知って安心くすりの知識	松原 重征	2.4	信州木曾看護専門学校	40
薬理学 病院薬剤師の役割とチーム医療	松原 重征	2.4	信州木曾看護専門学校	40
薬理学 病棟薬剤管理 【看護において知っておきたい薬の知識】	松原 重征	2.12	信州木曾看護専門学校	40
第32回 中信がん薬業連携勉強会 がん患者さんとの関わり ～ひとりひとりに寄り添うこと～	松原 重征	2.22	松本薬剤師会 中信がん薬業連携推進ワーキンググループ	24
Human-Based Medicine (HBM; 人間の人間に拠る人間のための医療)	松原 重征	2.22	中信がん薬業連携勉強会	50
誤嚥性肺炎の予防と口腔ケアの方法	中澤 修也	6.27	木曾広域連合健康福祉課	50
拘縮予防、リハビリの方法	山本 駿輔	9.5	木曾広域連合健康福祉課	50
木曾病院地域包括ケア病棟について	林 利英	6.18	大桑村社会福祉協議会	10



## 5 学会等における研究発表状況

### ● 信州医療センター

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第34回 日本静脈経腸栄養学会学術集会	2018.2.14	東京都	手塚 清恵 中村 優子 吉田亜記子 美谷島 司 小林 永幸	NST と DST チーム連携について
第58回 日本呼吸器学会学術集会	2018.4.27 ~4.28	大阪市	○山崎 善隆	呼吸器科医だからこそ取り組みたい 肺炎球菌ワクチン接種一院内体制整 備と地域への普及
第67回 日本医学検査学会	2018.5.11 ~13	静岡市	柴田 綾	当院における糖尿病患者の自律神経 機能評価について
第93回 日本消化器内視鏡学会総会	2018.5.9 ~5.13	東京都	○赤松 泰次	内視鏡生研と病理標本の扱い方 —その基本と注意すべきポイント—
県立病院薬剤師研修会	2018.5.19	長野市	田中 健二	日本病院会研修の伝達「病院薬剤師 に求められるスキルとマインド」
第138回 信州産婦人科連合会総会・学術講演会	2018.5.19	長野市	○飯高 雅夫 堀田 大輔 豊田 友子 南郷 周児	腹腔鏡併用の腔式手術での仙骨 子宮靱帯固定術(Shull法)
第61回 日本糖尿病学会年次学術集会	2018.5.24 ~25	東京都	柴田 綾	持続血糖モニタリング(CGM) リブ レ pro の当院での導入取り組みにつ いて—検査技師の立場から—
第61回 糖尿病学会年次学術集会	2018.5.24 ~26	東京都	手塚 清恵	DST,NST 同時介入におけるチーム 連携について
DDW2018 Washington DC	2018.6.2 ~6.5	アメリカ	○植原 啓之	Screening for helicobacterpylori amongd Japanese teenagers and their characteristic endoscopic findings
第30回 日本肝胆膵外科学会・総会	2018.6.7 ~6.9	神奈川県	○増尾 仁志	Risk factors for postoperative -latent pancreatic fistula
第28回 北信医療薬学研究会	2018.6.10	長野市	田中 健二	薬剤耐性(AMR)対策アクションプ ランを学びアクションを起こそう
第93回 日本結核病学会総会	2018.6.23 ~6.24	大阪市	○山崎 善隆	・BCG 膀胱注入療法 8年後にウシ型結核 性骨髄炎の疑われた1例
第93回 日本結核病学会総会	2018.6.23 ~6.24	大阪市	○山崎 善隆	・結核地域医療連携 パスの作成と運用
第58回 日本リンパ網内系学会総会 第21回 日本血液病理研究会	2018.6.28 ~6.30	名古屋市	○浅野 直子	病理診断 :update lecture
第16回 日本ヘルニア学会学術集会	2018.6.29 ~6.30	札幌市	○久保 直樹	当院における腹腔鏡下腹壁癒痕 ヘルニア修復術の短期治療成績

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第 24 回 日本ヘリコバクター学会学術集会	2018.6.29 ～7.1	大分市	○赤松 泰次	学会検診への H.pylori スクリーニング検査導入と除菌治療 —最終報告—
第 69 回 長野県医学会	2018.7.1	新潟市	○飯高 雅夫 堀田 大輔 豊田 友子 春日美智子 南郷 周児	腹腔鏡併用の腔式手術での仙骨子 宮靱帯固定術 (Shull法)
第 73 回 日本消化器外科学会総会	2018.7.11 ～7.13	鹿児島市	○増尾 仁志	肝細胞癌術後再管切除例における再発 までの期間と予備規定因子の検討
第 36 回 長野県病院薬剤師会薬剤師専門講座	2018.7.15	松本市	田中 健二	病院薬剤師が主体的に取り組む AMR 対策・症例提示
第 20 回 女性骨盤底医学会	2018.7.21 ～7.22	東京都	○飯高 雅夫 堀田 大輔 豊田 友子 南郷 周児	腹腔鏡併用の腔式手術での Shull 法
第 230 回 日本呼吸器学会関東地方会	2018.7.21	東京都	○岩波 直弥 坂口 幸治 荒木 太亮 山崎 善隆	右大動脈弓を呈した下部胆管がん 術後肺転移の一例
進行肉腫と骨転異に対する 新たな治療戦略	2018.7.21	静岡市	○根本 和明	Maligunt fungating wound を 伴う巨大殿部軟部肉腫の一例
院内医療安全研修会	2018.7.26	須坂市	大塚さほり	中枢系薬剤と転倒転落
第 58 回 日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	2018.8.2 ～8.4	島根県	○飯高 雅夫 堀田 大輔 豊田 友子 南郷 周児	腹腔鏡併用の腔式手術での 仙骨子宮靱帯固定術 (Shull 法)
日病薬関東ブロック 第 48 回学術大会	2018.8.25	宇都宮市	田中 健二	当院における薬剤耐性対策の多角的 アプローチ
日病薬関東ブロック 第 48 回学術大会	2018.8.25	宇都宮市	金木 雅典	プレアボイド報告の集計結果より ～がん化学療法への介入事例の検討～
第 174 回 日本結核病学会関東支部学会 第 231 回 日本呼吸器学会関東地方会合同学会(東京)	2018.9. 1	東京都	松尾 明美 柳沢 克也 児玉 亮 荒木 太亮 山崎 善隆 曾根 原圭	Adalimumab 投与後に肺結核を 発症したクローン病の一例
第 58 回 日本産科婦人科内視鏡懇話会	2018.9.1	長野市	○飯高 雅夫 堀田 大輔 豊田 友子 南郷 周児	腹腔鏡併用の腔式手術での Shull 法



学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
平成 30 年度 第 2 回 須高地区薬-薬連携のための学習会	2018.9.2	須坂市	田中 健二	医療安全の視点から見た薬剤師の責務
19 Annual Scientific Meeting of Asia Pacific Arthroplasty	2018.9.6 ~9.8	タイ	○渡邊 憲弥	Young age increasa the risk of excessive femoral anteversion in total hip arthroplasty with direct anterior approach
第 52 回 日本作業療法学会	2018.9.7	名古屋市	中嶋 翔	高齢者の結核患者への取り組みと今後の課題について
感染症医療従事者研修	2018.9.15	佐久市	宮島 貴幸	HIV 患者の服薬支援 ~長期間の服用を支える工夫と課題~
第 51 回 日薬学術大会	2018.9.23	金沢市	三澤 貴美	地域包括ケア病棟における薬剤総合評価調整の取り組み
第 51 回 日薬学術大会	2018.9.23	金沢市	大塚さほり	当院ヒヤリハット事象「転倒転落」について薬剤師からの報告
平成 30 年度 県立病院等臨床検査技師研修会	2018.9.29	長野市	北澤 芽衣	当院におけるプロカルシトニン定量測定の見直し
日本くすりと糖尿病学会	2018.10.13	名古屋市	角間みなみ	ミグリトールの食品との相互作用を発見した事例
第 5 回 日本予防理学療法学会学術大会	2018.10.20	北九州市	柴田 もも	当院における院内での転倒転落に関わる要因の見直し
第 25 回 長野県自治体病院研究会	2018.10.27	安曇野市	大塚さほり	当院薬剤科における医療安全の取り組み
第 55 回 関甲信・首都圏支部医学検査学会	2018.10.27 ~28	群馬県	柴田 綾	神経電動速度検査は被験者のストレスとなりうるか
第 55 回 関甲信・首都圏支部医学検査学会	2018.10.27 ~28	群馬県	石合めぐみ	人間ドックの腹部超音波検査にて発見された GIST の 1 例
第 26 回 日本消化器関連学会週間	2018.11.1 ~11.4	兵庫県	○久保 直樹	手術前皮膚消毒におけるオラネキジ ングルコン酸液の創部 SSI での有効性の検討
第 33 回 日本女性医学会学術集会	2018.11.3 ~11.4	岐阜市	○飯高 雅夫 堀田 大輔 豊田 友子 南郷 周児	腹腔鏡併用の腔式手術での仙骨子宮 靭帯固定術 (Shull 法)
北信 DM デバイスインストラクター 研究会	2018.11.11	長野市	大塚さほり	リリーデバイスについて
第 123 回 信州整形外科懇談会	2019.2.2	長野市	○根本 和明 白田 悠 渡邊 憲弥 三井 勝博	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 診断と治療に難渋した結核性肩関節の一例</li> <li>・ 上腕骨骨結節単独骨折に対してセルフコンプレッションスクリュー固定を施工した一例</li> </ul>



学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第34回 日本静脈経腸栄養学会学術集会	2019.2.14	東京都	手塚 清恵 中村 優子 吉田亜記子 美谷島 司 小林 永幸	NSTとDSTのチーム連携について
平成30年度 県立病院機構診療放射線技師研修会	2019.2.23	長野市	鈴木 博樹	患者サービス向上の取り組み
第33回 日本がん看護学会学術集会	2019.2.23	福岡市	福嶋 敬子	口腔内トラブルがあった高齢化学療法患者の口腔ケア確立 ～1事例に焦点をあてて～
長野県病院薬剤師会 北信支部学術講演会	2019.3.2	長野市	田中 健二	薬剤耐性対策の多角的アプローチ
第55回 日本腹部救急医学会総会	2019.3.7 ～3.8	山形市	○久保 直樹	当院における急性虫垂炎に対する保存的治療の膿腫形成の有無からみた検討

● こころの医療センター駒ヶ根

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
平成30年度 アルコール薬物依存関連学会 合同学術総会	2018.9.9	京都市	足立 順代 岸本 道太 山本 和希 犬塚 伸 埴原 秋児	入院アルコール依存症リハビリテーションプログラム(ARP)参加前後の不安・抑うつ症状の変化に関する評価
第59回 日本児童精神医学会	2018.10.12	東京都	山田 慎二 原田 謙 蓑和 路子 吉崎 洋介	当院における多職種初診の現状と課題
日本デイケア学会 第23回 年次大会千葉大会	2018.10.18	千葉県	辰口 文江	「マインドフルネス」のデイケアでの活用
第37回 信州精神神経学会	2018.10.27	松本市	福井 将郎 埴原 秋児 犬塚 伸	てんかん発作後精神病を呈した2例
第1回 日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum	2018.10.27 ～28	東京都	五味 和彦	精神科病棟業務を考える —当院の今までとこれから (双極性障害をとおして)—
日本精神科看護協会長野支部 第10回研修会	2018.12.15	松本市	阿部 佳正	児童精神科病棟の現場から ～多様な問題を抱える家族と 院外連携～
全国児童青年精神科医療施設協議会 第49回研修会	2019.2.22 ～23	さいたま市	鈴木 千穂	衝動行為を繰り返す広汎性発達障害 患児への支援



● 阿南病院

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
日本教育工学会 第34回 全国大会	2018.9.29	仙台市	大塩 誠司	地域活動の一次救命講習会を行うことで医療者はどのような行動変容を遂げているか (ポスター)

● 木曽病院

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第62回 日本消化器病学会甲信越支部例会	2018.5.	松本市	小山 佳紀 小出 直彦 加賀谷文紘 飯島 章博 丸山 真弘 加賀谷結華 下条 久志 大谷 真紀	腸重積により発見された小腸 Peutz-Jeghers 型ポリープの1例
固定チームナーシング研究会 長野地方会	2018.5.12	松本市	吉岡 由美	ベストプラクティス作成による手指衛生向上への取り組み
第136回 信州産婦人科連合会	2018.5.19	松本市	吉岡 郁郎 窪田 文香 中島 雅子	『附子末』の使用経験
第12回 日本緩和医療薬学会年会	2018.5.26	東京都	松原 重征 有賀 敦 眞岡 紀史 松原 哲白 小林 泰彦	木曽地区におけるがん患者の情報共有化の取り組み ～病院・保険薬局薬剤師による協働での患者ケア～
第120回 信州外科集談会	2018.6	池田町	小出 直彦 加賀谷文紘 小山 佳紀 生駒 樹里 中村 砂織 高桑 李紗 降旗みさと	高齢者切除不能進行胃癌に対する地域がん診療病院としての取り組み
第72回 日本食道学会	2018.6	宇都宮市	小出 直彦 加賀谷文紘 小山 佳紀	食道胃接合部腺癌の Barrett 上皮の有無による臨床病理学的因子と治療成績の差異
第135回 関東連合産婦人科医会	2018.6.16 ～17	東京都	吉岡 郁郎 窪田 文香 中島 雅子	不定愁訴外来における各年代の比較
第73回 日本消化器外科学会	2018.7	鹿児島県	小出 直彦 加賀谷文紘 小山 佳紀	Advance care planning による80歳以上の切除不能進行胃癌症例に対する G-SOX 療法
第47回 日本女性心身医学会	2018.4～5	大阪府	吉岡 郁郎 窪田 文香 中島 雅子	「できない」から「何かできないか」へ ～治療者の陰性感情への1分の挑戦～ ⇒最優秀演題賞
第39回 長野県手術研究会	2018.8.18	佐久市	橋本 務	手術室入室時の看護師人数が患者心理へ与える影響
第38回 産婦人科漢方研究会	2018.8.26	宇都宮市	吉岡 郁郎 窪田 文香 中島 雅子	不登校の中学女兒への真武湯の使用経験
平成30年度 県立病院機構臨床検査技師研修会	2018.9.29	安曇野市	廣田 成美 林 秀高 荒井 園子 鬼頭喜美代	当院における血液培養実施状況とグラム染色の工夫

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第33回 日本整形外科学会基礎学術集会	2018.10.12	奈良市	樋口 祥平 増田 陽子 小川 真人 栃木 祐樹 大関 寛	踵腓靭帯不全の評価法としての3DCTストレステストの有用性
第57回 全国自治体病院学会	2018.10.18	福島県 郡山市	荒井 園子 湯藤 香織 山口 真愛 鬼頭喜美代	採血室の業務改善 ～安全性と迅速性向上を目指して～
第139回 信州産婦人科連合会	2018.10.20	松本市	吉岡 郁郎 窪田 文香 中島 雅子	不定愁訴スコア(SIC)の作成とその応用
長野県神経疾患ケア研究会	2018.10.27	岡谷市	山口 雅哉	脳卒中患者の嚥下障害～ 経管栄養開始から離脱摂食介入まで～
第63回 日本消化器病学会甲信越支部例会	2018.11	松本市	加賀谷文紘 小出 直彦 小山 佳紀 小林 惇一 若林 俊一 田中 友之 加賀谷結華 飯島 章博 下条 久志 大谷 真紀	術前に診断し腹腔鏡補助 下胃部分切除を行った胃 glomus 腫瘍の1例
第43回 日本足の外科学会	2018.11.2	千葉県 木更津市	中曾 根潤 樋口 祥平	骨切除を加えたDLMO法 の矯正角度に関するX線 学的検討 -重度外反母趾への適用-
第32回 日本女性医学学会	2018.11.3 ～4	岐阜県	吉岡 郁郎 窪田 文香 中島 雅子	愁訴の繰返しを『くせ』と言 い換えた時の患者の反応
第136回 関東連合産婦人科医会	2018.11.24 ～25	東京都	吉岡 郁郎 窪田 文香 中島 雅子	不定愁訴外来における周 更年期の比較
独立行政法人長野県立病院機構 職員診療放射線技師研修会	2019.2.23	松本市	小林 公津	木曾病院におけるMRI 検査について
独立行政法人長野県立病院機構 職員診療放射線技師研修会	2019.2.23	松本市	松原 浩昭	今後の放射線業務の動向 について
第32回 日本創外固定・骨延長学会	2019.3.1	秋田市	中曾根 潤 樋口 祥平	創外固定手技を応用した 腰椎破裂骨折の治療経験 -創外固定から創内固定へ-
8th World Congress of International Association for Women's Mental Health	2019.3.5 ～8	Paris	Ikuo Yoshioka Humika Kubota Masako Nakajima Fumi Horiguti	Can a Scoring Indefinite Complaints (SIC) Reduce the Negative Feelings of Doctors? -Overcoming "Doctor Shopping"
日本臨床腫瘍薬学会学術大会2019	2019.3.23	札幌市	野村 香織 馬場麻理子 池上 宜芳 吉村雄次郎 中村 梢 佐藤 聖子 山田知恵子 吉田ゆきみ 中村 久美 鬼窪 利英 松原 重征 村田 稔弥 西瀬 直美 浅野未代子 加賀美秀樹	中信がん薬薬連携乳がん ホルモン療法指導ツール の運用と活用の検討



● こども病院

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第121回 日本小児科学会学術集会	2018.4.20 ~22	福岡市	南 希成 安田 立 佐藤 公則 渥美 香 小池 由美 池内 奈 樋口 司 竹内 浩一	市中発症型黄色ブドウ球菌感染症は増加しているのか？
第121回 日本小児科学会学術集会	2018.4.20 ~22	福岡市	樋口 司 渥美 香 寺川 瑠奈 小池 由美 南 希成 竹内 浩一	小児専門病院における外来総合診療
第121回 日本小児科学会学術集会	2018.4.20 ~22	福岡市	小池 由美 渥美 香 南 希成 池内 奈 樋口 司 竹内 浩一	B型肝炎ワクチン接種後にIgA血管炎性関節炎を発症した5歳女児の一例
第121回 日本小児科学会学術集会	2018.4.20 ~22	福岡市	齋藤 章治 柳沢 龍 内田恵理子 渡邊 達夫 倉田 敬 南 希成 坂下 一夫	小児固形腫瘍患者における抗生剤予防投与意義について
第121回 日本小児科学会学術集会	2018.4.20 ~22	福岡市	倉田 敬 内田恵理子 小森 一寿 渡邊 達夫 齋藤 章治 柳沢 龍 坂下 一夫	終末期に患者が家族と過ごすための試み - 院内ファミリールームの開設 -
第10回 日本小児科学会長野地方会	2018.5.27	安曇野市	寺川 瑠奈 竹内 浩一 小池 由美 南 希成 樋口 司 中村 遙 山本 若葉 小野 貴子	新生児マススクリーニングにより発見され順調な経過をたどっているMCAD欠損症の1例
第10回 日本小児科学会長野地方会	2018.5.27	安曇野市	渥美 香奈 竹内 浩一 小池 由美 南 希成 樋口 司 中村 遙 山本 若葉 小野 貴子	新生児マススクリーニングで発見されたVLCAD欠損症の3例
第10回 日本小児科学会長野地方会	2018.5.27	安曇野市	内田恵理子 渡邊 達夫 小森 一寿 倉田 敬 平形 志朗 小川 輝之 荒屋 正幸 重野 勝彦 坂下 一夫	ウィルムス腫瘍に対して陽子線治療を含む集学的治療を行ったWAGR症候群の一例
第10回 日本小児科学会長野地方会	2018.5.27	安曇野市	山内 翔子 渥美 香奈 竹内史穂子 中嶋 英子 本林 光雄 福山 哲広 稲葉 雄二 三澤 由佳	当院における脊髄性筋萎縮症に対するヌシネルセン治療
第10回 日本小児科学会長野地方会	2018.5.27	安曇野市	宗像 俊 米原 恒介 辻 誠 清水福太郎 大井田泰憲 藤森 充帆 武居 裕子 糸島 亮 田中 明里 小川 亮 小田 新 小久保雅代 廣間 武彦 中村 友彦	低血糖を契機に診断された先天性サイトメガロウイルス感染症の1例
European Society for Paediatric Infectious Diseases annual meeting	2018.5.28 ~6.2	Malmö, Sweden	Minami K, Otsuka A, Kubota N, Hidaka E, Yasuda R, Sato M, Seki S, Nakamura T, Nemoto T, Yokoyama Y, Ishii K.	7-Year Trend of Community-Acquired S.aureus Infections in a Japanese Pediatric Hospital (eポスター)
第124回 日本小児科学会甲信地方会	2018.11.4	松本市	大森 教雄 小池 由美 南 希成 竹内 浩一 岸蔭 貴祐 市野みどり 樋口 司	間欠的水腎症に対する腎盂形成術で改善した高血圧症の3歳女児例

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第 50 回 日本小児感染症学会	2018.11.10 ~11	福岡市	大森 教雄 南希 成 寺川 瑠奈 佐藤 公則 小池 由美 竹内 浩一 樋口 司	黄色ブドウ球菌を原因とするリンパ節炎・膿瘍の特徴
第 50 回 日本小児感染症学会	2018.11.10 ~11	福岡市	寺川 瑠奈 佐藤 公則 南 希成	小児病院における黄色ブドウ球菌を起炎菌とした血流感染症の検討
第 50 回 日本小児感染症学会	2018.11.10 ~11	福岡市	南 希成 寺川 瑠奈 佐藤 公則	黄色ブドウ球菌による感染性心内膜炎 5 例の検討
第 18 回 小児トータルケア研究会	2018.9.8	東京都	小森 一寿 内田恵理子 倉田 敬 坂下 一夫	小児がん治療における長期フォローアップ外来の現状と課題
第 124 回 中信医学会	2018.10.13	松本市	倉田 敬 内田恵理子 小森 一寿 坂下 一夫	地域と連携した小児悪性腫瘍患者の在宅医療の試み
第 7 回 小児診療多職種研究会	2018.11.3 ~4	北九州市	内田恵理子 小森 一寿 倉田 敬 坂下 一夫	終末期に患児が家族と過ごすための当院の試み ~院内ファミリールームの開設~
第 60 回 日本小児血液・がん学会学術集会	2018.11.16 ~19	京都市	小森 一寿 内田恵理子 渡邊 達夫 倉田 敬 坂下 一夫 齋藤 章治 高木紀美代	急性リンパ性白血病の 13 歳女子に対して行った妊孕性温存療法
第 60 回 日本小児血液・がん学会学術集会	2018.11.16 ~19	京都市	内田恵理子 小森 一寿 倉田 敬 坂下 一夫	第 IX 因子製剤にアレルギー反応を示し、pdFX.FVIIa の補充療法を行ったインヒビター保有血友病 B の一例
第 41 回 日本造血細胞移植学会総会	2019.3.7~9	大阪市	倉田 敬 内田恵理子 小森 一寿 渡邊 達夫 齋藤 章治 柳沢 龍 坂下 一夫	慢性 GVHD の経過中に多発性筋炎を発症したと考えられた一例
第 63 回 日本人類遺伝学会学術集会	2018.10.10 ~13	横浜市	武田 良淳 山口 智美 石川 真澄 黄瀬恵美子 小島 朋美 藤田 直久 藤川 朝海 高野 亨子 吉川 恒明 涌井 敬子 福島 義光 古庄 知己	動脈瘤性クモ膜下出血を合併した COL1A1 遺伝子変異による成人骨形成不全症の 3 例
第 124 回 日本小児科学会甲信地方会	2018.11.4	松本市	武田 良淳 山口 智美 荒川 経子 高野 亨子 涌井 敬子 古庄 知己	臨床エクソーム解析にて新規 BCOR 変異を同定、診断しえた眼顔面心歯症候群の 1 例
第 41 回 日本小児遺伝学会学術集会	2019.1.11 ~12	名古屋市	武田 良淳 山口 智美 石川 真澄 黄瀬恵美子 小島 朋美 藤田 直久 藤川 朝海 高野 亨子 吉川 恒明 涌井 敬子 福島 義光 古庄 知己	動脈瘤性クモ膜下出血を合併した COL1A1 遺伝子変異による成人骨形成不全症の 3 例



学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第 60 回 日本小児神経学会学術集会	2018.5.31 ~6.2	千葉市	山内 翔子 福山 哲広 服部 有香 中嶋 英子 三澤 由佳 稲葉 雄二	Sturge-Weber 症候群 3 型との鑑別が困難だった脳軟膜メラノーマトーシスの一例
第 60 回 日本小児神経学会学術集会	2018.5.31 ~6.2	千葉市	山内 翔子 福山 哲広 服部 有香 中嶋 英子 三澤 由佳 稲葉 雄二	Sturge-Weber 症候群 3 型との鑑別が困難だった脳軟膜メラノーマトーシスの一例
第 26 回 信州小児神経研究会	2018.7.21	安曇野市	渥美 香奈 本林 光雄 山内 翔子 竹内史穂子 服部 有香 中嶋 英子 三澤 由佳 福山 哲弘 稲葉 雄二	2017 年度に当院集中治療室に入院した有熱時痙攣・意識障害症例の解析～痙攣重積型急性脳症を中心に～
第 30 回 長野県小児保健研究会	2018.8.25	安曇野市	酒井 慧 稲葉 雄二 山口 智美 山内 翔子 渥美 香奈 竹内史穂子 中嶋 英子 本林 光雄 福山 哲広 三澤 由佳 塚原 孝典 神谷 素子 古庄 知己	円滑な在宅移行と在宅療養支援を継続している先天性筋無力症候群の乳児例
「発達障がい診療医研修 (発達障がいかかりつけ医研修)」 (長野県発達障がい者支援対策協議 会診療体制部会主催)	2018.8.26	松本市	中嶋 英子	養育環境が不安定で不登校となった自閉スペクトラム症の一例
第 22 回 日本小児神経学会甲信越地方会	2018.11.17 ~18	北杜市	竹内史穂子 Daniela Tiaki Uehara 中嶋 英子 山内 翔 渥美 香奈 本林 光雄 三澤 由佳 福山 哲広 萩元 緑朗 古庄 知己 稲澤 譲治 稲葉 雄二	GNAO1 変異が特定された、知的障害と難治性の不随意運動を呈する女児例
第 22 回 日本小児神経学会甲信越地方会	2018.11.17 ~18	北杜市	中嶋 英子 稲葉 雄二 山内 翔子 渥美 香奈 竹内史穂子 本林 光雄 三澤 由佳 平林 伸一	当院における発達障害専門外来の現状
第 24 回 小児神経症例検討会 (蔵王セミナー)	2019.2.23 ~24	上山市	中嶋 英子 山内 翔子 竹内史穂子 本林 光雄 稲葉 雄二	眼球運動障害、失調、ミオクローヌスを疑う不随意運動を呈している 11 歳男児例
第 54 回 日本周産期・新生児医学会	2018.7.8 ~10	東京都	小川 亮 米原 恒介 糸島 亮 田中 明里 関 聡子 亀井 良哉 宗像 俊 小久保雅代 廣間 武彦 中村 友彦	PICC 管理におけるニュートロンの有用性の検討
第 54 回 日本周産期・新生児医学会	2018.7.8 ~10	東京都	糸島 亮 中村 友彦 林 辰司 米原 恒介 田中 明里 小川 亮 関 聡子 武居 裕子 亀井 良哉 宗像 俊 小久保雅代 廣間 武彦	当院における Premature Infant Respiratory Status (PIRS) の有用性

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第 54 回 日本周産期・新生児医学会	2018.7.8 ~10	東京都	米原 恒介 小川 亮 糸島 亮 田中 明里 武居 裕子 関 聡子 亀井 良哉 宗像 俊 小久保雅代 廣間 武彦 中村 友彦	先天性サイトメガロウイルス感染症スクリーニング検査の有用性
第 54 回 日本周産期・新生児医学会	2018.7.8 ~10	東京都	林 辰司 小川 亮 米原 恒介 糸島 亮 武居 裕子 田中 明里 関 聡子 亀井 良哉 宗像 俊 小久保雅代 廣間 武彦 中村 友彦	肺葉外分画症に合併した先天性乳び胸が分画肺切除により改善した一例
第 123 回 日本小児科学会甲信地方会	2018.11.5	山梨県	廣間 武彦	災害時小児周産期リエゾンについて
第 63 回 日本新生児成育医学会	2018.11.22	東京都	宗像 俊 清水福太郎 大井田憲泰 藤森 充帆 武居 裕子 糸島 亮 田中 明里 小川 亮 小田 新 小久保雅代 廣間 武彦 中村 友彦	極低出生体重児における血清中脂肪酸濃度と在胎週数との関係
第 63 回 日本新生児成育医学会	2018.11.22	東京都	藤森 充帆 清水福太郎 大井田憲泰 糸島 亮 田中 明里 小川 亮 武居 裕子 宗像 俊 小田 新 小久保雅代 廣間 武彦 中村 友彦	右室 - 臍帯静脈瘻を合併した不全型 Cantrell 症候群の 1 例
第 63 回 日本新生児成育医学会	2018.11.22	東京都	小田 新	呼吸管理の最前線 優しい呼吸器である NAVA が新生児呼吸管理にもたらすインパクト
第 122 回 日本小児科学会学術集会	2019.4.19	金沢市	宗像 俊 辻 誠 清水福太郎 大井田憲泰 藤森 充帆 武居 裕子 糸島 亮 田中 明里 小川 亮 小田 新 小久保雅代 廣間 武彦 中村友彦	子宮収縮抑制が困難で分娩となった極低出生体重児の血清中脂肪酸濃度の特徴
第 122 回 日本小児科学会学術集会	2019.4.19	金沢市	糸島 亮 小川 亮 蓮見 純平 廣間 武彦 中村 友彦	妊娠初期の梅毒スクリーニング検査陰性の母体から出生した先天梅毒の一例
第 138 回 信州産婦人科連合会	2018.5.19	長野市	寺尾美代子 山口 瞳 高野 宏太 森田 一輝 高木紀美代 吉田 志朗	切迫早産に対するプロバイオティクス投与による治療効果の検討
第 41 回 日本母体胎児医学会	2018.8.24 ~25	東京都	森田 一輝 高木紀美代 山口 瞳 高野 宏太 寺尾美代子 武井 黄太 瀧間 浄宏 安河内 聡 吉田 志朗	右心室 - 臍帯動脈短絡を伴った Cantrell 症候群の一例



学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第31回 長野県周産期研究会	2018.9.29	松本市	高野 宏太 高木紀美代 山口 瞳 森田 一輝 寺尾美代子 吉田 志朗	当院における胎児 cystic hygroma の周産期予後
第139回 信州産婦人科連合会	2018.10.20	松本市	高木紀美代 森田 一輝 寺尾美代子 吉田 志朗	母体高年齢を主訴に来院した妊婦の転帰
第136回 関東連合産科婦人科学会	2018.11.24 ~25	東京都	山口 瞳 高野 宏太 森田 一輝 寺尾美代子 高木紀美代 吉田 志朗	出生前診断した胎児臍静脈-門脈-肝静脈系異常の3例
第20回 東京大学周産期研究会	2019.1.26	東京都	寺尾美代子 佐藤麻梨恵 高野 宏太 森田 一輝 高木紀美代 吉田 志朗	当院における妊娠28週未満帝王切開術の検討
第28回 日本心エコー学会学術集会	2018.4.26 ~28	盛岡市	武井 黄太 安河内 聰 瀧間 浄宏 内海 雅史 中村 太地 川村 順平 浮網 聖実 前澤 身江 沼田 隆佑	多断面マイクロ経食道エコープローブの先天性心疾患乳幼児に対する使用経験
第28回 日本心エコー学会学術集会	2018.4.26 ~28	盛岡市	武井 黄太 安河内 聰 瀧間 浄宏 内海 雅史 中村 太地 川村 順平 浮網 聖実 前澤身江子 沼田 隆佑	多断面マイクロ経食道エコープローブの先天性心疾患乳幼児に対する使用経験
第91回 日本超音波学会学術集会	2018.6.8 ~10	神戸市	瀧間 浄宏	Fontan 術後の心エコー評価
第54回 日本小児循環器学会学術集会	2018.7.5~7	横浜市	武井 黄太 安河内 聰 瀧間 浄宏 内海 雅史 中村 太地 川村 順平 浮網 聖実 前澤身江子 沼田 隆佑	先天性心疾患術後における多断面マイクロ経食道エコープローブを用いた経食道心エコー検査の有用性についての検討
第54回 日本小児循環器学会学術集会	2018.7.5~7	横浜市	武井 黄太 安河内 聰 瀧間 浄宏 内海 雅史 中村 太地 川村 順平 浮網 聖実 前澤身江子 沼田 隆佑	心筋 T1 mapping を用いた先天性心疾患における心筋線維化の評価
第54回 日本小児循環器学会学術集会	2018.7.5~7	横浜市	沼田 隆佑 瀧間 浄宏 武井 黄太 内海 雅史 中村 太地 川村 順平 浮網 聖実 前澤身江子 安河内 聰	当院での冠動脈病変合併川崎病患児における遠隔期治療・生活管理の現状
第54回 日本小児循環器学会学術集会	2018.7.5~7	横浜市	瀧間 浄宏 安河内 聰 武井 黄太 内海 雅史 中村 太地 川村 順平 浮網 聖実 前澤身江子	The novel approach by Vector Flow Mapping for the assessment of intraventricular pressure gradients in congenital heart disease
第54回 日本小児循環器学会学術集会	2018.7.5~7	横浜市	山崎 聖子 瀧間 浄宏 安河内 聰 武井 黄太 岡村 達 上松 耕太	臥位エルゴメーター運動負荷心エコーを用いたFontan循環の心予備能評価



学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第54回 日本小児循環器学会学術集会	2018.7.5~7	横浜市	中村 太地 安河内 聰 瀧間 浄宏 武井 黄太 内海 雅史 川村 順平 浮網 聖実 前澤身江子	3Dエコーによる下大静脈の測定を用いた小児の中心静脈圧の推定
第54回 日本小児循環器学会学術集会	2018.7.5~7	横浜市	瀧間 浄宏	State of Art: 小児循環器領域の画像診断の革新と治療成績向上への期待
第54回 日本小児循環器学会学術集会	2018.7.5~7	横浜市	浮網 聖実 瀧間 浄宏 安河内 聰 武井 黄太 内海 雅史 中村 太地 川村 順平 前澤身江子 沼田 隆佑	成人 ASD device closure 後の左室拡張能の経時的変化
第54回 日本小児循環器学会学術集会	2018.7.5~7	横浜市	前澤身江子 瀧間 浄宏 沼田 隆佑 米原 恒介 大日方春香 田中 登 武井 黄太 米山 文弥 岡村 達 安河内 聰	心室間非同期を呈した僧帽弁閉鎖、両大血管右室起始症、総動脈幹遺残、左室低形成の低出生体重児に対する治療戦略
第54回 日本小児循環器学会学術集会	2018.7.5~7	横浜市	安河内 聰 武井 黄太 瀧間 浄宏 内海 雅史 中村 太地 川村 順平 浮網 聖実 前澤身江子 岡村 達 上松 耕太	多発性体静脈-肺静脈側副血行による心不全を生じたフォンタン手術後の多脾症候群例
第54回 日本小児循環器学会学術集会	2018.7.5~7	横浜市	前澤身江子 瀧間 浄宏 安河内 聰 武井 黄太 内海 雅史 中村 太地 川村 順平 浮網 聖実 沼田 隆佑 岡村 達 上松 耕太	先天性心疾患術後患者における中心静脈カテーテル関連血栓症
第54回 日本小児循環器学会学術集会	2018.7.5~7	横浜市	瀧間 浄宏 池田 智明 武井 黄太 加地 剛 河津由紀子 川崎 有希 稲村 昇	レベルII 胎児心臓超音波検査オンライン多施設間登録について
第54回 日本小児循環器学会学術集会	2018.7.5~7	横浜市	武井 黄太 安河内 聰 瀧間 浄宏 内海 雅史 中村 太地 川村 順平 浮網 聖実 前澤身江子 沼田 隆佑	先天性心疾患術後における多断面マイクロ経食道エコープローブを用いた経食道心エコー検査の有用性についての検討
第5回 informal JPIC 関東甲信越研究会	2018.11.4	横浜市	沼田 隆佑 瀧間 浄宏 武井 黄太 田中 登 小山 智史 大日方春香 米原 恒介 殿村 玲 瀧口 洋司 岡村 達 原 英彦 安河内 聰	三尖弁置換術後の人工弁周囲逆流 (paravalvular leakage: PVL) に対し、経カテーテル的 PVL 閉鎖術を施行した、fontan 術後左心低形成症候群の1例
第30回 JPIC 学術集会	2019.1.24 ~26	さいたま市	武井 黄太 安河内 聰 瀧間 浄宏 田中 登 米原 恒介 大日方春香 沼田 隆佑 小山 智史	Critical AS に対する経皮的バルーン形成術の役割
第30回 JPIC 学術集会	2019.1.24 ~26	さいたま市	武井 黄太 安河内 聰 瀧間 浄宏 田中 登 米原 恒介 大日方春香 沼田 隆佑 小山 智史	Wire arterial septostomy を施行した2例 - 高周波ワイヤー併用の有用性について -



学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第30回 JPIC 学術集会	2019.1.24 ~1.26	さいたま市	Numata R, Takigiku K, Takei K, Tanaka N, Koyama S, Obinata H, Yonehara K, Yasukochi S.	A treatment strategy for the patients with coronary artery fistula
第25回 日本胎児心臓病学会学術集会	2019.2.15 ~16	大阪市	田中 登 瀧間 浄宏 小山 智史 大日方春香 米原 恒介 沼田 隆佑 武井 黄太 高木紀美代 吉田 志郎 安河内 聰	eSTIC 法を用いた正常胎児における左室容量解析
第25回 日本胎児心臓病学会学術集会	2019.2.15 ~16	大阪市	武井 黄太 安河内 聰 瀧間 浄宏 田中 登 米原 恒介 大日方春香 沼田 隆佑 小山 智史	スペックルトラッキング法を用いた胎児心機能評価
第25回 日本胎児心臓病学会学術集会	2019.2.15 ~16	大阪市	瀧間 浄宏 池田 智明 武井 黄太 加地 剛 河津由紀子 川崎 有希 稲村 昇	レベルII 胎児心臓超音波検査オンライン多施設間登録について
第68回 米国心臓病学会学術集会	2019.3.16 ~18	ニューヨーク	Nakamura T, Takigiku K, Yasukochi S, Takei K, Okamura T.	Quantitative assessment of energy efficiency by 4D-flow MRI in the extracardiac Fontan circulation
第68回 米国心臓病学会学術集会	2019.3.16 ~18	ニューヨーク	Nakamura T, Takigiku K, Yasukochi S, Takei K, Okamura T.	Can measurements of inferior vena cava using three-dimensional echocardiography estimate central venous pressure in children with congenital heart disease?
第124回 日本小児科学会	2018.4.20 ~22	福岡市	瀧間 浄宏 林部 麻美 小笠原真織 坂下 一夫 福山 哲広 高見澤 滋 宮入 洋祐 石井 絹子 上條みどり 牧内 明子 藤森 伸江 櫻井 由香	長野県立こども病院における小児慢性疾患に対する成人移行期支援
第177回 日本胸部外科学会関東甲信地方会	2018.6.23	東京都	米山 文弥 岡村 達 瀧口 洋司 上松 耕太 原田 順和	TAPVC (Ib+Iib) に対して心内修復術を行った乳児例
第54回 日本小児循環器学会総会	2018.7.5~7	横浜市	瀧口 洋司 岡村 達 米山 文弥 上松 耕太 原田 順和 瀧間 浄宏 武井 黄太 安河内 聰 内海 雅史	ファロー四徴症、肺動脈弁欠損に対して Leconte 法を用い心内修復術を施行した2症例
第54回 日本小児循環器学会総会	2018.7.5~7	横浜市	米山 文弥 岡村 達 内海 雅史 武井 黄太 上松 耕太 瀧間 浄宏 安河内 聰 原田 順和	当院における総動脈幹症の治療成績
第178回 日本胸部外科学会関東甲信地方会	2018.11.3	東京都	殿村 玲 岡村 達 米山 文弥 瀧口 洋司	肺出血のため二期的治療を行った右肺動脈上行大動脈起始症の乳児例

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第178回 日本胸部外科学会関東甲信地方会	2018.11.3	東京都	米山 文弥 岡村 達 殿村 伶 瀧口 洋司	乳児特発性僧帽弁索断裂による急性僧帽弁閉鎖不全症に対して人工索再建による僧帽弁形成術を施行した1乳児例
第49回 日本心臓血管外科学会総会	2019.2.11 ~13	岡山市	米山 文弥 岡村 達 殿村 玲 瀧口 洋司	小児心臓手術後の急性腎障害における尿中バイオマーカーの有効性
第49回 日本心臓血管外科学会総会	2019.2.11 ~13	岡山市	殿村 玲 岡村 達 米山 文弥 瀧口 洋司	Fallot 四徴症術後遠隔期の肺動脈弁閉鎖不全に対する肺動脈弁置換術の検討
第179回 日本胸部外科学会関東甲信地方会	2019.3.2	東京都	殿村 玲 岡村 達 山田有希子 米山 文弥	TAPVC(1b)を伴うAsplenia に対してbilateral BDG手術を施行した1例
第55回 日本小児外科学会学術集会	2018.5.30 ~6.1	新潟市	高見澤 滋 好沢 克 畑田 智子 服部 健吾 三宅優一郎 亀井 智泉	当院における胃瘻からのミキサー食栄養療法の実施状況に関するアンケート調査結果
第55回 日本小児外科学会学術集会	2018.5.30 ~6.1	新潟市	高見澤 滋 好沢 克 畑田 智子 服部 健吾 三宅優一郎	スライド気管形成術と気管気管支吻合を行った全長型先天性気管狭窄症に右主気管支食道起始症を合併した1例
第55回 日本小児外科学会学術集会	2018.5.30 ~6.1	新潟市	服部 健吾 高見澤 滋 三宅優一郎 畑田 智子 好沢 克	前庭部胃重複症に対する幽門輪温存のための腹腔鏡内視鏡合同手術(LECS)
第55回 日本小児外科学会学術集会	2018.5.30 ~6.2	新潟市	服部 健吾 高見澤 滋 三宅優一郎 畑田 智子 好沢 克	軽症先天性横隔膜ヘルニアにおける胸腔鏡カメラポート挿入による気胸合併症
第55回 日本小児外科学会学術集会	2018.5.30 ~6.1	新潟市	三宅優一郎 高見澤 滋 服部 健吾 畑田 智子 好沢 克	喉頭気管分離術後の気管腕動脈瘻を予防するための治療戦略
第55回 日本小児外科学会学術集会	2018.5.30 ~6.1	新潟市	好沢 克 高見澤 滋 畑田 智子 服部 健吾 三宅優一郎	当科における先天性胆道拡張症新生児手術症例の臨床的検討
第55回 日本小児外科学会学術集会	2018.5.30 ~6.1	新潟市	畑田 智子 高見澤 滋 好沢 克 服部 健吾 三宅優一郎 吉澤 一貴	当院における男児の高位鎖肛術後の排便状況
第32回 日本小児ストーマ・排泄・創傷管理研究会	2018.6.30	東京都	高見澤 滋 好沢 克 畑田 智子 服部 健吾 三宅優一郎	ミキサー食を用いた胃瘻栄養の現状~当院胃瘻外来で行ったアンケート調査結果より~



学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第54回 日本周産期・新生児医学会学術集会	2018.7.8-10	東京都	三宅優一郎 高見澤 滋 畑田 智子 好沢 克	新生児病棟入院中の胃食道逆流症診療に24時間食道内pHモニタリングは有用か?
第54回 日本周産期・新生児医学会学術集会	2018.7.8-10	東京都	高見澤 滋 三宅優一郎 服部 健吾 畑田 智子 好沢 克 廣間 武彦	ロング・ギャップ食道閉鎖症A型にFoker変法を行い一期的食道吻合術を行った1新生児例
第53回 日本小児外科学会関東甲信越地方会	2018.10.13	東京都	藤原憲太郎 好沢 克 高見 澤滋 畑田 智子 石井 惇也	骨盤部神経節芽腫に対する陽子線治療前に両側卵巣移動術を施行し、その後両側卵巣を復位した1例
第48回 日本小児外科代謝研究会	2018.10.25	東京都	高見澤 滋 藤原憲太郎 石井惇也 畑田 智子 好沢 克	胃瘻からの経腸栄養剤およびミキサー食投与時の血清亜鉛、セレン、トランスサイレチン値
第38回 日本小児内視鏡外科・手術手技研究会	2018.10.25 ~26	東京都	服部 健吾 津川 二郎 渡部 彩 岡本 光正 西島 栄治 高見澤 滋	腹腔鏡下噴門形成術に併施する胃瘻造設術の方法
第38回 日本小児内視鏡外科・手術手技研究会	2018.10.25 ~26	東京都	石井 惇也 高見澤 滋 好沢 克 畑田 智子 藤原憲太郎	新生児期にメッケル憩室穿孔を来した3例
第45回 日本胆道閉鎖症研究会	2018.11.3	久留米市	好沢 克 高見澤 滋 畑田 智子 石井 惇也 藤原憲太郎	胆道閉鎖症初回手術後における茵蔯蒿湯内服症例の検討
第60回 日本小児血液・がん学会学術集会	2018.11.14 ~16	京都市	好沢 克 高見澤 滋 畑田 智子 石井 惇也 藤原憲太郎 坂下 一夫 倉田 敬 小森 一寿 内田恵理子	腫瘍破裂をきたした横紋筋肉腫成分を伴った卵巣低分化型Sertoli-Leydig細胞腫の1例
第60回 日本小児血液・がん学会学術集会	2018.11.14 ~16	京都市	畑田 智子 高見澤 滋 好沢 克	腹部外傷により腫瘍破裂を生じた脾solid pseudopapillary tumorの1例
第7回 日本小児診療多職種研究会	2018.11.24	北九州市	高見澤 滋 亀井 智泉	アンケート調査から見る在宅胃瘻栄養患者におけるミキサー食注入の現状
第31回 日本内視鏡外科学会総会	2018.12.6 ~8	福岡市	服部 健吾 高見澤 滋 畑田 智子 好沢 克	小児内視鏡外科手術の基盤作り 技術認定取得というスタートラインへ
第31回 日本内視鏡外科学会総会	2018.12.6 ~9	福岡市	服部 健吾 高見澤 滋	軽症先天性横隔膜ヘルニアにおける胸腔鏡カメラポート挿入による肺損傷
第31回 日本内視鏡外科学会総会	2018.12.6 ~9	福岡市	畑田 智子 高見澤 滋 好沢 克	当院における腹腔鏡補助下ヒルシュスブルグ病手術の統一化

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第34回 日本静脈経腸栄養学会学術集会	2019.2.14 ~15	東京都	高見澤 滋 澁谷 洋子 畑田 智子	重症心身障害児・者におけるミキサー食を用いた在宅胃瘻栄養の実際
第57回 日本小児股関節研究会	2018.06.23	仙台市	松原 光宏	乳児健診で臼蓋形成不全がスクリーニングできるか？
第55回 日本リハビリテーション医学会	2018.6.28	福岡市	酒井 典子	運動器コホート研究による外反母趾の有病率と他運動器疾患との関連性
第31回 日本創外固定・骨延長学会	2018.08.03	弘前市	松原 光宏	創外固定器からプレートへのコンバージョン手術の有効性
第122回 信州整形外科懇談会	2018.8.18	小諸市	白山 輝樹	こどもの下肢痛 成長痛で良いのか？
第122回 信州整形外科懇談会	2018.8.18	小諸市	樽田 大輝	乳児臼蓋形成不全の自然経過
第122回 信州整形外科懇談会	2018.8.18	小諸市	松原 光宏	乳児期の臼蓋形成不全を『推奨項目』でスクリーニングできるか？
第131回 中部整形外科災害外科	2018.10.5	倉敷市	松原 光宏	新たな乳児股関節健診の取り組み
第29回 日本小児整形外科学会	2018.12.14	名古屋市	白山 輝樹	こどもの下肢痛 成長痛で良いのか？
第29回 日本小児整形外科学会	2018.12.14	名古屋市	樽田 大輝	乳児臼蓋形成不全の自然経過
第29回 日本小児整形外科学会	2018.12.14	名古屋市	松原 光宏	臼蓋形成不全を「推奨項目」でスクリーニングできるか？
第123回 信州整形外科懇談会	2019.02.02	松本市	松原 光宏	乳児期の臼蓋形成不全を「推奨項目」でスクリーニングできるか？
第123回 信州整形外科懇談会	2019.02.02	松本市	泉水 康洋	DDH治療後 再脱臼・側方化の予測因子
第123回 信州整形外科懇談会	2019.02.03	松本市	酒井 典子	青年期の二分脊椎による麻痺性内反足の治療
第1回 信州小児整形外科勉強会	2019.03.11	松本市	松原 光宏	一度は聞いてみたい小児整形外科



学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第61回 日本形成外科学会総会・学術集会	2018.04.11 ~13	福岡市	野口 昌彦 倉田 和之 星野 夕紀 矢口貴一郎	症候性頭蓋骨縫合早期癒合症例の中顔面骨延長術後に生じた中顔面位置後退に対する人工骨を用いた形成
第61回 日本形成外科学会総会・学術集会	2018.04.11 ~13	福岡市	野口 昌彦 矢口貴一郎 星野 夕紀	Nuss 法術後のパー挿入肋間の拡大は形成した胸郭形態に影響する
第61回 日本形成外科学会総会・学術集会	2018.04.11 ~13	福岡市	星野 夕紀 野口 昌彦 矢口貴一郎	Nuss 法パー抜去困難症例の検討から
第61回 日本形成外科学会総会・学術集会	2018.04.11 ~13	福岡市	矢口貴一郎 杠 俊介 永井 史緒 星野 夕紀 野口 昌彦	就学前に行う顎裂骨移植に関する臨床的検討
第61回 日本形成外科学会総会・学術集会	2018.04.11 ~13	福岡市	永井史緒(信大) 杠 俊介 野口 昌彦 矢口貴一郎	口唇裂術後鼻変形に対する変形別の最終手術
第42回 日本口蓋裂学会総会・学術集会	2018.05.24 ~25	大阪市	永井史緒(信大) 杠 俊介 矢口貴一郎 野口 昌彦	片側口唇裂患者の外鼻の基準値の変化 ~ 初回手術と5歳児の直接計測による調査 ~ 片側口唇口蓋裂外鼻における初回形成術後就学前までの計測上変化
第42回 日本口蓋裂学会総会・学術集会	2018.05.24 ~25	大阪市	矢口貴一郎 杠 俊介 永井 史緒 星野 夕紀 野口 昌彦	眼科手術用ナイフの顎裂骨移植術への応用
第6回 日本眼形成再建外科学会 学術集会	2018.06.2 ~3	横浜市	野口 昌彦	シンポジウム：先天性眼瞼下垂：筋膜移植術
The 14 <sup>th</sup> Korea-Japan Congress of Plastic and Reconstructive Surgery	2018.06.3 ~5	韓国 平昌	Nagai F, Yuzuriha S, Noguchi M, Yaguchi K.	Median tubercle plasty in cleft lip
Chest International Group Annual Meeting 2018	2018.06.13 ~15	Souel	Noguchi M, Hoshino Y, Yaguchi K.	Enlargement of the intercostal space after primary Nuss procedure create an adverse result for the reconstructed thoracic shape
信州形成外科学会 76 回例会	2018.6.16	松本市	矢口貴一郎 野口 昌彦 永 能 周 星野 夕紀 杠 俊介	気管外ステントで生じた気管食道瘻を内肋間筋骨膜弁で再建した1例
第53回 中部形成外科学会学術集会	2018.7.14	安曇野市	矢口貴一郎 野口 昌彦 安永 能 星野 夕紀 杠 俊介	気管外ステントで生じた気管食道瘻を内肋間筋骨膜弁で再建した1例

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第 53 回 中部形成外科学会学術集会	2018.7.14	安曇野市	永井史緒(信大) 杠 俊介 黒住 昌弘 野口 昌彦 星野 夕紀 矢口貴一郎	脈管奇形に対する緩和治療 ～オーダーメイドストッキングと漢方の使用～
第 16 回 血管腫血管奇形学会学術集会	2018.07.20 ～21	大阪市	永井史緒(信大) 杠 俊介 黒住 昌弘 野口 昌彦 星野 夕紀 矢口貴一郎	オーダーメイド弾性ストッキングの工夫：四肢脈管奇形に対する緩和治療におけるその位置づけ
第 36 日本顎顔面外科学会	2018.10.11 ～12	札幌市	野口 昌彦 星野 夕紀 矢口貴一郎	パネルディスカッション： ただ拡大すればいいのか？ unfavorable results を通じた 得た陥裂狭小症候群の治療概念
第 27 回 日本形成外科学会基礎学術集会	2018.10.18 ～19	東京都	野口 昌彦 矢口貴一郎 星野 夕紀	パネルディスカッション2 【胸郭変形への挑戦】 胸郭運動システムを考慮した 変形胸郭の形態再建
第 18 回 Nuss 法手術手技漏斗胸研究会	2018.11.10	吹田市	野口 昌彦 矢口貴一郎 星野 夕紀	Nuss 法術後のバー挿入 肋間の拡大予防に対する ケーブルワイヤー固定の効果
第 11 回 Craniofacial Center Workshop	2018.12.8	大阪市	野口 昌彦	トピックスレポート： 第 14 回 Craniosynostosi 研究会を主催して
信州形成外科学会 77 回例会	2018.12.15	富士見町	矢口貴一郎 野口 昌彦 星野 夕紀	インターネットで容易に 購入可能な業務用強度油 取り除去剤(pH14)で受 傷した 5 か月男児の化学 熱傷
第 46 回 日本小児神経外科学会 (シンポジウム)	2018.6.9	東京都	重田 裕明 金谷 康平 本郷 一博 宮入 洋祐	脊髄脂肪腫術後の再係留 における排尿機能評価と 適切な外科的治療介入の 検討
第 46 回 日本小児神経外科学会	2018.6.9	東京都	宮入 洋祐 重田 裕明 本郷 一博	ZIP サージカルスキנק ロージャーの有用性 一 大きな皮膚欠損と高度脊 椎後弯を伴う脊髄裂での 経験
第 46 回 日本小児神経外科学会	2018.6.9	東京都	陸川 保子 増澤 智子 西澤 博子 重田 裕明	脳神経外科手術におけ る体位作成マニュアルの 整備
第 122 回信州脳神経外科集談会	2018.6.16	松本市	長峰 広平 金谷 康平 重田 裕明 小木曾嘉文	生後 3 か月間で急速に増 大した頭蓋骨腫瘍の乳児 例
第 36 回 日本こども病院神経外科医会	2018.11.17	福岡市	宮入 洋祐 神谷 圭祐 重田 裕明	新生児の後頭蓋破裂脳動 脈瘤の一例



学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第123回 信州脳神経外科集談会	2018.12.1	長野市	神谷 圭祐 宮入 洋祐 重田 裕明	オブジーボによる小児 Meningeal melanomatosis の治療経験
第27回 日本小児泌尿器科学会	2018.6.28	金沢市	市野みどり 岸蔭 貴裕 北原 梓 関 聡	膀胱容量増大を伴うVUR 症例に対する介入
第193回 日本泌尿器科学会信州地方会	2018.10.6	小諸市	岸蔭 貴裕 市野みどり 西澤 秀治	女兒の隠れた尿道狭窄 - OAB・f UTIの原因疾患
第27回 長野県小児腎臓病研究会	2018.10.20	松本市	市野みどり	VUR・尿路感染症の診療 について 泌尿器科の立場から
第194回 日本泌尿器科学会信州地方会	2019.3.2	松本市	岸蔭 貴裕 市野みどり	有症状時エコーの重要性、 間欠性水腎症の診断
第194回 日本泌尿器科学会信州地方会	2019.3.2	松本市	市野みどり 岸蔭 貴裕	小児の神経因性膀胱 - 小児医療から成人期医 療への移行に向けて
第122回 日本眼科学会総会	2018.4.20	大阪市	北澤 憲孝	長野県立こども病院での 未熟児網膜症に対する10 年間の網膜光凝固術の治 療成績
日本小児麻酔学会 第25回大会	2018.10.20 ~21	神戸市	山内 大志 阿部 世紀	中等症 - 重症僧帽弁狭窄症 乳児に対する全頭蓋骨拡 大再建術の麻酔経験
第46回 日本集中治療医学会学術集会	2019.3.1~3	京都市	大西 健仁 師川 紘一 岡本 剛 箕浦 啓宣 佐藤 公則 黒坂 了正 北村 真友 高見 澤滋	当院で経験した遅発性先 天性横隔膜ヘルニアの2 症例
第46回 日本集中治療医学会学術集会	2019.3.1~3	京都市	箕浦 啓宣 岡本 剛 大西 健仁 佐藤 公則 黒坂 了正 北村 真友 市野 隆	口蓋形成術後の呼吸管理 における気管チューブの カフの有無による有害事 象の検討
第46回 日本集中治療医学会学術集会	2019.3.1~3	京都市	黒坂 了正 北村 真友 佐藤 公則	収益面から見た長野県に おける周産期小児病院間 搬送の実態 - 永続可能な 事業を目指して
2017年 小児腫瘍分類委員会・症例検討会	2018.8.31	さいたま市	小木曾嘉文	大脳軟髄膜に発生した黒 色腫症の1例
日本小児科学会長野地方会	2018.5.27	安曇野市	佐渡 智光 中田 節子 津野 隆久 山内 翔子 三澤 由佳 小林 大祐 和田 啓慈	銀杏中毒による痙攣を繰 り返した例



学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第 60 回 日本小児神経学会学術集会	2018.6.1	千葉市	福山 哲広 山内 翔子 服部 有香 中島 英子 稲葉 雄二 平林 伸一 三澤 由佳	皮質下白質拡散能低下を呈する急性脳症後てんかんはシクロスポリンAを含んだ急性期治療で予防できる可能性がある
第 21 回 新生児呼吸療法 モニタリングフォーラム	2019.2.14	大田市	藤原香織	安心安全な投薬マニュアル 県立こども病院の場合 (薬剤師の立場から)
第 21 回 新生児呼吸療法 モニタリングフォーラム	2019.2.14 ~16	大田市	古牧としえ	安心・安全な投薬マニュアル 長野県立こども病院の場合
第 21 回 新生児呼吸療法 モニタリングフォーラム	2019.2.14 ~16	大田市	岡部 稔枝	新生児病棟における使用状況の報告 - 蘇生時から退院まで -
第 21 回 新生児呼吸療法 モニタリングフォーラム	2019.2.14 ~16	大田市	深尾 有紀	NAVAとのE~di(いい出会い) -長野でのNAVA看護の実際と Family Centered Care-
第 21 回 新生児呼吸療法 モニタリングフォーラム	2019.2.16	大田市	三澤 由佳	IPV の適応疾患について
第 13 回 小児耳鼻咽喉科学会	2018.7.12 ~13	横浜市	佐藤梨里子 工 穰 藤 出浦美智恵 岩崎 聡 宇佐美真一	口蓋裂児の滲出性中耳炎における鼓膜チューブ留置術の検討
長野県地方部会	2018.12.16	松本市	佐藤梨里子 北尻真一郎 工 穰 宇佐美真一	こども病院で補聴器装用を開始したダウン症児の検討
Asian confederation for physical therapy congress 2018	2018.11.23 ~25	Cebu City	Nishikawa R, Kimura T, Nishizawa H, Tajiri M, Kato M, Takahashi S, Hoshi K.	SUITABLE VISUAL CUES FOR GAIT DISTURBANCE IN PATIENTS WITH PARKINSON' S DISEASE: AN EXPLORATORY STUDY
第 29 回 日本心エコー学会	2018.4.26 ~28	盛岡市	齊川 祐子 安河内 聡 瀧間 浄宏 武井 黄太 内海 雅史 川村 順平 日高恵以子	"Myocardial work" による 心臓再同期療法遠隔期に おける心機能評価
第 66 回 日本輸血・細胞治療学会	2018.5.24 ~26	宇都宮市	小林 純 立澤 有香 徳竹 由美 小野 貴子 久保田紀子 日高恵以子 中村 友彦 坂下 一夫 小嶋 俊介 下平 滋隆 柳沢 龍	小児における重炭酸リン ゲル液を用いた置換血小 板の安全性および有効性 の検討 (学術奨励賞受賞 講演)
第 66 回 日本輸血・細胞治療学会	2018.5.24 ~26	宇都宮市	立澤 有香 小林 純 小野 貴子 徳竹 由美 日高恵以子 坂下 一夫 柳沢 龍	小児輸血で発症したアレ ルギー反応の後方視的検 証



学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第91回 日本超音波医学会	2018.6.8 ~10	神戸市	齊川 祐子 安河内 聰 瀧間 浄宏 武井 黄太 日高恵以子	Shear wave dispersion による Fontan 術後肝線維化障害評価
第54回 小児循環器病学会	2018.7.5~7	横浜市	齊川 祐子 安河内 聰 瀧間 浄宏 武井 黄太 内海 雅史 中村 太地 川村 順平 浮網 聖実 前澤身江子 沼田 隆佑	フォロー四徴症術後患者の右室容積評価に2D心エコーによる右室面積は有用か
第80回 日本血液学会	2018.10.12 ~14	大阪市	80H, Nishina S, Hidaka E, Kubota N, Yok-Lam Kwong, Nakazawa H, Ishida F.	Mutational profiles of <i>STAT3</i> , <i>STAT5B</i> and <i>TNFAIP3</i> in large granular lymphocyte leukemia (大顆粒リンパ球白血病における <i>STAT3</i> , <i>STAT5B</i> および <i>TNFAIP3</i> 遺伝子変異プロファイル)
第43回 長野県臨床検査学会	2018.11.11	佐久市	大塚 彩香 日高恵以子 久保田紀子	グラム染色における 被食食細菌形態の経時的観察
第65回 日本臨床検査医学会	2018.11.15 ~17	東京都	二木亜希子 森田 温 日高恵以子 久保田紀子 山浦 洵 堀 敦詞 本田 孝行 日高 宏哉	新生児の血清中総脂肪酸組成の検討
第30回 日本臨床微生物学会	2019.2.1~3	東京都	大塚 彩香 久保田紀子 林 航 谷口 唯 田中 隼斗 小出 将太 前山 佳彦 長野由紀子 長野 則之	小児臨床材料由来基質特異性拡張型 $\beta$ -ラクタマーゼ産生腸内細菌科細菌の解析; CTX -M-27 産生 <i>Escherichia coli</i> の高頻度分布
第41回 日本小児放射線技術研究会	2018.4.14	横浜市	粟津原信一	当院におけるMRI検査の医療安全確保
平成30年度 長野県立病院機構診療放射線技師研修会	2019.2.23	安曇野市	伊藤 翼	院内感染防止への取り組み
平成30年度 長野県立病院機構薬剤師研修会	2018.5.19	長野市	藤原 香織 熊谷 静香	長野県立こども病院における薬剤師の役割
日本病院薬剤師会関東ブロック 第48回学術大会	2018.8.25 ~26	宇都宮市	上條早奈美 堀 勝幸	こども病院における母親学級への取り組みに参加して
第37回 長野県病院薬剤師会専門講座	2018.11.4	松本市	西條 純	小児領域における抗凝固療法
第28回 日本医療薬学会	2018.11.23 ~25	神戸市	鈴木 英二 吾妻 貴司 熊谷 静香 牧内 里衣 堀 勝幸	院内製剤セレン注射液における新しい品質試験法の検討
第28回 日本医療薬学会	2018.11.23 ~25	神戸市	西條 純 鈴木 英二 藤原 香織 堀 勝幸	NICUにおけるバンコマイシンの腎機能を考慮した投与量設定に関する検討

学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第25回 日本体外循環医学会 関東甲信越地方会	2018.4.21 ~22	箱根町	峯村奈津希 児野 徹 佐藤 直己 金子 克	当院における人工心肺操作までの道のり
第28回 日本臨床工学会	2018.5.26 ~27	横浜市	佐藤 直己 児野 徹 峯村奈津希 金子 克	当院の人工呼吸器回路交換トレーニングについて
第44回 日本体外循環技術医学会大会	2018.11.10 ~11	金沢市	児野 徹 佐藤 直己 峯村奈津希 金子 克	当院における新卒者教育プログラムについて
第32回 日本小児救急医学会学術集会	2018.6.3	つくば市	川腰 康太 横山みゆき	院外搬送に対する依頼元看護師の意識調査
第43回 日本外科系連合学会	2018.6.22	東京都	古池 仁美 西沢 博子 桑山 美鈴	術後訪問実施率向上への取組み 原因分析から問題抽出まで
第43回 日本外科系連合学会	2018.6.23	東京都	前田 奈美 桑山 美鈴 西沢 博子	手術体位による皮膚損傷を予防するために科学的根拠を用いる
第54回 日本小児循環器学会学術総会	2018.7.7	横浜市	奥原由美子 赤堀 明子 小笠原真織 安河内 聡 瀧間 浄宏	長野県立こども病院における成人移行期支援第2報
第28回 小児看護学会	2018.7.21 ~22	名古屋市	中野 彩美 山崎 紀江	出生直後より他院に搬送された児の母親の初回面会までの思い
第18回 中部小児がんトータルケア研究会	2018.9.29	松本市	小野 篤 関谷 真輝 林部 麻美	思春期の小児がん患者への成人移行期支援プログラムを活用する際の病棟看護師の役割について ~大学受験と一人暮らしを控えた児への移行期支援を通して~
第39回 長野県看護研究学会	2018.10.6	松本市	吉瀬 瞳	A病院新生児病棟に入院する児の母親における面会時の過ごし方と意思についての検討
第38回 長野県看護研究学会	2018.10.14	松本市	小林 翔子 林部 麻美	妊娠中の母親が、幼児期の小児がんの子どもに寄り添う際に感じる身体的・精神的影響
日本小児麻酔学会 第24回大会	2018.10.22	兵庫県 中央区	篠原 朋未 前田 奈美 市野 隆 桑山 美鈴	外回り看護におけるシミュレーションの意識調査とこんごの課題
第28回 日本新生児学会学術集会	2018.11.23 ~24	東京都	戸堀 綾香	終末期看護を経験したNICU看護師への支援体制の検討
第34回 日本経静脈経腸栄養学会	2019.2.14 ~15	東京都	笠原 美和 坂下 裕美 高見 沢滋	A病院新生児病棟におけるNST介入の基準の検討



学会等の名称	開催日	場所	発表者	内容
第46回 日本小児神経外科学会	2018.6.8-9	東京都	塩崎 暁子 重田 裕明	「脳神経の病気」を子どもに伝えるときの工夫と多職種連携
第65回 日本小児保健協会学術集会	2018.6.14 ~16	米子市	塩崎 暁子 矢田 晴之 稲葉 雄二	自閉スペクトラム症児における医療的ケアに対する自律性の育み ~トークンエコノミー法によるアプローチ~
第42回 日本遺伝カウンセリング学会学術集会	2018.6.29 ~7.1	仙台市	荒川 経子 近藤 由佳 中村 友彦 樋口 司 古庄 知己	長野県立こども病院における「CGCフォローアップ」 —ダウン症児を持つ家族への取り組みを中心に—
第23回 日本難病看護学会学術集会	2018.7.21	上越市	福島 華子	「小児慢性特定疾患児の腫額支援~保健・医療・福祉・教育の連携~」 「家族の笑顔を増やすための支援」
第44回 日本重症心身障害学会学術集会	2018.9.28 ~29	東京都	三間真理子	医療的ケア児(者)の災害時対策の実態調査
第41回 小児遺伝学術集会	2019.1.11 ~12	名古屋市	荒川 経子 武田 良淳 近藤 由佳 中村 友彦 樋口 司 古庄 知己	長野県立こども病院における 「CGCフォローアップ」

## 6 研究論文について

### ● 信州医療センター

著者名	題名	著者・雑誌・集録名・発行年・出版社名
渡辺 憲弥 三井 勝博 福澤 拓馬	劇症型溶血性連鎖球菌感染症の6例の検討	整形・災害外科 Vol.61 No.6 2018
赤松 泰次	Helicobacter pylori 学校検診の現状と問題点	日本ヘリコバクター学会誌 Vol.20 No.1 (別刷)
赤松 泰次	病因解明と診断・治療の最新知見	日本臨床炎症性腸疾患 (第2版)
赤松 泰次 長浜 隆司 入口 陽介 幸田 隆彦 成澤林太郎 平川 克哉	対策型胃内視鏡検診の現状と問題点	胃と腸 第53巻 第8号別刷 2018 7月25日発行
渡辺 憲弥 三井 勝博 西村 匡博 山岸 佑輔	前方侵入法によるX線透視装置併用 人口股関節置術におけるカップ設置精度 の検証ならびに前方開角の単純X線およ びCT計測値の比較検討	整形外科 Vol.69 No.9 (2018-8)
赤松 泰次 下平 和久 宮島 正行 中村真一郎 植原 啓之 木畑 種 井上 勝朗	対策型胃内視鏡検診における観察撮影法	胃と腸 第53巻 第8号別刷 2018 7月25日発行
渡辺 憲弥 西村 匡博 山岸 佑輔	小児傍脊柱筋肉膿瘍の1例	中部整災誌 2018; 61: 433-434
赤松 泰次 下平 和久 宮島 正行 中村真一郎 植原 啓之 木畑 種 井上 勝朗	内視鏡診療における高リスクとは何か?	消化器内視鏡 Vol.30 No.7 2018
渡辺 憲弥 倉石 修吾 山岸 佑輔	腰椎すべり症に対する OLIF 後に膀胱直 腸障害をきたした1例	中部整災誌 2018; 61: 1165-1166
赤松 泰次	内視鏡の紹介	Gastroenterological Endoscopy 61巻2号 (平成31年度2月20日)別刷
荒木 太亮 岩波 直弥 濱峰 幸 牛木 淳人 山崎 善隆	診断に難渋し外科的腹膜生検により診断 した肺結核・結核性腹膜炎の1例	結核 2019, 94, 45-50.
山崎 善隆	病気がみえる 免疫・膠原病・感染症 (第2版) 抗酸菌 (監修)	MEDIC MEDIA, 東京 2018
山崎 善隆	病気がみえる 呼吸器 (第2版) 抗酸菌 (監修)	MEDIC MEDIA, 東京 2018
田中 健二	治療薬ハンドブック 2019	消毒薬の頁 P 1462-1478, じほう



● こころの医療センター駒ヶ根

著者名	題名	著者・雑誌・集録名・発行年・出版社名
山田 慎二 原田 謙	防衛機軸の発達—思春期を中心に	小児内科, vol.51,No.2,p258-262 (February 2019)
埴原 秋児	地域包括ケアを含めた認知症ケア精神科医療としての認知症診療	病院・地域精神医学、 61巻1号、 p30-31(2018.10)
Mutai H, Furukawa T, Wakabayashi A, Suzuki A, Hanihara T.	Functional outcomes of inpatient rehabilitation in very elderly patients with stroke: differences across three age groups.	Top Stroke Rehabil. 2018 May;25(4):269-275
大越 拓郎	医療スタッフのアルコール依存症に関する理解度 - 精神科からの出前講座における調査より -	病院・地域精神医学 第61巻 第1号(通巻207号)
五味 和彦	論壇<薬剤師の精神科業務について思うところ>	週刊薬事新報、第3075号、 p5(2018.12)

● 木曾病院

著者名	題名	著者・雑誌・集録名・発行年・出版社名
Takeuchi D, Koide N, Suzuki A, Shimizu F, Koyama Y, Ehara T, Yamamoto Y, Koyama M, Nakamura S, Kitazawa M, Miyagawa Y, Miyagawa S.	High incidence of other primary malignancies in patients with synchronous multiple gastric cancers`a multi-center retrospective study	Oncotarget 9 (29) : 20605-20616, 2018
北川 奈美 小出 直彦 小山 佳紀 加賀谷文紘 久米田茂喜	全身性強皮症に併存した食道扁平上皮癌の1例	信州医学雑誌 66(3): 213-219,2018
監 修：宮田 佳典 編 者：中信がん薬業連携推進ワーキンググループ 執 筆：三浦 篤史 國枝 献治 鬼窪 利英 石川 寛 中村 久美 吉野 真樹 山本 亮 向山 百合 松原 重征 加賀美秀樹	保険薬局薬剤師のための もうビビらない！がん関連処方対応術	株式会社南山堂、 2019年4月3日
吉岡 郁郎 窪田 文香 宮下 昭太	『清暑益気湯』(TJ-136)と 『補中益気湯』(TJ-41)	産婦人科 漢方研究の歩み No35 2018年 診断と治療社
吉岡 郁郎 窪田 文香 今西 俊明	(原著) 不定愁訴患者と当科考案の『不定愁訴スコア(SIC)』との関係～『ドクター・ショッピング』という視点からの検討～	女性心身医学 第23巻 第2号

● こども病院

著者名	題名	著者・雑誌・集録名・発行年・出版社名
Miyosawa Y, Akazawa Y, Kamiya M, Nakamura C, Takeuchi Y, Kusakari M, Nakamura T.	Presepsin as a predictor of positive blood culture in suspected neonatal sepsis.	Pediatr Inter 2018;60:157-161
Akazawa Y, Yamazaki S, Obinata H, Hachiya A, Kamiya M, Motoki N, Nakamura T.	Decreased circulating insulin-like growth factor 1 levels are associated with cardiac diastolic dysfunction in small for gestational age infants.	Am J Perinatal 2018; 35:1178-1185
Shibuya S, Miyake Y, Takamizawa S, Nishi E, Yoshizawa K, Hatata T, Yoshizawa K, Fujita K, Noguchi M, Ohata J, Hirota T, Nakamura T, Kosho T.	Safety and efficacy of noncardiac surgical procedures in the management of patients with trisomy 13: A single institution-based detailed clinical observation.	Am J Med Genet A. 2018 May;176(5):1137-1144.
Gima H, Kihara H, Watanabe H, Nakano H, Nakano J, Konishi Y, Nakamura T, Taga G.	Early motor signs of autism spectrum disorder in spontaneous position and movement of head	Exp Brain Res. 2018;236:1139-1148
Yanagisawa T, Nakamura T.	Survey of hospitalized patients with RS virus in Nagano, Japan.	Pediatr Int. 2018;60:835-838.
佐藤さくら 小池 由美 海老澤元宏	食物アレルギー 小児期の即時型食物アレルギーの予後	日本小児アレルギー学会誌 (0914-2649)33巻1号 Page41-46
小池由美	【赤ちゃんとお母さんのためのアレルギー読本】 [総論]-食物アレルギー-食事 鶏卵アレルギーですが、加熱物は食べられます。マヨネーズも食べられますか (Q&A/特集)	周産期医学 (0386-9881) 48巻増刊 Page106
小池由美	【赤ちゃんとお母さんのためのアレルギー読本】 [総論]-食物アレルギー-食事 鶏卵アレルギーがあると魚卵は食べられないのですか (Q&A/特集)	周産期医学 (0386-9881) 48巻増刊 Page105
小池由美	【赤ちゃんとお母さんのためのアレルギー読本】 [総論]-食物アレルギー-食事 鶏卵の白身と黄身でアレルギーの起こし方は違いますか	周産期医学 (0386-9881) 48巻増刊 Page104
小池由美	【赤ちゃんとお母さんのためのアレルギー読本】 [総論]-食物アレルギー-食事 鶏卵は加熱するとアレルギーを起こさないのですか	周産期医学 (0386-9881) 48巻増刊 Page102-3
Saito S, Ogiso Y, Sakashita K.	Lymphadenopathy with coexisting normal architecture in malignant lymphoma.	Int J Hematol. 2018 Nov;108(5):463-464.
Akahane K, Watanabe A, Furuichi Y, Somazu S, Oshiro H, Goi K, Sakashita K, Muramatsu H, Hama A, Takahashi Y, Koike K, Kojima S, Sugita K, Inukai T.	Successful hematopoietic stem cell transplantation from an HLA-mismatched parent for engraftment failure after unrelated cord blood transplantation in patients with juvenile myelomonocytic leukemia.	Pediatr Transplant. 2019 May;23(3):e13378.
Kurata T, Matsuda K, Hirabayashi K, Shigemura T, Sakashita K, Nakahata T, Koike K.	Panobinostat inhibits the proliferation of CD34(+)CD38(-) cells under stimulation of hematopoietic growth factors on AGM-S3 cells in juvenile myelomonocytic leukemia.	Pediatr Blood Cancer. 2018 Nov;65(11):e27261.
Yanagisawa T, Saito S, Katsuyama Y, Hirabayashi K, Shigemura T, Tanaka M, Sakashita K, Nakazawa Y.	Successful induction of therapeutic urinary concentration by intravenous ganciclovir and oral valganciclovir with remission of adenoviral hemorrhagic cystitis after cord blood transplantation.	Pediatr Transplant. 2018 Jun 8:e13241.
Yanagisawa R, Kubota N, Hidaka E, Sakashita K, Tanaka M, Nakazawa Y, Nakamura T.	Cisplatin-induced nephrotoxicity in patients with advanced neuroblastoma.	Pediatr Blood Cancer. 2018 Sep;65(9):e27253
Saito S, Miyairi Y, Araya M, Yomo S, Kuwabara H, Uchida E, Watanabe T, Kurata T, Sakashita K, Shigeta H.	Radiation necrosis following proton therapy successfully treated by low-dose bevacizumab in a patient with relapsed anaplastic ependymoma.	Pediatr Blood Cancer. 2018 Aug;65(8):e27088.



著者名	題名	著者・雑誌・集録名・発行年・出版社名
Uchida E, Saito S, Watanabe T, Kurata T, Sakashita K.	Multiple Internal Jugular Vein Thromboses in a Patient With Localized Rhabdomyosarcoma.	J Pediatr Hematol Oncol. 2018 Nov;40(8):628-629.
山本かずな 寺野千香子 濱田 陸 橋本 淳也 武田 良淳 原田 涼子 石倉 健司 幡谷 浩史 長谷川行洋 本田 雅敬	腎機能障害を契機に診断された甲状腺機能低下症の1例	日本小児腎臓病学会雑誌 2018, 31巻2号, P167-171.
Kobayashi T, Nakamura Y, Suzuki T, Yamaguchi T, Takeda R, Takagi M, Hasegawa T, Kosho T, Kato H.	Efficacy and safety of Denosumab therapy for osteogenesis imperfecta patients with osteoporosis-case series.	J Clin Med. 2018, 7(12). Pii E479.
Higuchi S, Takagi M, Takeda R, Yoshihashi H, Narumi S, Hasegawa T.	An association with hypopituitarism and 9q deletion syndrome.	Clin Case Rep. 2018, 6(12): 2371-2375.
Sekijima Y, Koyama S, Yoshinaga T, Koinuma M, Inaba Y.	Nationwide survey on cerebrotendinous xanthomatosis in Japan.	J Hum Genet. 2018;63(3):271-280.
Unzaki A, Morisada N, Nozu K, Ye MJ, Ito S, Matsunaga T, Ishikura K, Ina S, Nagatani K, Okamoto T, Inaba Y, Ito N, Igarashi T, Kanda S, Ito K, Omune K, Iwaki T, Ueno K, Yahata M, Ohtsuka Y, Nishi E, Takahashi N, Ishikawa T, Goto S, Okamoto N, Iijima K.	Clinically diverse phenotypes and genotypes of patients with branchio-otorenal syndrome.	J Hum Genet. 2018;63(5):647-656.
Fukuyama T, Yamauchi S, Amagasa S, Hattori Y, Sasaki T, Nakajima H, Takei Y, Okuno J, Misawa Y, Fueki N, Kitamura M, Matsui H, Inaba Y, Hirabayashi S.	Early prognostic factors for acute encephalopathy with reduced subcortical diffusion.	Brain Dev. 2018;40(8):707-713.
Nishioka M, Inaba Y, Motobayashi M, Hara Y, Numata R, Amano Y, Shingu K, Yamamoto Y, Murayama K, Ohtake A, Nakazawa Y.	An infant case of diffuse cerebrospinal lesions and cardiomyopathy caused by a BOLA3 mutation.	Brain Dev. 2018;40(6):484-488.
Nakamura C, Inaba Y, Tsukahara K, Mochizuki M, Sawanobori E, Nakazawa Y, Aoyama K.	A pediatric case with peripheral facial nerve palsy caused by a granulomatous lesion associated with cat scratch disease.	Brain Dev. 2018;40(2):159-162.
Nasuno M, Shigemura T, Nakazawa Y, Inaba Y, Motobayashi M.	Postencephalitic epilepsy secondary to cytomegalovirus encephalitis.	Pediatr Int. 2018;60(8):758-760.
Moteki H, Isaka Y, Inaba Y, Motobayashi M, Nishio SY, Ohira S, Yano T, Iwasaki S, Shiozawa T, Koike K, Usami SI.	A rational approach to identifying newborns with hearing loss caused by congenital cytomegalovirus infection by dried blood spot screening.	Acta Otolaryngol. 018;138(8):708-712.
Shiba N, Inaba Y, Motobayashi M, Nishioka M, Kawasaki Y, Noda S, Matsuura H, Kobayashi N, Matsuoka T, Nakamura A, Nakazawa Y.	A Pediatric Case of Relapsing-Remitting Multiple Sclerosis Onset following Varicella Zoster Ophthalmicus with Optic Neuritis.	Case Rep Pediatr. 2018;2018:6931206.
Yamaguchi T, Takano K, Inaba Y, Morikawa M, Motobayashi M, Kawamura R, Wakui K, Nishi E, Hirabayashi SI, Fukushima Y, Kato H, Takahashi J, Kosho T.	PIEZO2 deficiency is a recognizable arthrogryposis syndrome: A new case and literature review.	Am J Med Genet A. 2019;179(6):948-957.
Sado T, Nakata S, Tsuno T, Sato M, Misawa Y, Yamauchi S, Inaba Y, Kobayashi D, Wada K.	Concentrations of various forms of vitamin B6 in ginkgo seed poisoning.	Brain Dev. 2019;41(3):292-295.



著者名	題名	著者・雑誌・集録名・発行年・出版社名
中嶋 英子 稲葉 雄二 山内 翔子 渥美 香奈 竹内史穂子 本林 光雄 三澤 由佳 日詰恵里子 平林 伸一	当院における発達障害専門外来の現状	長野県立こども病院医学雑誌 2019;2
Yonehara K, Ogawa R, Kamei Y, Oda A, Kokubo M, Hiroma T, Nakamura T.	Non-invasive neurally adjusted ventilatory assist versus nasal intermittent positive-pressure ventilation in preterm infants born before 30 weeks' gestation.	Pediatr Int. 2018 vol 10.:957-961
Oda A, Kamei Y, Hiroma T, Nakamura T.	Neurally adjusted ventilatory assist in extremely low-birthweight infants.	Pediatr Int. 2018 vol9:844-848.
鶴田 雅俊 廣間 武彦	新生児医療最新トピックNEXT(no.19) NICUに導入された新しい人工呼吸器:NAVA	Neonatal Care. 2018;31(10):960-961
辻 誠 小川 亮 廣間 武彦	【正期産児のベーシックケア 出生～1ヵ月健診まで】生後24時間までのケア	with NEO. 2019;32(2):198-207
糸島 亮	新生児慢性肺疾患	小児内科 2018年50巻増刊号 2018;50:41
林 辰司 小川 亮 廣間 武彦	【産科での新生児医療機器ガイド】蘇生に使用する機器 Tピース蘇生装置・回路	周産期医学 2018;48(6):653-656
中西 恵美 吉田 志朗 大家ゆず子 小西 久也 大岡 尚実 寺尾美代子 高木紀美代	胎胎膨隆症例における安静度の検討ー床上安静で妊娠予後は改善するか？ー	関東連合産科婦人科学会誌 2019;56(1):1-8
瀧間 浄宏	小児心エコー：断面と計測指標，基準値の実際	2018;45(6):561-569
Agematsu K, Okamura T, Takiguchi Y, Harada Y.	Pulmonary vein obstruction after primary sutureless pericardial repair of a total anomalous pulmonary venous connection.	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2018 Oct 1;27(4):624-625.
Agematsu K, Okamura T, Takiguchi Y, Yoneyama F, Harada Y.	Rapid growth of pulmonary artery after intrapulmonary artery septation.	Asian Cardiovasc Thorac Ann. 2018 Jul;26(6):479-481.
Yoneyama F, Okamura T.	Total Anomalous Pulmonary Venous Connection - Least Common Type Delineated on Computed Tomography.	Circ J. 2019 Mar 25;83(4):838.
Motoki H, Yasukochi S, Takigiku K, Takei K, Okamura T, Kimura K, Minamisawa M, Okada A, Saigusa T, Ebisawa S, Seto T, Shoda M, Okada K, Kuwahara K.	Establishment of a Healthcare System for Patients With Adult Congenital Heart Disease in Collaboration With Children's Hospital - The Nagano Model.	Circ J. 2019 Jan 25;83(2):424-431.
高見澤 滋	多段階食道瘻造設による胸壁内食道延長術	小児外科 2018;50(5):471-476
好沢 克 高見澤 滋 畑田 智子 服部 健吾 三宅優一郎	当科におけるチアノーゼ性心疾患を合併した先天性食道閉鎖症に対する治療戦略	小児外科 2018;50(6):575-578
高見澤 滋	開腹胃瘻造設術	小児外科 2018;50(9):879-883
三宅優一郎 高見澤 滋 好沢 克 畑田 智子 服部 健吾 瀧間 浄宏	【小児NST病態栄養シリーズ：経腸・静脈栄養手技のUp to date (上級編)】超音波ガイド下肋間静脈穿刺法によるBroviac catheter留置	小児外科 2018;50(11):1139-1141
三宅優一郎 高見澤 滋 好沢 克 畑田 智子 服部 健吾	診断に難渋した小児腔内異物の1例	日本小児外科学会雑誌 2018;54(6):1236-1239



著者名	題名	著者・雑誌・集録名・発行年・出版社名
Hattori K, Takamizawa S, Miyake Y, Hatata T, Yoshizawa K, Furukawa T, Kondo Y.	Preoperative sonographic evaluation of the defect size and the diaphragm rim in congenital diaphragmatic hernia — preliminary experience	Pediatric Radiology 2018;48:1550-1555
Hattori K, Takamizawa S, Miyake Y, Hatata T, Yoshizawa K, Furukawa T, Kondo Y.	Use of transabdominal (external) ultrasound during balloon dilatation to diagnose tracheobronchial remnant in congenital esophageal stenosis	World Jnl Ped Surgery 2018;1:e000006
Shibuya S, Miyake Y, Takamizawa S, Nishi E, Yoshizawa K, Hatata T, Yoshizawa K, Fujita K, Noguchi M, Ohata J, Hiroma T, Nakamura T, Kosho T.	Safety and efficacy of noncardiac surgical procedures in the management of patients with trisomy 13: A single institution-based detailed clinical observation.	Am J Med Genet A. 2018;176:1137-44
岩出 珠幾 高見澤 滋 三宅優一郎 服部 健吾 好沢 克	鈍的腹部外傷による小児消化管損傷6例の検討	日本小児救急医学会雑誌 2018;178(3):431-436
松原 光宏	新たな乳児股関節健診の取り組み	中部整形外科災害外科学会誌 2019;62:13-14
Noguchi N, Hoshino Y, Yaguchi K, Yuzuriha S.	New surgical procedure for treating asymmetric pectus carinatum with T pectus bar	Journal of Pediatric Surgery Case Reports 2018;39:26-28
Yaguchi K, Noguchi M, Yasunaga Y, Hoshino Y, Yuzuriha S.	Tracheoesophageal fistula due to a displaced external tracheal stent repaired T using a local flap composed of intercostal muscle and rib periosteum	Journal of Pediatric Surgery Case Reports 2019;42:48-50
野口昌彦	随想 「吾、三上にて随想す」	形成外科 2018;61(4)
野口昌彦	自著とその周辺	信州医学雑誌 2018;66(3):255
岩澤 幹直 (長野赤十字) 野口 昌彦 永井 史緒	先天性手足疾患の治療：母指形成不全	形成外科 2018;61(10):1268-1279
水藤 元武 (信大) 杠 俊介 永井 史緒 藤田 研也 野口 昌彦	片側完全口唇裂で外鼻の対称性を得るため初回形成術直後に達成すべき要点	形成外科 2018;61(9):1158-1167
杠俊介 (信大) 永井 史緒 矢口貴一郎 野口 昌彦 山田 一尋 村岡 理奈	長期成績を踏まえた顎裂部骨移植のコツ 顎裂部骨移植術(1) - 最終的な咬合獲得に至るまでの長期経過 -	形成外科 2018;61(7):802-14
矢口貴一郎 野口 昌彦 藤田 研也 一之瀬優子 岡村 達 杠 俊介	リードの温存が必須であったペースメーカー感染創における陰圧閉鎖療法の応用	創傷 2019;10(1):33-37
Suito M, Yuzuriha S, Iwasawa M, Yanagisawa D, Kinjo Y, Takashimizu I, Hoshino Y.	Therapeutic strategies for elbow ankyloses due to heterotopic ossification in patients with severe burns	JPRAS Open 2018;17:24-30
Saito S, Miyairi Y, Araya M, Yomo S, Kuwabara H, Uchida E, Watanabe T, Kurata T, Sakashita K, Shigeta H.	Radiation necrosis following proton therapy successfully treated by low-dose bevacizumab in a patient with relapsed anaplastic ependymoma.	PediatrBloodCancer. 2018 Aug;65(8):e27088. doi: 10.1002/pbc.27088. Epub 2018 Apr 18.
市野みどり	陰囊水腫、精巣捻転、停留精巣	小児疾患の診断治療基準 第5版 696-697
市野みどり	小児の泌尿器疾患	長野県小児科医会会報 2018;68:11-13

著者名	題名	著者・雑誌・集録名・発行年・出版社名
北澤憲孝	専門医研修機関としての国公立大学眼科責任者の履歴	眼科手術 2019;32(1):149-153
Saima T, Sato M, Miyake Y, Matsui H.	Unknown mass on chest radiography: Morgagni hernia identified on ultrasonography	Pediatric International 2018;60(9):904-905
Inamura N, Sato M.	Neonatal renovascular hypertension.	Pediatr Int. 2018;60:501
天笠 俊介 北村 真友 佐藤 公則 黒坂 了正 松井 彦郎	地方における集約化による小児重症患者診療体制の確立	日本小児科学会雑誌 2018;122巻(9号):1441-1449
北村 真友	“連携”と“モバイルICU”に託した小児救急強化戦略	新医療 2018;521(5):129-132
北村 真友	気道病変	小児科診療 2019;第82巻(第2号):203-211
小木曾嘉文 渡邊 達夫 倉田 敬 坂下 一夫	横紋筋肉腫様成分を伴った低分化型Sertoli-Leydig 細胞腫	日本小児血液・がん学会雑誌 2018;55:95
小木曾嘉文	症例検討委員会報告 (1)	日本SIDS・乳幼児突然死予防学会雑誌 (J Jap SIDS Res Soc) 2018;18(1):39-42
小木曾嘉文	症例検討委員会報告 (2)	日本SIDS・乳幼児突然死予防学会雑誌 (J Jap SIDS Res Soc) 2018;18(1):43-45
Saito S, Ogiso Y, Sakashita K.	Lymphadenopathy with coexisting normal architecture in malignant lymphoma.	Int J Hematol. 2018;108(5):463-464
Fukuyama T, Yamauchi S, Amagasa S, Hattori Y, Sasaki T, Nakajima H, Takei Y, Okuno J, Misawa Y, Fueki N, Kitamura M, Matsui H, Inaba Y, Hirabayashi S.	Early prognostic factors for acute encephalopathy with reduced subcortical diffusion.	Brain Dev. 2018;Sep;40(8):707-713.
Sado T, Nakata S, Tsuno T, Sato M, Misawa Y, Yamauchi S, Inaba Y, Kobayashi D, Wada K.	Concentrations of various forms of vitamin B6 in ginkgo seed poisoning.	Brain Dev. 2019;Mar;41(3):292-295.
久保田紀子 堀内 綾華 日高恵以子 川上 由行	rRNA 遺伝子相同性解析による感染起因菌同定法の有用性	長野県立こども病院医学雑誌. 2018;Vol1 No1:3-1
Yanagisawa R, Kubota N, Hidaka H, Sakashita K, Tanaka M, Nakazawa Y, Nakamura N.	Cisplatin-induced nephrotoxicity in patients with advanced neuroblastoma	Pediatr Blood Cancer. 2018; Sep;65(9):e27253. doi: 10.1002/pbc.27253. Epub 2018 May 24
粟津原信一	当院における MRI 検査の医療安全確保	journal of japanese pediatric radiological technology No44
堀 勝幸	未来を担う子ども達とその家族のために	長野県誌「りんどう」2月号
深尾 有紀 岡部 稔枝 上條恵理香	産前訪問にも使える NICU はじめて BOOK	with NEO 2019;vol.32 no.1 付録(p.1-17)
前田 奈美 栗山 美鈴 西沢 博子	手術室看護師がチーム医療の中で行う術前準備のコーディネート～術前の体位カンファレンスとプレパレーション～	手術看護エキスパート 2018;11(6):76-79



## 7 本部研修センターによる研修会開催状況

研修名	研修対象者	研修目的	日程	参加者数 (人)	
課程別研修	新規採用職員研修Ⅰ	新規採用職員	長野県立病院機構の役割と使命を理解し、組織の一員として、自ら学ぶ姿勢の必要性とスキルを学ぶ。 社会人として必要な基礎知識とスキル及び態度を学ぶ(新卒)。	4月12～13日	35(新卒)
				4月12日	29(既卒)
					合計 64
	新規採用職員課程Ⅱ	新規採用職員	成長を確認し、今後の仕事への取り組み方について考える。	7月6日	24(新卒)
				10月29日	10(新卒)
	勤務3年目研修	新卒入職後 3年目の職員	自己の成長と課題を明確にする。 入職後の仕事を振り返り、今後求められる役割を考える。仕事を進めるための思考力、実行力、伝達力について考える。	10月5日	28
				10月12日	25
					合計 53
	キャリア形成研修 (5年目)	資格取得又は 最終卒年から 5年目職員	現状の仕事と自身にとっての意味を考え、自己実現に向けて主体的なキャリア形成について学び、職務上の意欲、組織に対する貢献及び帰属意識の向上について考える。等	7月27日	26
				8月3日	23
	キャリア形成研修 (10年目)	資格取得又は 最終卒年から 10年目	これまでの経験を振り返り、自分の強み弱み、職場における自分の役割について考える。 自分の人生を充実させるための「ワーク」「ライフ」「マネー」バランスの観点から、今後のキャリア形成について学ぶ。等	9月7日	28
	キャリア形成研修 (15年目)	資格取得又は 最終卒年から 15年目職員	自分の経験を振り返り、強み弱み、職場での役割と、これからの自分に求められることを考える。 自分の人生を充実させるための「ワーク」「ライフ」「マネー」バランスの観点から、キャリア形成を学ぶ。等	11月8日	19
	キャリア形成研修 (20年目以上)	資格取得又は 最終卒年から 20年目又は 30年目職員	自己のキャリアを振り返る。 「ワーク」「ライフ」「マネー」バランスの観点から自身のこれからのを考える。 具体的な行動目標を立て、仕事に向き合う姿勢を前向きにする。等	10月25日	26
	リーダー研修Ⅰ フォロワーシップ研修	勤務4～7年目の 職員	上司の補佐役としての中堅職員の役割とフォロワーシップを学ぶ。  上司部下を含め、周りとの信頼関係の構築を学び、目標達成に向けリーダーシップを発揮できる力を磨く。	6月15日	45
リーダー研修Ⅱ リーダーシップ研修	7月13日			44	
コーチング研修	勤務5～10年目の 職員	コーチングの基本スキルを学び、コーチングの目的と進め方を理解する。	11月30日	15	
新管理職研修	職場内で管理的役割を担う役職について2年以内の職員 医師：診療科部長 看護職：看護師長 医療技術職：科長 事務職：課長 以上	県立病院機構の労務管理、管理の基礎・仕事の管理を学ぶ。 仕事の改善・人間関係など、より良い職場づくりを学ぶ。	6月20日	22	
キャリアサポート 研修	職場内で管理的役割を担う者 医師：診療科部長 看護職：看護師長 医療技術職：科長 事務職：課長 以上	部下職員のキャリア形成のための支援方法を学ぶ。	8月31日	17	

研修名		研修対象者	研修目的	日程	参加者数 (人)
選択研修	プレゼンテーション研修	全職種職員	プレゼンテーションの目的を明確に理解し、目的に沿ったパワーポイント資料の作成を学ぶ。	8月24日	13
	公文書の書き方等研修	全職種職員	公文書の意義や書き方を学び、公文書を理解して、作成できる力を身につける。 それぞれの職種の役割、知っておくべき労働条件や服務等を学び、機構職員としての自覚を身につける。	9月14日	37
	OJT研修	新規採用者の指導・育成に関わる職員及び希望する職員	OJTトレーナーとして、OJTの意義を理解し、OJTによる育成計画の策定方法を学ぶ。 仕事の指示の仕方・ほめ方・叱り方等、具体的な進め方を習得し、ケーススタディを通して実践力を高める。	2月22日	17
シミュレーション研修	シミュレーション教育指導スキルアップシリーズ①	①ハワイ SimTiki 研修受講済みの人 ②教育・指導に関心のある人	シミュレーション教育の基礎とシナリオ作成	6月22日 6月29日	機構内13 機構外16
	シミュレーション教育指導スキルアップシリーズ②	①ハワイ SimTiki 研修受講済みの人 ②教育・指導に関心のある人	ファシリテーション・デブリーフィング練習	9月21日 9月28日	機構内13 機構外16
	シミュレーション教育指導スキルアップシリーズ③	①ハワイ SimTiki 研修受講済みの人 ②教育・指導に関心のある人	ファシリテーション実践	11月16日 11月22日	機構内13 機構外15
	シミュレーション教育指導スキルアップシリーズ④	シナリオを用いたシミュレーション教育を行っている看護職・看護教員	シナリオ・ブラッシュアップ	3月9日	機構内7 機構外18
	第5回 NPEC 長野小児救急セミナー	医師 初期・後期研修医	新生児(SimNewBorn)、乳児(SimBaby)、学童(SimJr)のシミュレータを使用した蘇生トレーニングと、重篤小児疾患3症例を通して初期対応と三次医療機関への搬送基準を学ぶ。	7月21日	機構内3 機構外9

### ●主なシミュレータリスト

	シミュレータ名	説明	数量	製造元
1	Sim Man 3G	成人患者のシミュレーション	1	レールダルジャパン
2	Sim Junior シムジュニア	小児患者のシミュレーション	1	レールダル
3	Sim New B シムニューボーン	新生児患者のシミュレーション	1	レールダル
4	フィジカルアセスメントトレーニングモデル“Physiko”	フィジカルアセスメント 手技トレーニング等	1	京都科学
5	ALS シミュレータ (アドバンス)	高度救命トレーニング	1	レールダルジャパン
6	レサシアン With QCPR	CPRトレーニング	1	レールダル
7	レサシベビー With QCPR	乳児のCPRトレーニング	1	レールダル
8	AED リトル アン トレーニングシステム	CPR-AEDトレーニング	10	レールダルジャパン
9	心臓超音波トレーニングシュミレータ ハートワークス	経胸壁・経食道心臓超音波パーチャル トレーニング	1	日本ライトサービス 株式会社
10	産婦人科用超音波シミュレータ バイメディックス	妊婦超音波検査トレーニング	1	ガデリウスメディカル(株)



	シミュレータ名	説明	数量	製造元
11	外傷・救急用超音波診断トレーニング ファントム“FAST/ER FAN”	超音波画像診断トレーニング	1	京都科学
12	AIRSIM ブロンコ	気管挿管、気管支鏡のトレーニング	1	日本ライトサービス株式会社
13	気道管理トレーナー	気道確保、気管挿管、胃管挿入のトレーニング	3	レールダル
14	DAM シミュレータトレーニングモデル	DAM(気道困難確保症例)の気道確保、 気管挿管トレーニング	1	京都科学
15	乳児気道管理トレーナー	乳児の気道確保、気管挿管、胃管挿入 のトレーニング	1	レールダル
16	気管切開トレーナー	気管切開手技トレーニング	1	日本ライトサービス株式会社
17	内視鏡手術トレーナー	腹腔鏡手術のトレーニング	1	平和医療器械
18	気管支内視鏡トレーニングモデル	気管支内視鏡トレーニング	1	高研
19	マーゲンシミュレータ	上部消化管内視鏡トレーニング	2	京都科学
20	大腸内視鏡モデルⅠ－B型	大腸内視鏡トレーニング	1	高研
21	縫合練習キット	創傷縫合トレーニング	5	日本ライトサービス株式会社
22	縫合手技評価シミュレータ	創傷縫合トレーニング(評価)	1	京都科学
23	産科シミュレータ ソフィー	分娩トレーニング	1	日本ライトサービス株式会社
24	婦人科診察シミュレータ 腹腔鏡対応	婦人科診察のトレーニング	1	日本スリーピー・サイエンティフィック
25	婦人科診察トレーナー	婦人科診察のトレーニング	1	日本スリーピー・サイエンティフィック
26	会陰縫合シミュレータ(3個セット)	会陰縫合のトレーニング	1	日本スリーピー・サイエンティフィック
27	M75B 万能型成人実習モデル さくらⅡ	看護技術のトレーニング	2	京都科学
28	まあちゃん(小児医療ケアモデル)	小児医療看護ケア	1	京都科学
29	万能トレーニングベビー	生後4週の乳児の看護技術トレーニング	1	京都科学
30	採血静脈注射シミュレータ “シンジョーⅡ”	採血・静脈注射のトレーニング	3	京都科学
31	点滴静注シミュレータ Vライン	末梢静脈ラインの確保、薬剤投与の練習	4	京都科学
32	センシティブ	採血・静脈注射練習キット	2	共栄医科器械
33	手背の静脈注射シミュレータ Aセット	採血・静脈注射のトレーニング	1	京都科学
34	小児の手背静脈注射シミュレータ	採血・静脈注射のトレーニング	1	京都科学
35	吸引シミュレータ “Qちゃん”	口腔・鼻腔・気切からの吸引トレーニング	5	京都科学
36	経管栄養シミュレータ	経鼻、胃ろうからの栄養剤注入、カテー テル挿入の練習	3	京都科学
37	導尿・浣腸シミュレータ(男性)	男性の導尿、留置カテーテル挿入、浣 腸のトレーニング	2	京都科学
38	導尿・浣腸シミュレータ(女性)	女性の導尿、留置カテーテル挿入、浣 腸のトレーニング	2	京都科学

## 8 医療の質の評価指標

長野県立病院機構では、病院を利用される方が病院の診療相談を容易入手できるように、臨床評価指標（クリニカルインディケーター）を作成し、平成24年度からホームページにおいて公開しています。

また、県立病院が担う役割を示すとともに、その充実を図ることを目指し、平成27年度より、医療の質の評価指標（クリニカルインディケーター）を公開しています。

（地域医療や精神医療等の項目を多く選定した自治体病院固有の指標である、全国自治体病院協議会の医療の質の評価・公表等推進事業の指標を基本としています。）

### ① 紹介率

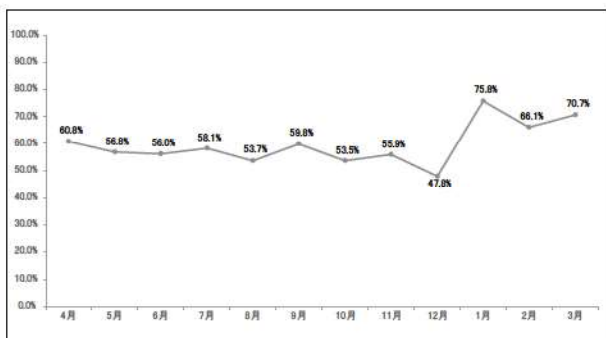
初診患者のうち、他の医療機関から当機構病院への紹介状を持参して受信した患者数の割合を示します。

他の医療機関から紹介状をお持ちにならずに受信された場合は「特別初診料」を初診料に加えて患者様に負担していただきます。これは、地域医療連携を推進するために、国（厚生労働省）から出された指針です。

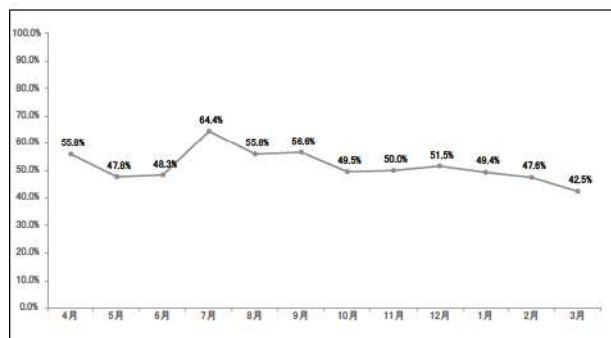
阿南病院、木曽病院など、地域に他の医療機関が少なく、当機構病院が地域住民の健康管理を直接担っている場合には、紹介率が低くなります。

算出法 分子：紹介初診患者数 + 初診救急患者数  
分母：初診患者数

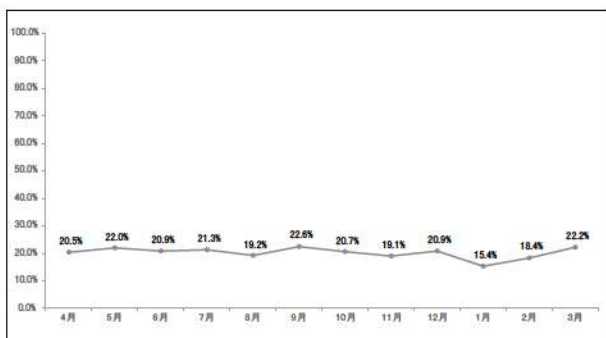
#### ●信州医療センター



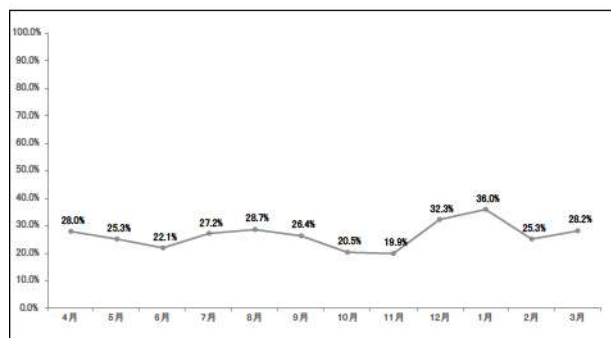
#### ●こころの医療センター駒ヶ根



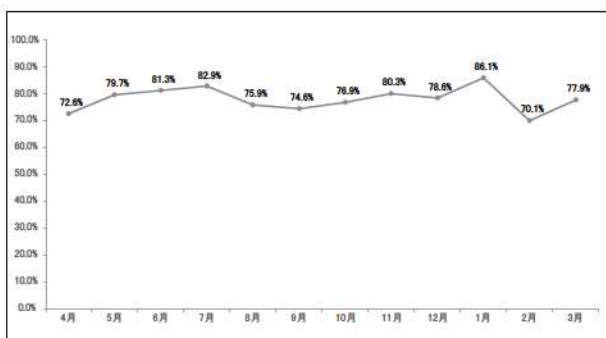
#### ●阿南病院



#### ●木曽病院



#### ●こども病院



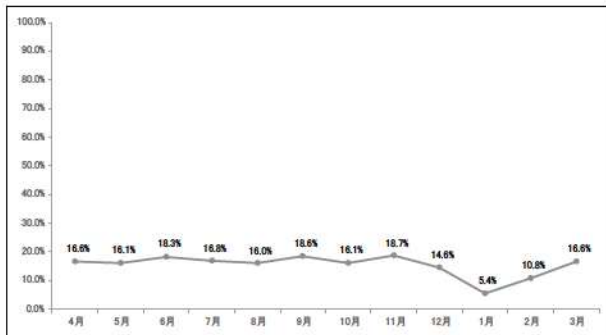
## ② 逆紹介率

診療が継続している患者さんを他の医療機関（かかりつけ医）に紹介することを逆紹介といいます。かかりつけ医からの紹介により、当機構病院で専門的な検査や高度な医療設備で治療などを行った後、病状が安定した場合は、紹介元のかかりつけ医へ逆紹介します。

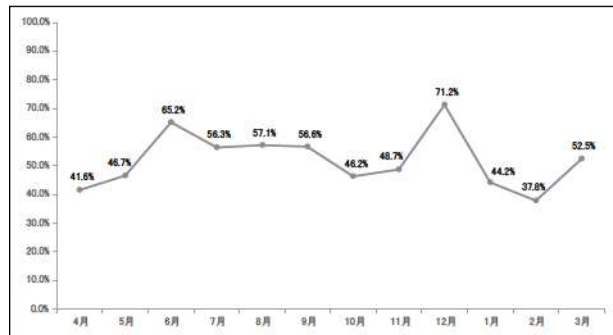
紹介率と同様、もともと地域医療機関が少ない阿南病院、木曽病院は、当機構病院がかかりつけ医としての役割を担っているため逆紹介率が低くなります。

算出法 分子：逆紹介患者数  
分母：初診患者数

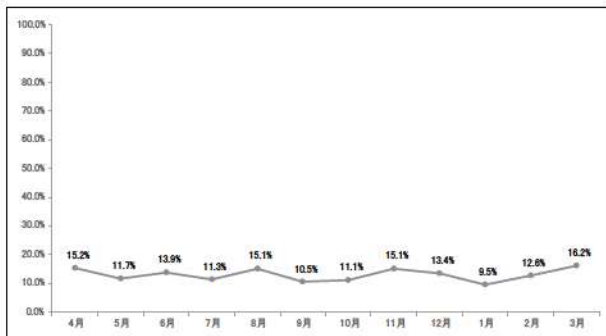
### ●信州医療センター



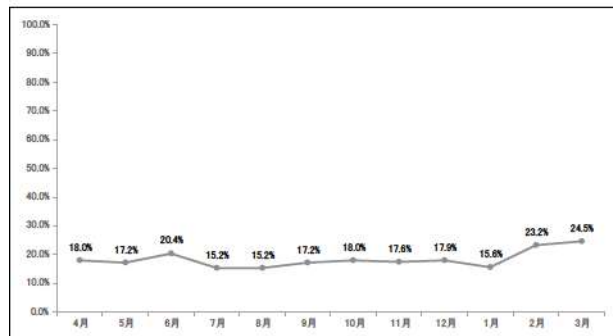
### ●こころの医療センター駒ヶ根



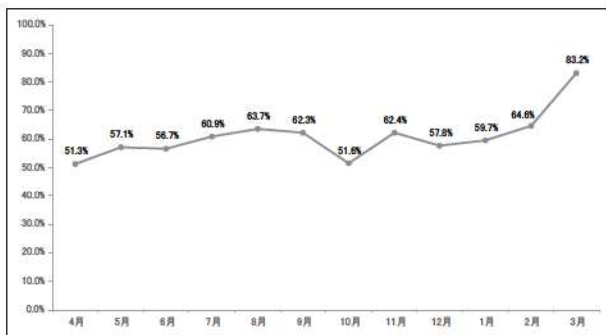
### ●阿南病院



### ●木曽病院



### ●こども病院





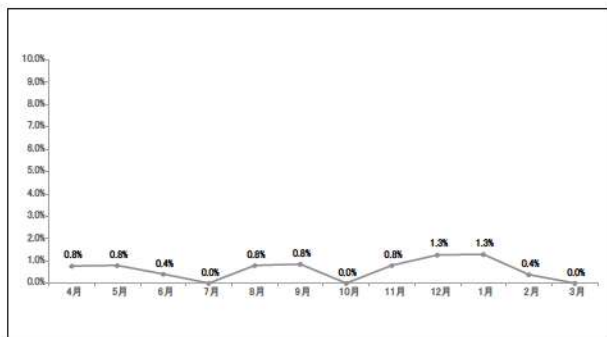
### ③ 褥瘡（じょくそう）推定発生率

褥瘡とは、寝たきりなどによって、体重で圧迫されている場所の血流が悪くなったり滞ることで、皮膚の一部が赤い色味をおびたり、ただれたり、傷ができてしまうことです。一般的に「床ずれ」ともいわれています。自分で体位変換ができず長時間寝たきりで、栄養状態が悪い、皮膚が弱くなっている人が、圧迫だけでなく摩擦やずれなどの刺激が繰り返されて場合は褥瘡になりやすいといえます。

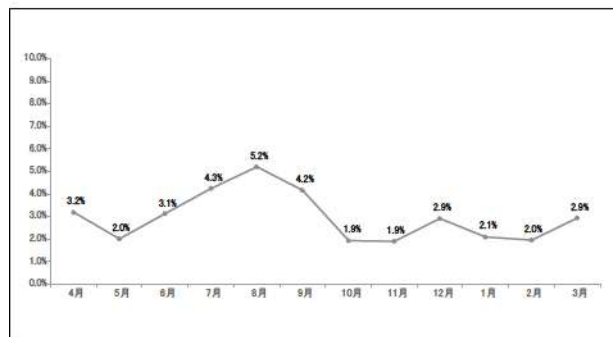
患者さんのQOL（生活の質）の低下をきたし、結果的に在院数の長期化や医療費の増大にもつながるため、褥瘡予防対策は患者さんに提供されるべき医療の重要な項目のひとつとなります。褥瘡の発生は患者さんの全身状態の良し悪しと密接な関係にあり、患者さんの状態を把握し、予防対策を講じていく必要があります、その発生率は全身管理や局所ケアなど看護ケアの質を表す重要な指標です。

算出法 分子：入院時に褥瘡なく調査に褥瘡を保有する患者数 + 入院時に褥瘡あり他部位に新規褥瘡発生の患者数  
分母：調査の施在院数（人）

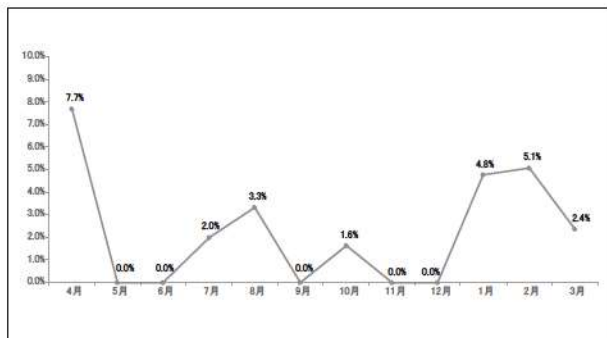
#### ●信州医療センター



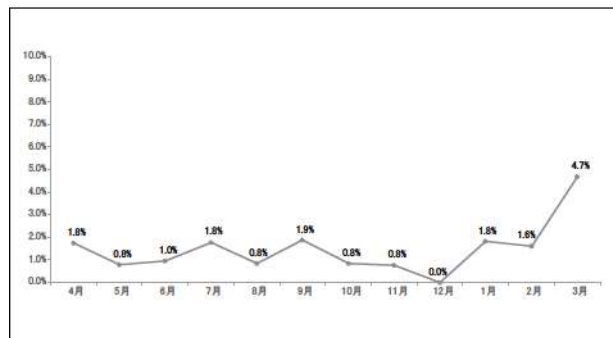
#### ●こころの医療センター駒ヶ根



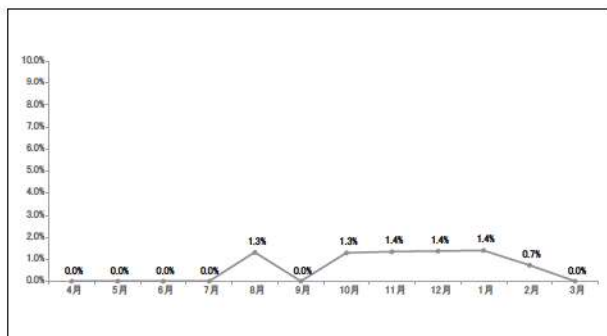
#### ●阿南病院



#### ●木曽病院



#### ●こども病院



#### ④ 転倒・転落レベル2以上発生率

転倒転落により、骨折などが発生した場合、患者さんのQOL（生活の質）の低下をきたし、結果的に在院数の長期化や医療費の増大にもつながります。歩行困難な方や認知症の方、高齢者の多い病院など、病院機能によって発生比率も違います。また、職員が予防に全力をつくしても、危険因子（転倒転落を引き起こす原因）を多く持つ患者さんにおいては、予防が困難な場合があります。

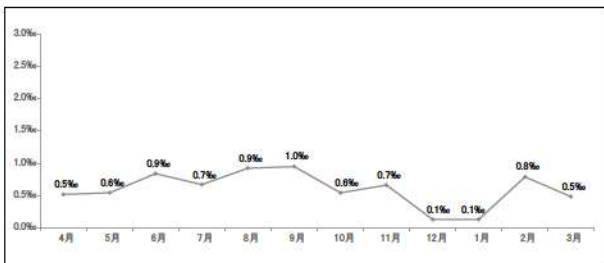
しかし、転倒・転落の既往・ADL（常生活動作）のチェック、定期的な物品・設備の点検と整備、転倒に関する危険因子のチェックなど、転倒防止策を講じることにより、危険を回避する対応が求められます。レベル2以上とは、検査や処置などが必要になった場合を意味します。（表1）

算出法 分子：インシデント・アクシデントレポートの入院患者転倒転落数【レベル2以上】  
分母：入院延べ数

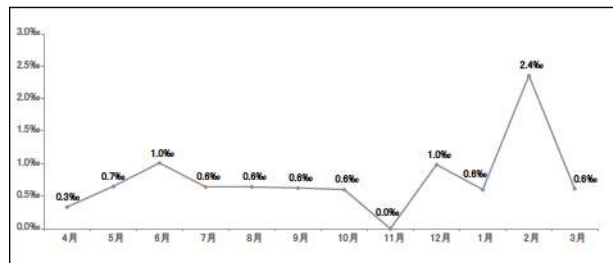
※単位：‰（パーミル）

レベル	障害の内容	障害の継続性	障害の程度
5	死亡（原疾患の自然経過によるものを除く）	死亡	
4	永続的な障害や後遺症が残った	永続的	軽度～高度
3b	濃厚な処置や治療を要した（バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院数の延長、外来患者の入院、骨折など）	一過性	高度
3a	簡単な処置や治療を要した（消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など）	一過性	中等度
2	処置や治療は行わなかった（患者観察の強化、バイタルサインの経度変化、安全確認のための件さなどの必要性は生じた）	一過性	軽度
1	患者への実害はなかった（なんらかの影響を与えた可能性は否定できない）	なし	
0	エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった	—	

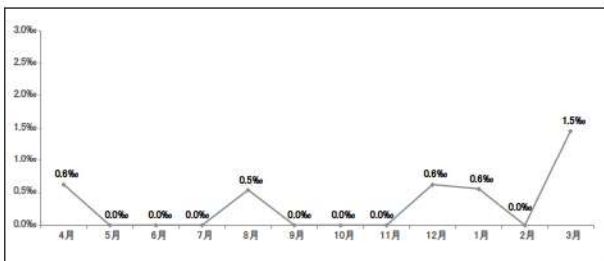
#### ●信州医療センター



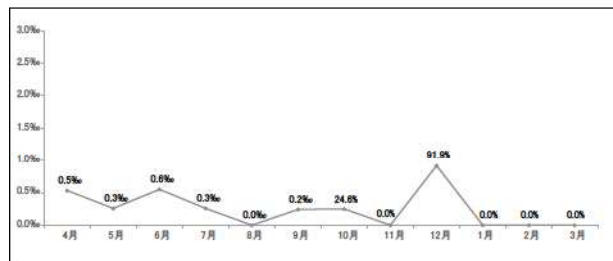
#### ●こころの医療センター駒ヶ根



#### ●阿南病院



#### ●木曽病院



#### ●こども病院

